

「第5期志木市地域福祉計画・第6次志木市 地域福祉活動計画」策定のための アンケート調査報告書

令和7年3月

志木市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の概要	2
2. 調査方法と回収状況	2
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 市民向け調査の結果詳細	5
1. 基本属性	6
（1）性別	6
（2）年代	6
（3）居住地区	7
（4）居住年数	7
（5）就労状況（形態）	8
（6）居住形態	9
（7）家族構成	10
（8）18歳未満のこどもの有無	11
（9）障害者手帳所持者の有無	11
2. 地域での支え合いなどについて	12
（1）ご近所付き合いの程度	12
（2）定期的に参加している地域の活動や各種教室等	14
（3）地域での支え合いについての考え	15
（4）隣近所で困っている人のお手伝いや手助けをした経験	17
（5）隣近所の人からお手伝いや手助けをしてもらいたいこと	18
（6）日常生活で不安に感じていること	19
（7）不安や悩みごとの相談先	21
（8）相談し合える親しい友人の有無	23
（9）地域共生社会を進めている中で障がいや理由とした差別や偏見の変化	24
（10）地域共生社会を進めていく上で必要と思われるもの	25
（11）「志木市地域共生社会を実現するための条例」の認知状況	26
（12）「志木市地域福祉計画」の認知状況	27
（13）ボランティア活動への関心度	28
（14）ボランティア活動の経験	29
（15）ボランティア活動の参加頻度	30
（16）参加しているボランティア活動	31
（17）ボランティア活動のきっかけ	32
（18）ボランティア活動をしたことがない理由	33
3. 孤独感について	35

(1) 孤独感	35
4. 防災活動について	37
(1) 地域の防災訓練への参加有無	37
(2) 地域の自主防災組織への世帯の加入状況	38
(3) 地域の自主防災組織への加入意向	39
(4) 災害が起きた時の対応についての取り決め	40
5. 福祉サービスについて	41
(1) 福祉サービスに関する情報の入手先	41
(2) 福祉サービスの利用有無	42
(3) 利用した福祉サービスの満足度	43
(4) 不満である理由	43
(5) 保健・福祉について充実してほしい情報	44
(6) 「生活困窮者自立支援制度」の認知状況	46
(7) 生活困窮者自立支援制度事業の実施に必要なこと	47
(8) 成年後見制度・任意後見制度・市民後見人の認知状況	48
(9) 成年後見制度の利用意向	52
(10) 成年後見制度利用に必要な支援	53
(11) 利用したいと思わない理由	54
(12) 現在の幸福度	54
6. 社会福祉協議会について	56
(1) 「志木市社会福祉協議会」の認知状況	56
(2) 広報紙「しき社協だより」の認知状況	57
(3) 志木市社会福祉協議会の事業の認知	58
7. 今後の福祉施策について	59
(1) 今後市の保健・福祉分野について注力すべき施策	59
(2) 再犯防止啓発事業の認知	61
8. 自由回答	63

第3章 専門職及び関係者調査の結果詳細	65
1. 属性	66
(1) 機関種別	66
(2) 保有資格等	67
(3) 主な担当地域（エリア）	67
(4) 勤務・活動年数	68
2. 地域の課題について	69
(1) 最近、地域で気になる問題や増えていると感じる問題	69
(2) 最近、地域で気になる問題や増えていると感じる問題の具体例	71
(3) 住民から求められている地域福祉活動	71
(4) 地域課題やニーズについて地域全体で解決に向けた取り組む体制	72

(5) 地域課題やニーズに対して地域全体の解決に向けた体制整備で必要なこと	73
(6) 現行の公的サービスで対応できない問題・事例の最近の変化	74
3. 他団体等との連携について	75
(1) 他の団体や組織との連携・連絡で特に必要と思われるところ	75
(2) その他の団体や組織との連携・連絡で必要と思われるところ	76
(3) 現在、連携・連絡を取っている他の団体や組織	77
(4) 志木市との具体的な連携	78
4. ひきこもり支援について	79
(1) 担当している地域での「ひきこもりの状態にある方」がいることの把握	79
(2) ひきこもりの状態にある方を知ったときの対応	80
(3) ひきこもりの人への支援で困っていること	81
(4) ひきこもりに係る相談・支援において連携している関係機関等	82
(5) 今後連携する必要がある連携先	83
(6) ひきこもりに係る支援について行政や支援機関が今後取り組む必要があること	84
5. 各種事業・制度等について	85
(1) 再犯防止啓発事業の認知	85
(2) 成年後見制度・任意後見制度・市民後見人の認知状況	86
(3) 支援している人で後見制度を利用中の方または利用が必要と思われる方の有無	86
(4) 後見制度の利用が必要と思った理由	87
(5) 今後志木市の後見制度利用促進に望むもの	88
6. 今後の福祉施策について	89
(1) 今後市が注力すべき保健・福祉分野	89
(2) 自由回答	91

第 1 章 調査の概要

1. 調査の概要

市では、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくりを進めるため、「第5期志木市地域福祉計画・第2期志木市再犯防止推進計画・第3期志木市成年後見制度利用促進基本計画」を策定するにあたり、市民の福祉に対する考え方、地域での関わりなど実態を把握し、基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施しました。

また、志木市のこれからの地域福祉を推進していく上で、福祉の専門職及び関係者としての視点で日頃の業務を通して、捉えている地域の課題や他団体等との連携、ひきこもり支援、再犯防止啓発事業、成年後見制度及び今後の福祉施策について、現場からの声を幅広くお聞きするため、専門職及びアンケート調査も実施しました。

2. 調査方法と回収状況

調査期間：2024（令和6）年7月8日（月）から7月26日（金）

【市民アンケート調査】

調査対象者	市在住の18歳以上の方の中から、無作為に1,200名を抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収またはWEB 回答併用 ナッジ理論※活用により調査票を作成
配付・回収	配付数1,200人 回収数 446人（回収率37.2%） 内、郵 送回答322人（回収率26.9%） WE B回答124人（回収率10.3%）

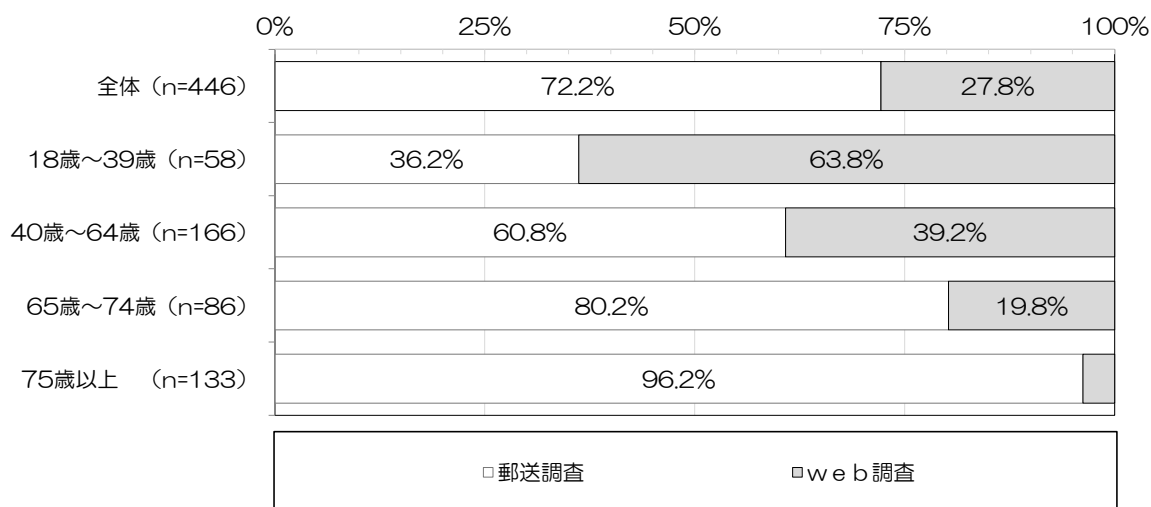
【専門職及び関係者調査】

調査対象者	専門職及び関係者（高齢、障がい、子育て、生活困窮者分野の専門職や民生委員・児童委員、母子保健推進員などの方）を300名抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収またはWEB 回答併用 ナッジ理論※活用により調査票を作成
配付・回収	配付数300人 （内訳：子育て分野28人、高齢者分野27人、障がい分野28人、保護司14人、民生委員・児童委員83人、母子保健推進員120人） 回収数 204人（回収率68.0%） 内、郵 送回答144人（回収率48.0%） WE B回答 60人（回収率20.0%）

※ナッジ理論とは、行動理論一種で行動を宣言したり強制したりせず
にちょっとしたきっかけを与え、本人が無意識のうちに行動を起こす
選択をするように誘導することです。

今回の調査票では、回収率を高めるため、案内を回答者の目に付き
やすいデザインにする、読む負担を減らすシンプルなレイアウトにす
る。必要な情報を絞り込んだ分かりやすい説明文にするなどの工夫を
行い、回収率の向上に努めました。

市民アンケート調査の回答方法（年代別）



3. 調査項目

【市民アンケート調査】

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 回答者の基本属性 | 5. 福祉サービスについて |
| 2. 地域での支え合いなどについて | 6. 社会福祉協議会について |
| 3. 孤独感について | 7. 今後の福祉施策について |
| 4. 防災活動について | |

【専門職及び関係者調査】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 回答者の属性 | 4. ひきこもり支援について |
| 2. 地域の課題について | 5. 各種事業・制度等について |
| 3. 他団体等との連携について | 6. 今後の福祉施策について |

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・図表中のnは回答数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、すべての割合を足しても100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・クロス集計の図表では、分析軸(表側、年齢別等)に無回答を表示していない。そのため、回答数nの合計は全体のnと一致しない場合がある。
- ・図表中の「前回」とは、「第4期志木市地域福祉計画・第5次志木市地域福祉活動計画」策定のためのアンケート調査報告書(平成31年3月)の数値である。

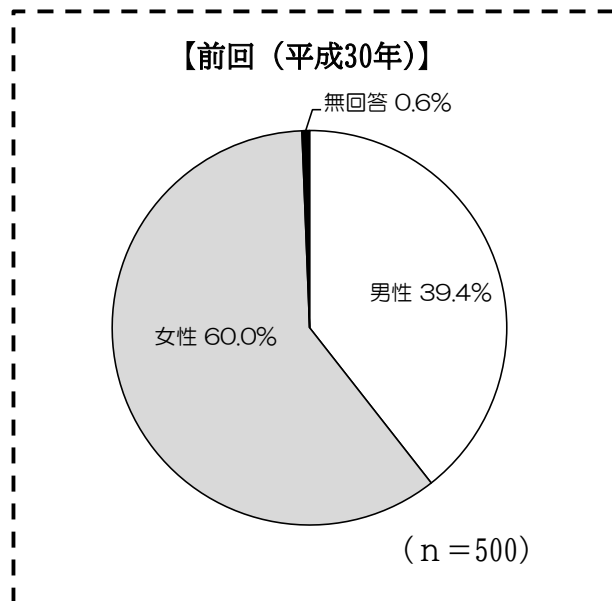
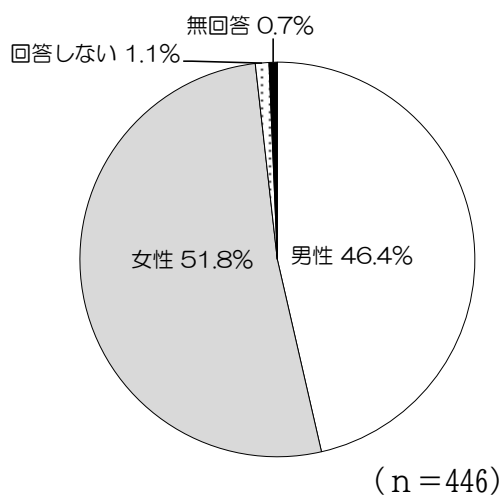
第2章 市民向け調査の結果詳細

1. 基本属性

(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

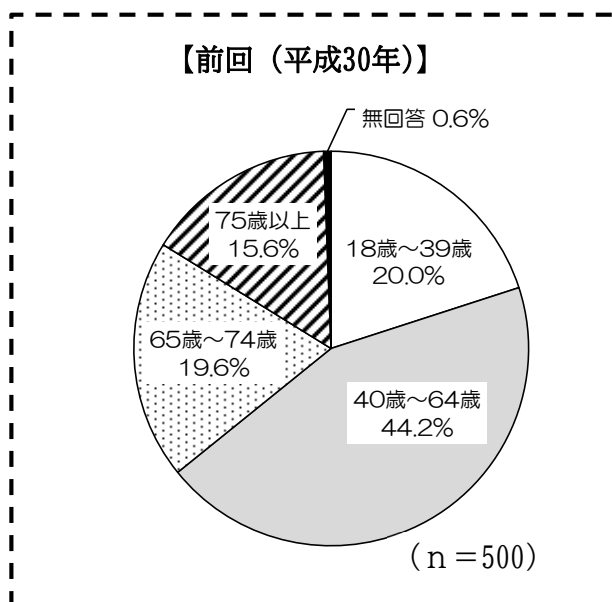
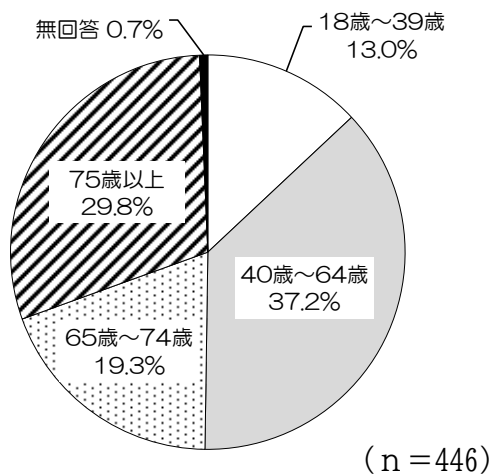
「男性」が46.4%、「女性」が51.8%となっています。



(2) 年代

問2 あなたの年代はどれですか。(○は1つ)

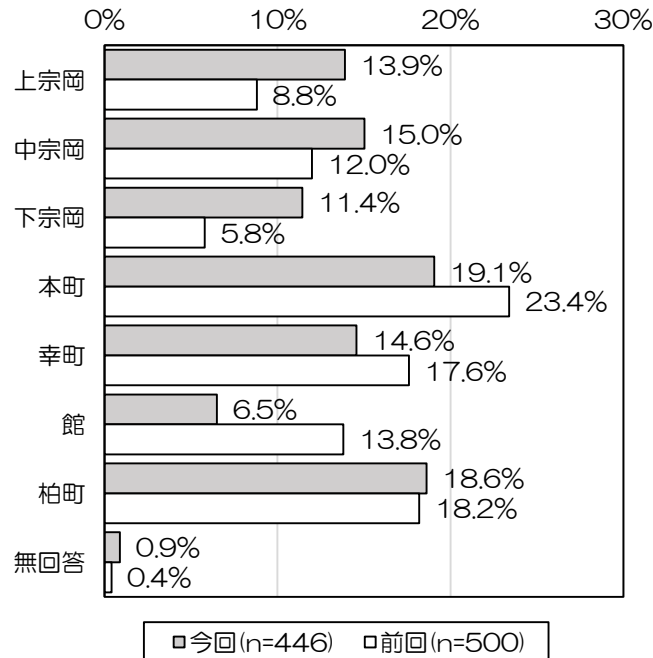
「40歳～64歳」が37.2%と最も多く、次いで「75歳以上」が29.8%、「65歳～74歳」が19.3%となっています。



(3) 居住地区

問3 あなたのお住まいの地区はどれですか。(○は1つ)

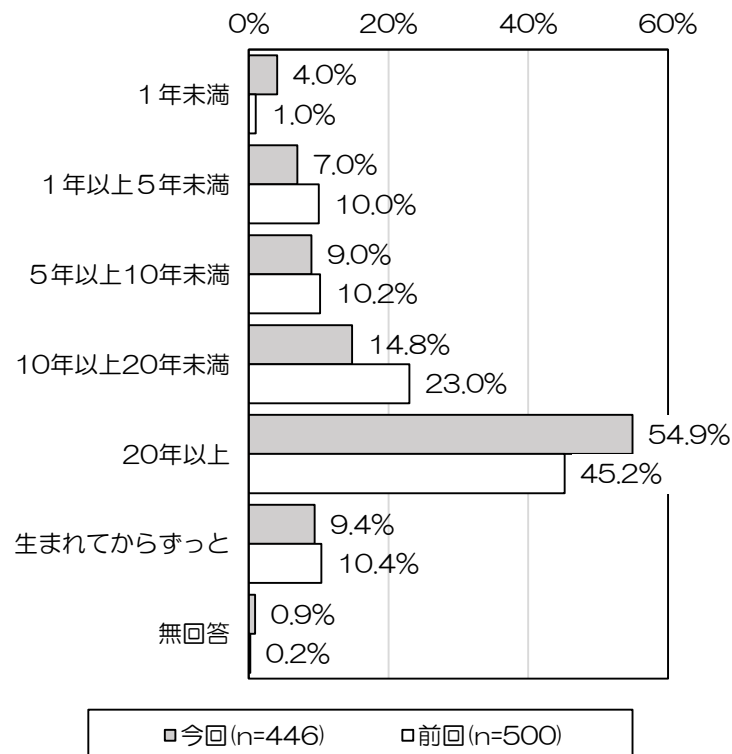
「本町」が19.1%と最も多く、次いで「柏町」が18.6%、「中宗岡」が15.0%となっています。



(4) 居住年数

問4 あなたの志木市における居住年数は何年ですか。(○は1つ)

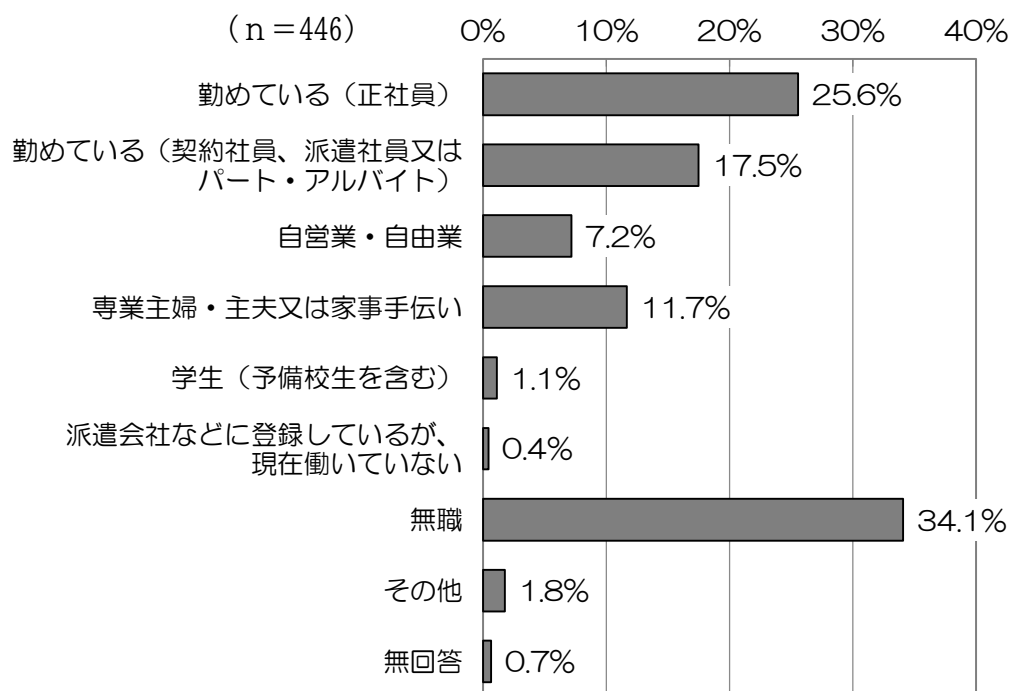
「20年以上」が54.9%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が14.8%となっています。



(5) 就労状況（形態）

問5 現在の就労状況（形態）はどれですか。（○は1つ）

「無職」が34.1%と最も多く、次いで「勤めている（正社員）」が25.6%、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト）」が17.5%となっています。



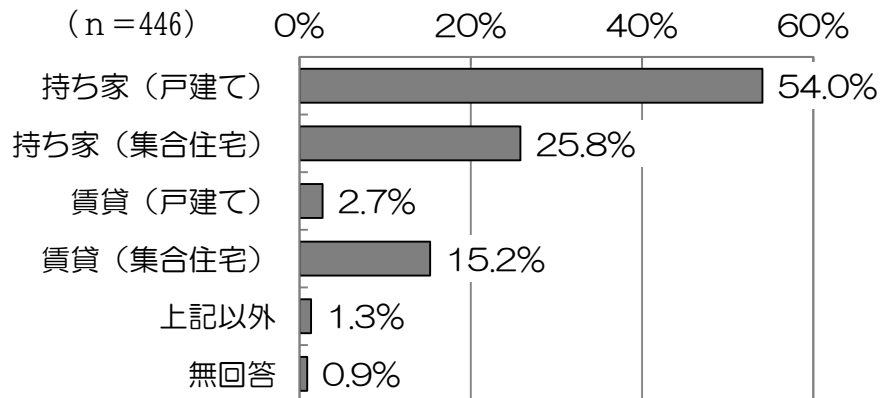
就労状況（形態）（年代別）

	勤めている （正社員）	勤めている （契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト）	自営業・自由業	専業主婦・主夫又は家事手伝い	学生（予備校生を含む）	派遣会社などに登録しているが、現在働いていない	無職	その他	無回答
全体（n=446）	25.6%	17.5%	7.2%	11.7%	1.1%	0.4%	34.1%	1.8%	0.7%
18歳～39歳（n=58）	55.2%	13.8%	5.2%	3.4%	8.6%	0.0%	12.1%	1.7%	0.0%
40歳～64歳（n=166）	42.8%	27.1%	9.6%	12.0%	0.0%	1.2%	6.0%	1.2%	0.0%
65歳～74歳（n=86）	10.5%	22.1%	10.5%	15.1%	0.0%	0.0%	38.4%	3.5%	0.0%
75歳以上（n=133）	1.5%	4.5%	3.0%	12.8%	0.0%	0.0%	76.7%	1.5%	0.0%

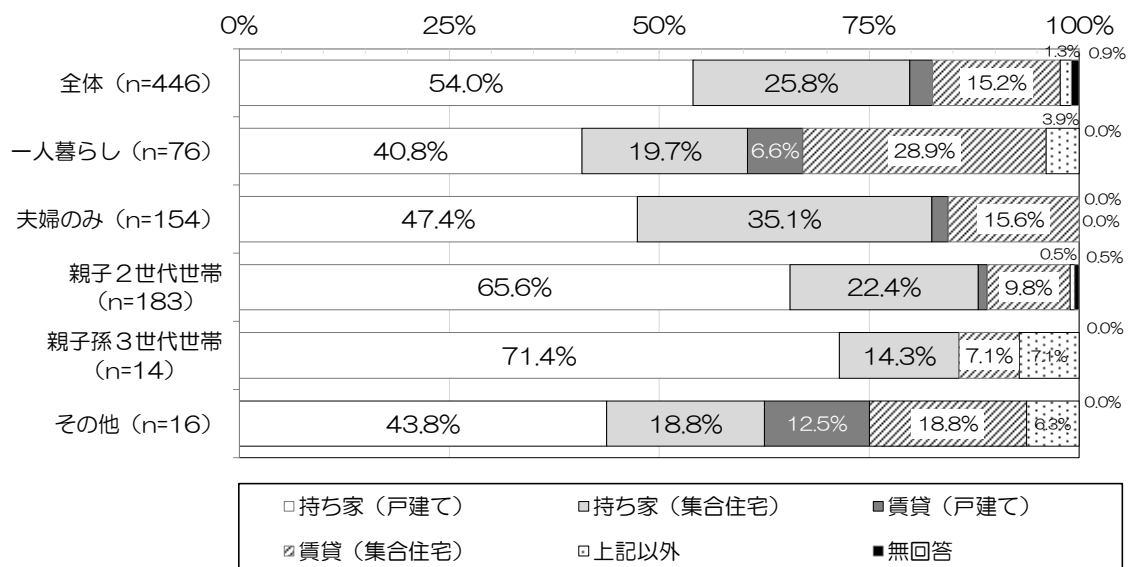
(6) 居住形態

問6 お住まいの形態はどれですか。(○は1つ)

「持ち家（戸建て）」が54.0%と最も多く、次いで「持ち家（集合住宅）」が25.8%、「賃貸（集合住宅）」が15.2%となっています。



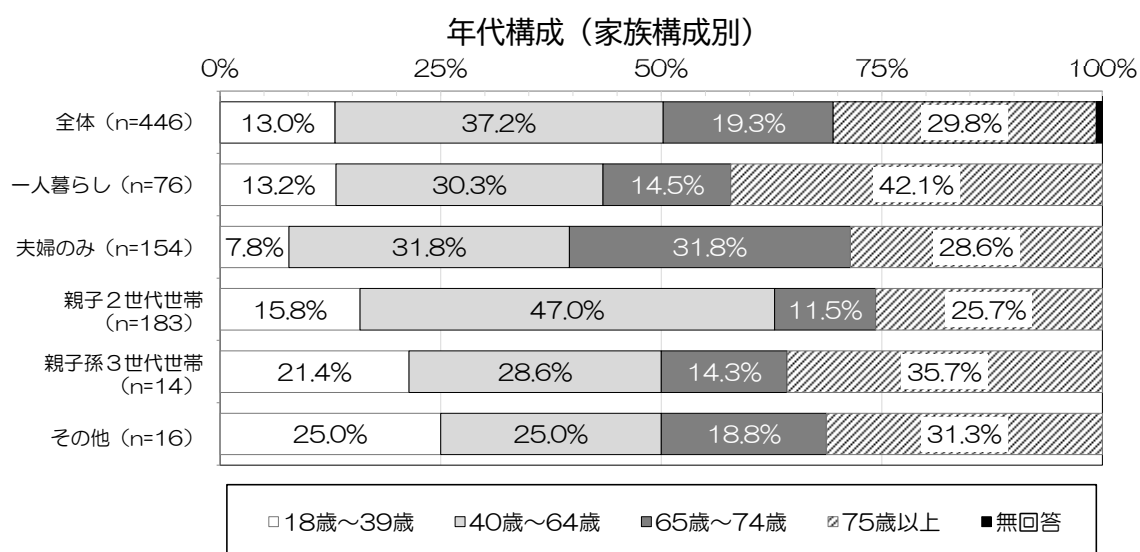
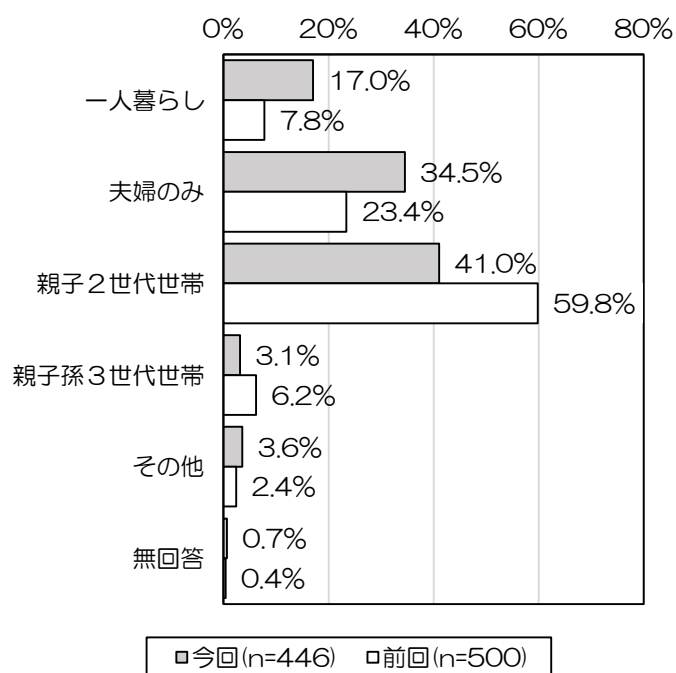
居住形態（家族構成別）



(7) 家族構成

問7 あなたの家族構成はどれですか。(○は1つ)

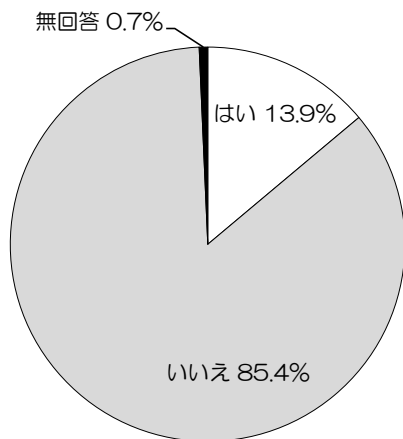
「親子2世代世帯」が41.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が34.5%、「一人暮らし」が17.0%となっています。



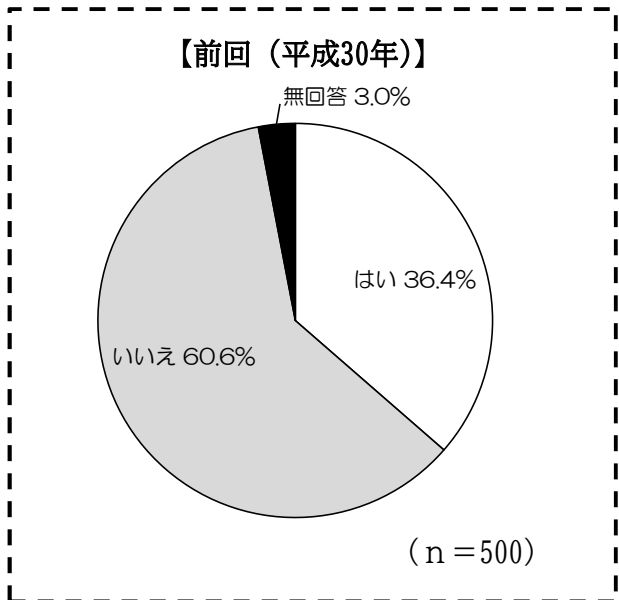
(8) 18歳未満のこどもの有無

問8 あなたのご家庭に、18歳未満のお子さんはいますか。(○は1つ)

「はい」が13.9%、「いいえ」が85.4%となっています。



(n = 446)

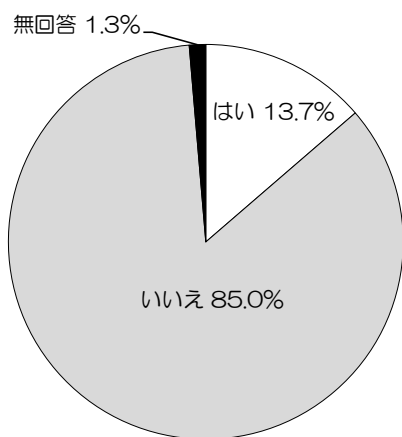


(n = 500)

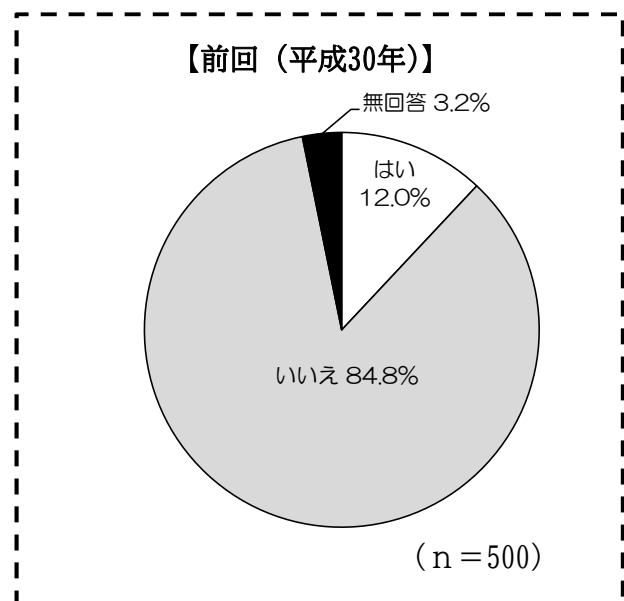
(9) 障害者手帳所持者の有無

問9 あなたのご家庭に、障害者手帳をお持ちの方はいますか。(○は1つ)

「はい」が13.7%、「いいえ」が85.0%となっています。



(n = 446)



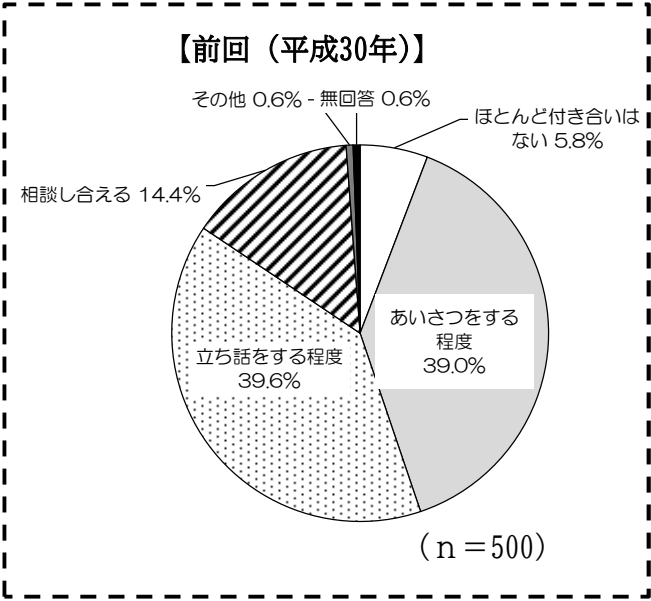
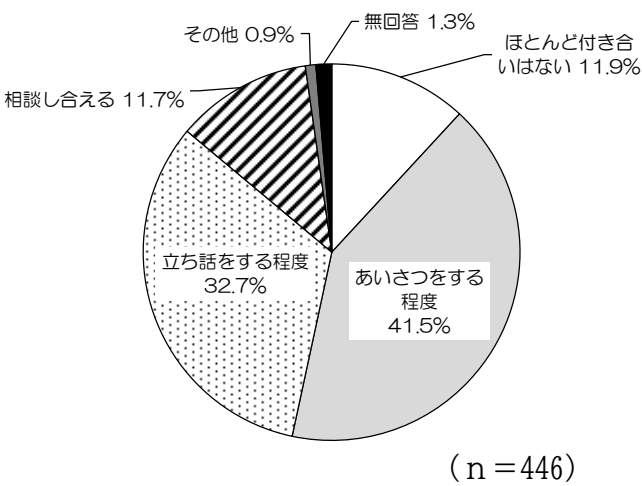
(n = 500)

2. 地域での支え合いなどについて

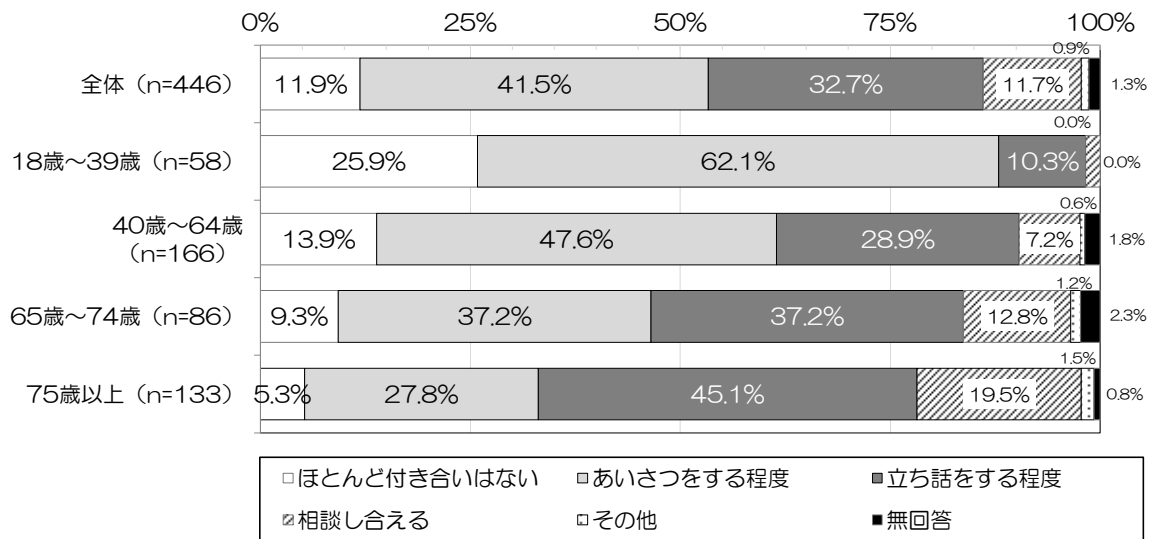
(1) ご近所付き合いの程度

問10 あなたは、ご近所の方とどの程度のお付き合いがありますか。(○は1つ)

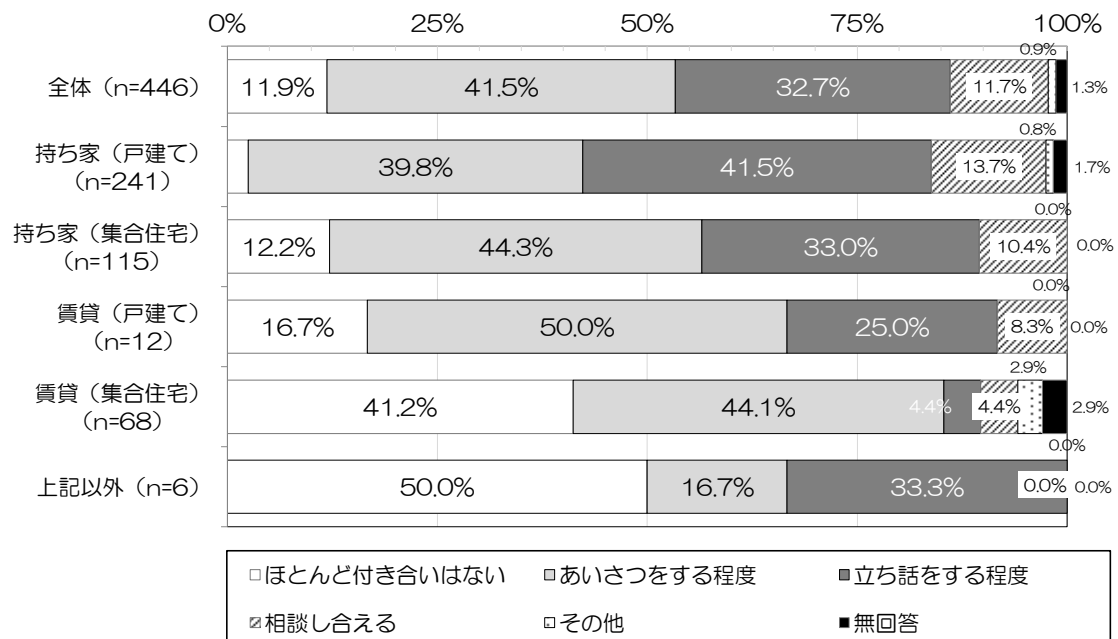
「あいさつをする程度」が41.5%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が32.7%、「ほとんど付き合いはない」が11.9%となっています。



近所付き合いの程度（年代別）



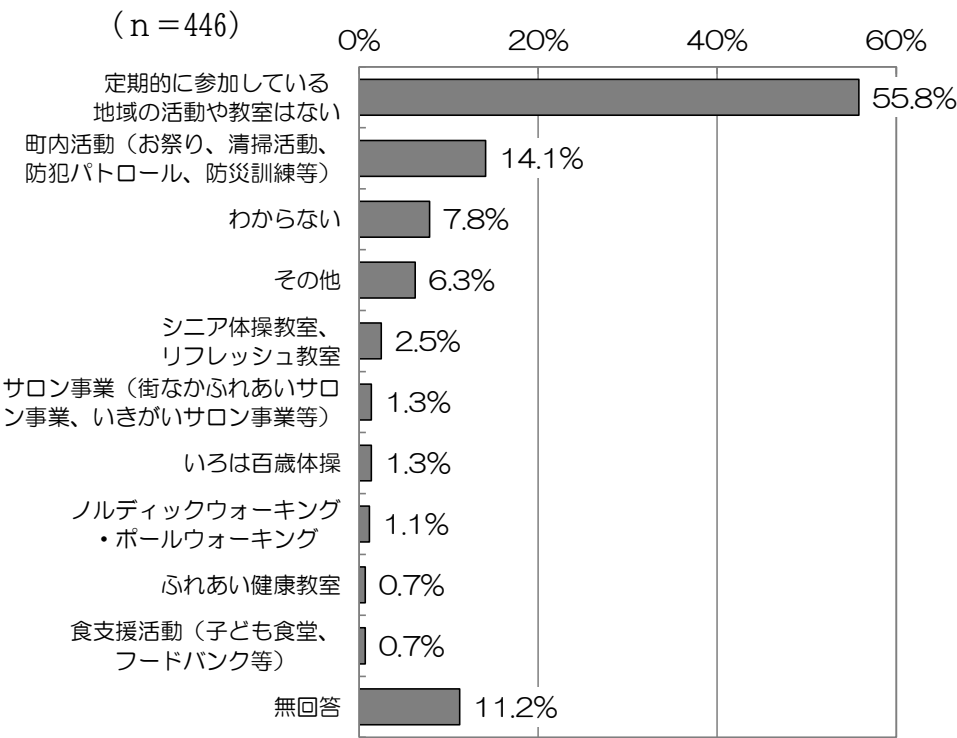
近所付き合い程度（居住形態別）



(2) 定期的に参加している地域の活動や各種教室等

問11 あなたが定期的に参加している地域の活動（町内活動を含む）や各種教室等がありますか。（あてはまるものすべてに○）

「定期的に参加している地域の活動や教室はない」が55.8%と最も多く、次いで「町内活動（お祭り、清掃活動、防犯パトロール、防災訓練等）」が14.1%となっています。



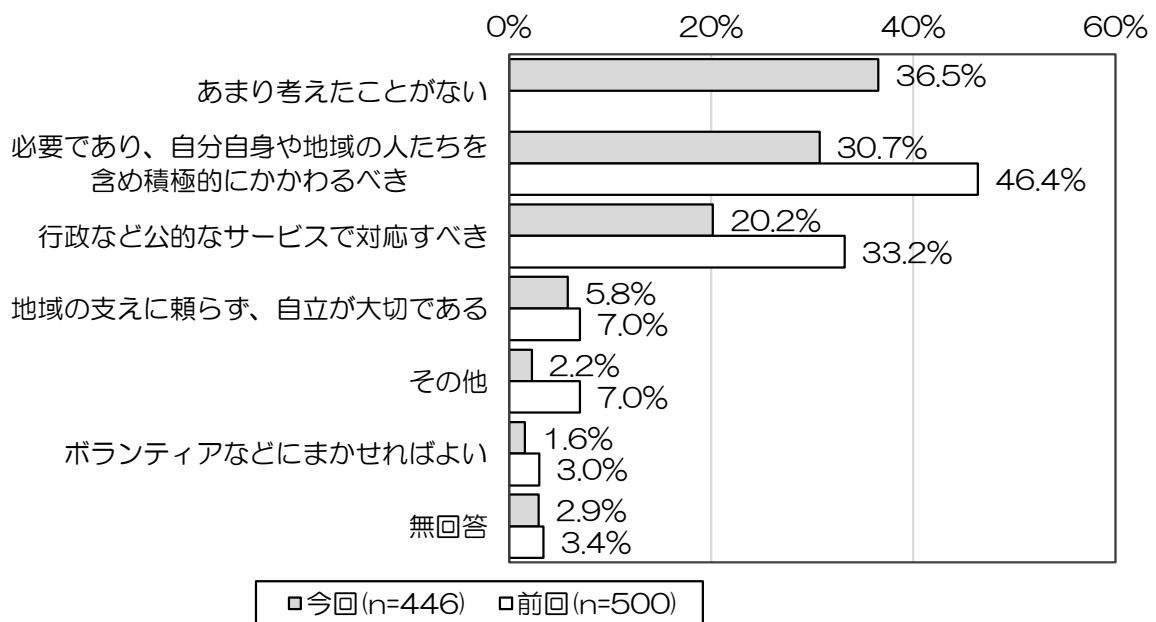
定期的に参加している地域の活動や各種教室等（年代別）

	定期的に参加している地域の活動や教室はない	町内活動（お祭り、清掃活動、防犯パトロール、防災訓練等）」	わからない	その他	シニア体操教室、リフレッシュ教室	サロン事業（街なかふれあいサロン事業、いきがいサロン事業等）	いろは百歳体操	ノルディックウォーキング・ポールウォーキング	ふれあい健康教室	食支援活動（子ども食堂、フードバンク等）	無回答
全体（n=446）	55.8%	14.1%	7.8%	6.3%	2.5%	1.3%	1.3%	1.1%	0.7%	0.7%	11.2%
18歳～39歳（n=58）	69.0%	10.3%	12.1%	3.4%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	5.2%
40歳～64歳（n=166）	65.7%	14.5%	7.8%	4.2%	0.6%	0.6%	0.0%	2.4%	0.6%	1.2%	6.0%
65歳～74歳（n=86）	52.3%	17.4%	3.5%	5.8%	5.8%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%
75歳以上（n=133）	40.6%	12.0%	9.0%	9.8%	3.8%	2.3%	3.8%	0.8%	1.5%	0.0%	19.5%

(3) 地域での支え合いについての考え

問12 あなたは、地域での支え合い（支援を必要とする人に地域の方々が協力し、支援をすることなど）について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

「あまり考えたことがない」が36.5%と最も多く、次いで「必要であり、自分自身や地域の人たちを含め積極的にかかわるべき」が30.7%、「行政など公的なサービスで対応すべき」が20.2%となっています。



※選択肢“あまり考えたことがない”は2024年度のみ

地域での支え合いについての考え（年代別）

	あまり考えたことがない	必要であり、自分自身や地域の人たちを含め積極的に地域の人たちを支援するべき	行政など公的なサービスで対応すべき	地域の支えに頼らず、自立が大切である	その他	ボランティアなどにまかせればよい	無回答
全体（n=446）	36.5%	30.7%	20.2%	5.8%	2.2%	1.6%	2.9%
18歳～39歳 （n=58）	37.9%	22.4%	31.0%	0.0%	3.4%	5.2%	0.0%
40歳～64歳 （n=166）	42.2%	32.5%	19.3%	3.6%	1.2%	0.0%	1.2%
65歳～74歳 （n=86）	30.2%	26.7%	22.1%	11.6%	2.3%	3.5%	3.5%
75歳以上 （n=133）	33.8%	33.8%	15.8%	7.5%	2.3%	0.8%	6.0%

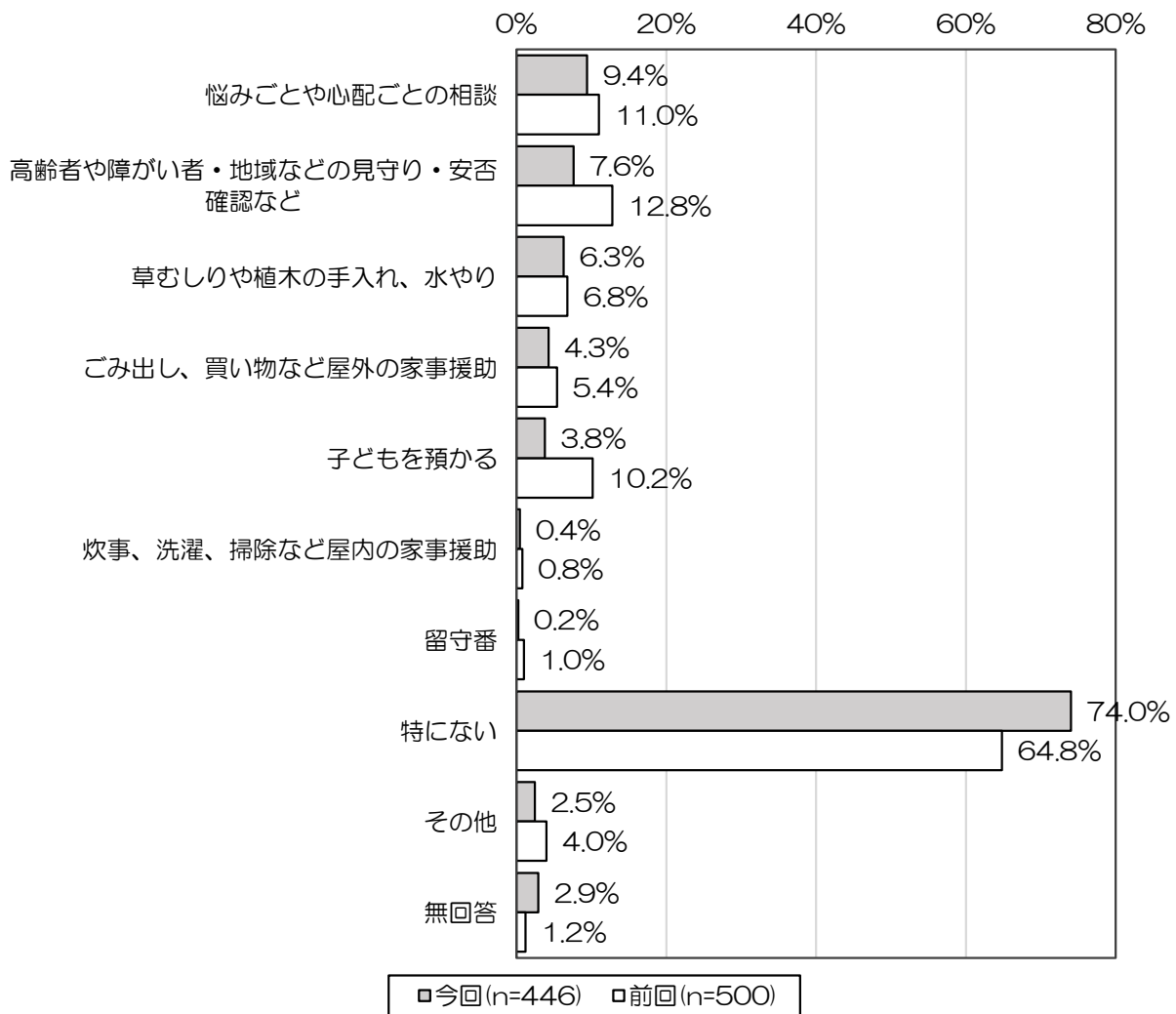
地域での支え合いについての考え（近所付き合い程度別）

	あまり考えたことがない	必要であり、 地域の 人々を 含む積 極的に 地域に 必要と 感じる	行政など 公的な サービス で対応す べき	地域の支 えに頼ら ず、自立 が大切で ある	その他	ボランティア などにま かせれば よい	無回答
全体（n=446）	36.5%	30.7%	20.2%	5.8%	2.2%	1.6%	2.9%
ほとんど付き合いは ない（n=53）	54.7%	11.3%	26.4%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%
あいさつをする程度 （n=185）	37.8%	27.0%	24.3%	4.9%	2.2%	2.7%	1.1%
立ち話をする程度 （n=146）	33.6%	34.9%	17.1%	8.2%	2.1%	0.7%	3.4%
相談し合える （n=52）	23.1%	53.8%	11.5%	5.8%	1.9%	1.9%	1.9%
その他（n=4）	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) 隣近所で困っている人のお手伝いや手助けをした経験

問13 あなたは、隣近所で困っている人のお手伝いや手助けをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

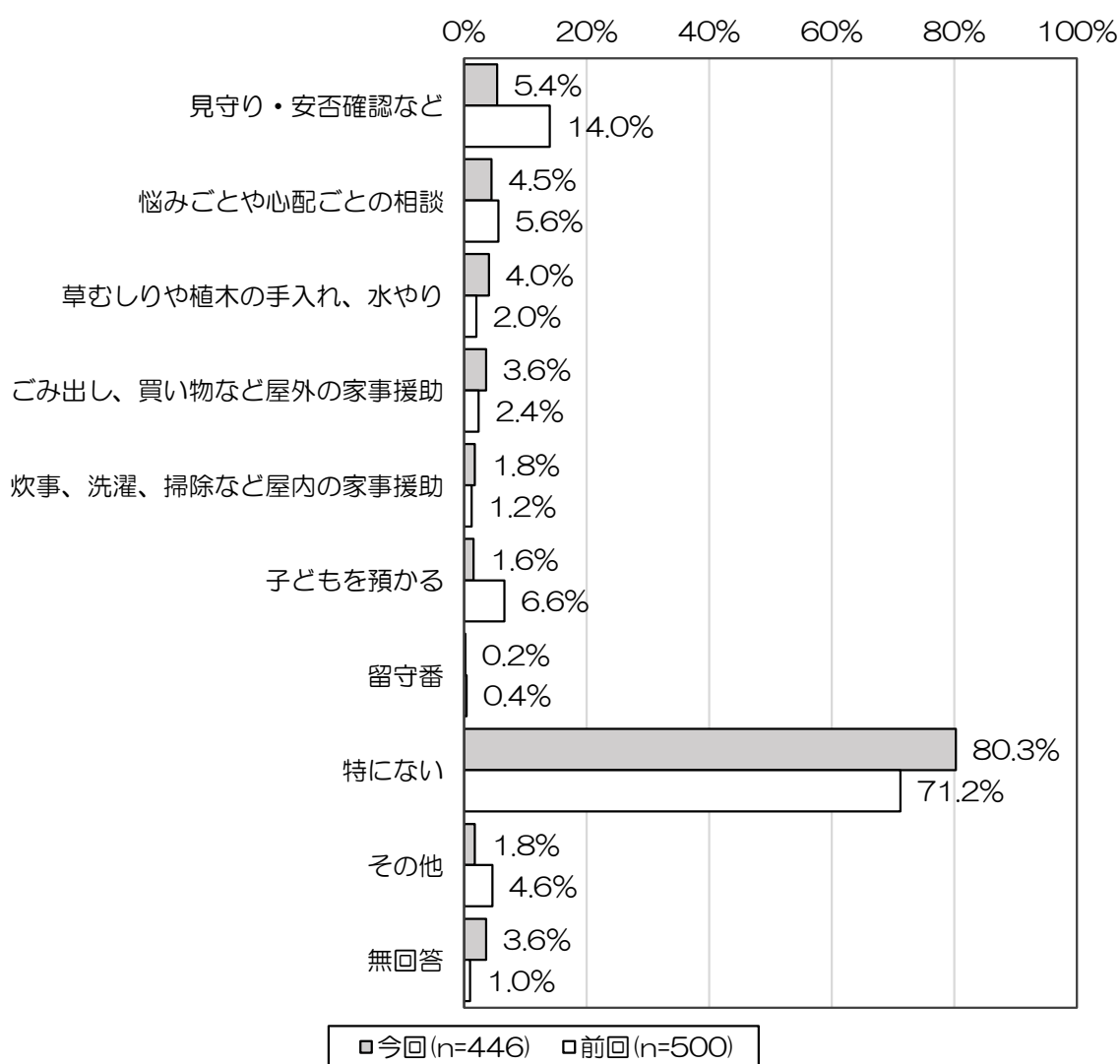
「悩みごとや心配ごとの相談」が9.4%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者などの見守り・安否確認など」が7.6%、「草むしりや植木の手入れ、水やり」が6.3%となっています。一方、「特にない」は74.0%となっています。



(5) 隣近所の人からお手伝いや手助けをしてもらいたいこと

問14 あなたは、あなた自身が隣近所の人からお手伝いや手助けをしてもらいたいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

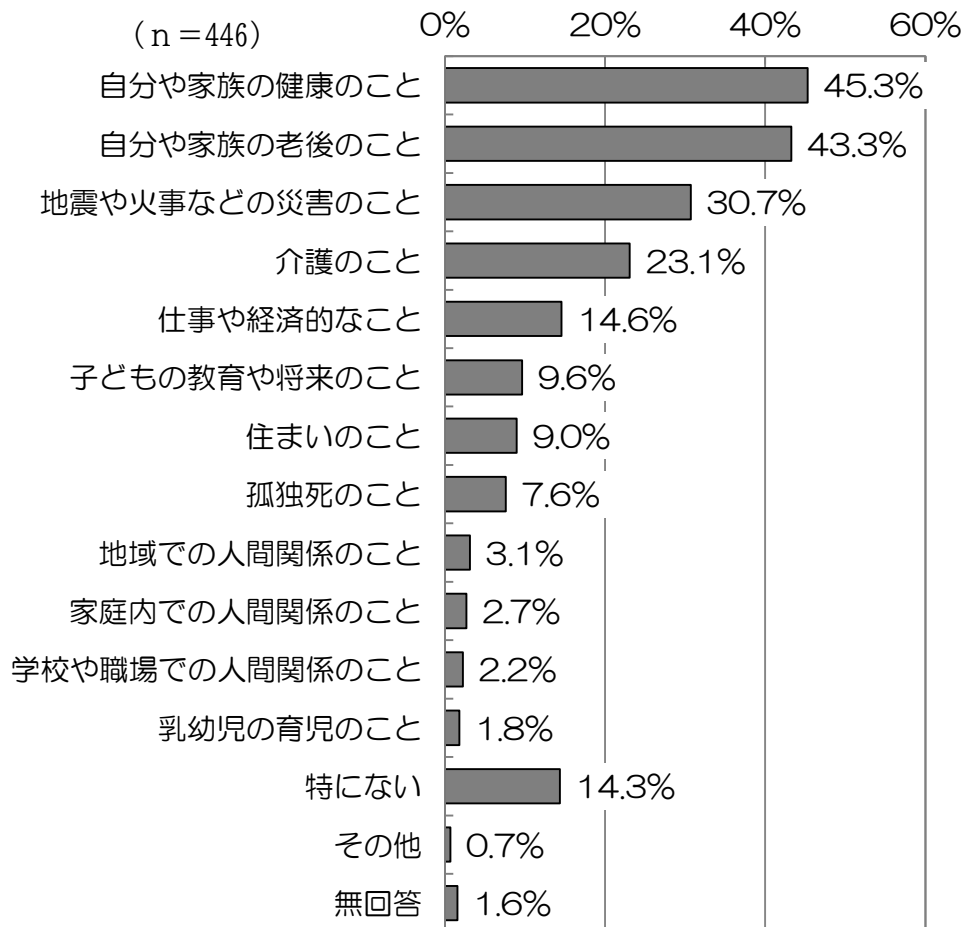
「見守り・安否確認など」が5.4%と最も多く、次いで、「悩みごとや心配ごとの相談」が4.5%、「草むしりや植木の手入れ、水やり」が4.0%となっています。一方、「特にない」は80.3%となっています。



(6) 日常生活で不安に感じていること

問15 あなたが、日常生活で不安に感じていることはどのようなことですか。(○は3つまで)

「自分や家族の健康のこと」が45.3%と最も多く、次いで「自分や家族の老後のこと」が43.3%、「地震や火事などの災害のこと」が30.7%となっています。

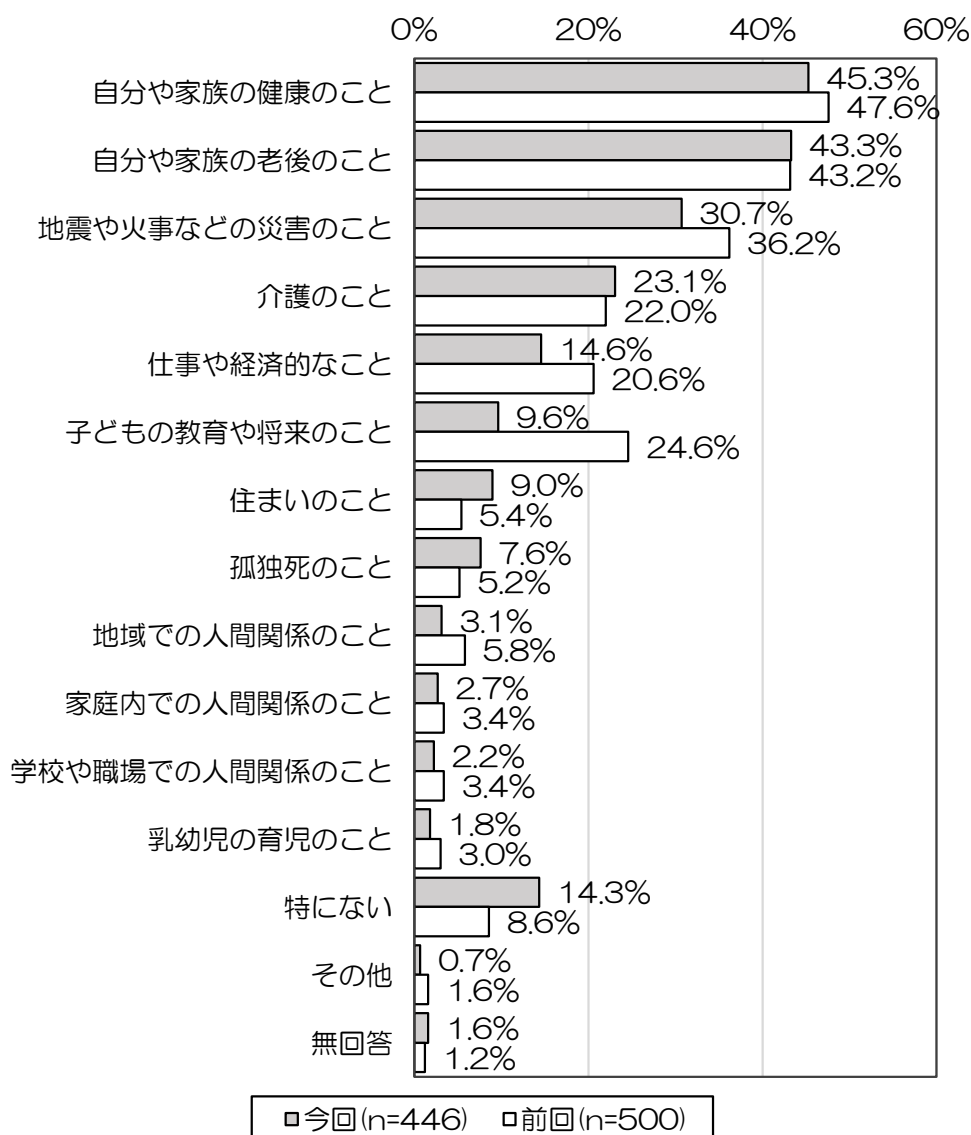


第2章 市民向け調査の結果詳細

日常生活で不安に感じていること（年代別）

	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	地震や火事などの災害のこと	介護のこと	仕事や経済的なこと	特にない	子どもの教育や将来のこと	住まいのこと	孤独死のこと	地域での人間関係のこと	家庭内での人間関係のこと	学校や職場での人間関係のこと	乳幼児の育児のこと	その他	無回答
全体（n=446）	45.3%	43.3%	30.7%	23.1%	14.6%	14.3%	9.6%	9.0%	7.6%	3.1%	2.7%	2.2%	1.8%	0.7%	1.6%
18歳～39歳（n=58）	32.8%	27.6%	20.7%	8.6%	32.8%	15.5%	12.1%	12.1%	8.6%	6.9%	1.7%	8.6%	5.2%	1.7%	0.0%
40歳～64歳（n=166）	44.0%	53.0%	32.5%	20.5%	24.1%	10.8%	19.3%	5.4%	6.6%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	0.6%	1.2%
65歳～74歳（n=86）	40.7%	40.7%	34.9%	29.1%	3.5%	19.8%	1.2%	12.8%	9.3%	1.2%	4.7%	0.0%	0.0%	1.2%	2.3%
75歳以上（n=133）	54.1%	38.3%	30.8%	29.3%	1.5%	15.0%	2.3%	9.8%	7.5%	2.3%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%

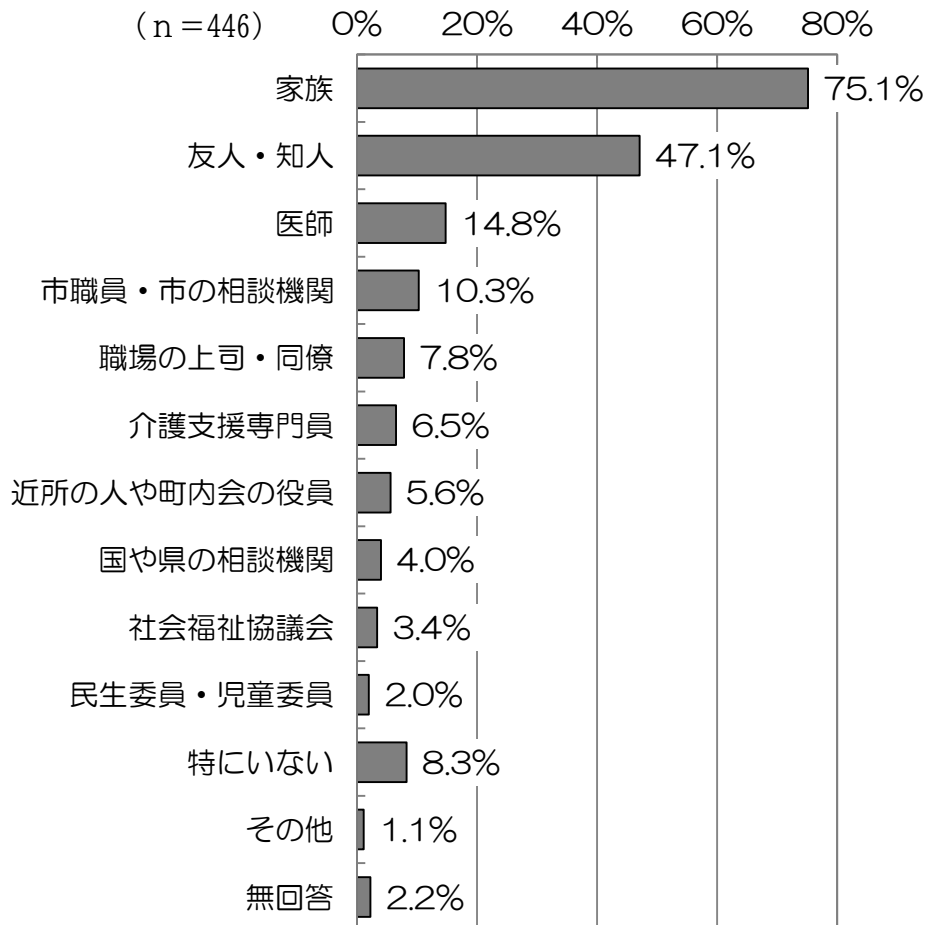
【前回調査（平成30年）と比較】



(7) 不安や悩みごとの相談先

問16 あなたが不安に感じていることや、悩みごとを相談する場合、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

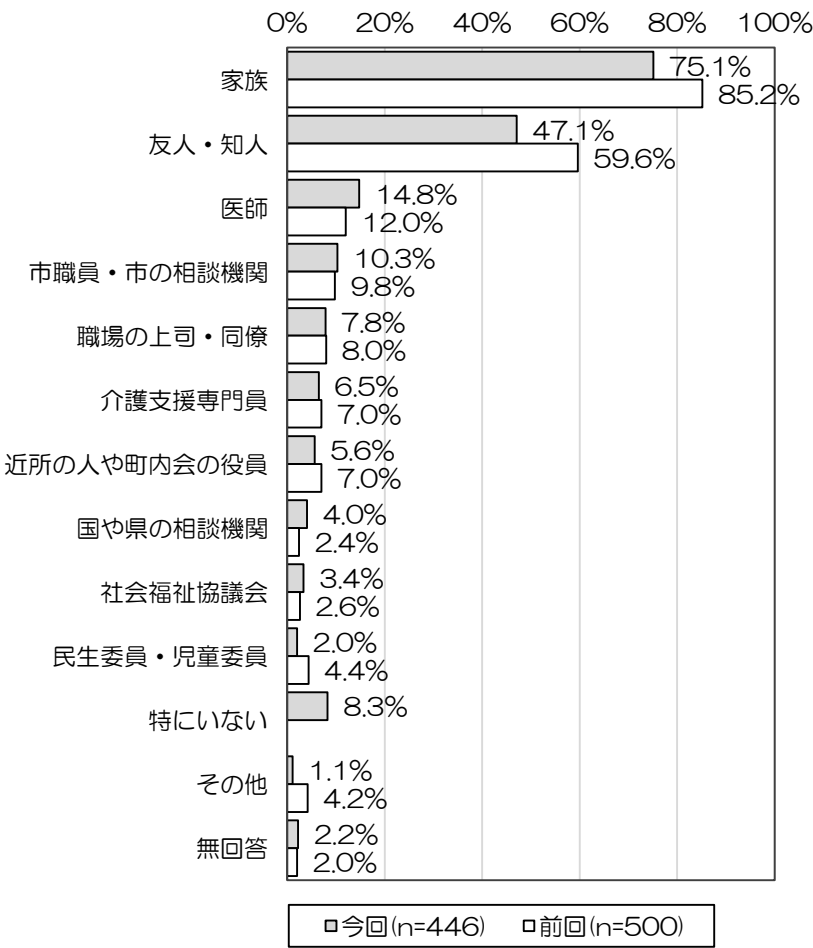
「家族」が75.1%と最も多く、次いで「友人・知人」が47.1%、「医師」が14.8%となっています。



不安や悩みごとの相談先（年代別）

	家族	友人・知人	医師	市職員・市の相談機関	特にいない	職場の上司・同僚	介護支援専門員	近所の人や町内会の役員	国や県の相談機関	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体（n=446）	75.1%	47.1%	14.8%	10.3%	8.3%	7.8%	6.5%	5.6%	4.0%	3.4%	2.0%	1.1%	2.2%
18歳～39歳（n=58）	74.1%	55.2%	5.2%	5.2%	10.3%	13.8%	3.4%	1.7%	3.4%	3.4%	1.7%	0.0%	1.7%
40歳～64歳（n=166）	78.9%	60.8%	10.2%	11.4%	7.2%	16.3%	3.0%	3.6%	5.4%	3.6%	0.0%	1.2%	1.2%
65歳～74歳（n=86）	80.2%	43.0%	20.9%	15.1%	7.0%	0.0%	4.7%	3.5%	2.3%	1.2%	0.0%	1.2%	3.5%
75歳以上（n=133）	66.9%	29.3%	21.1%	7.5%	9.8%	0.0%	13.5%	11.3%	3.8%	3.8%	6.0%	1.5%	3.0%

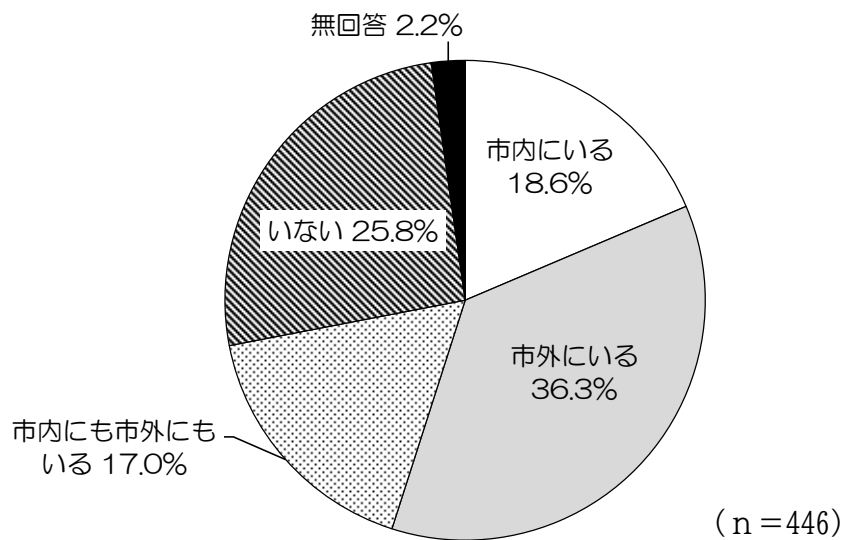
【前回調査（平成30年）と比較】 ※選択肢“特にいない”は2024年度のみ



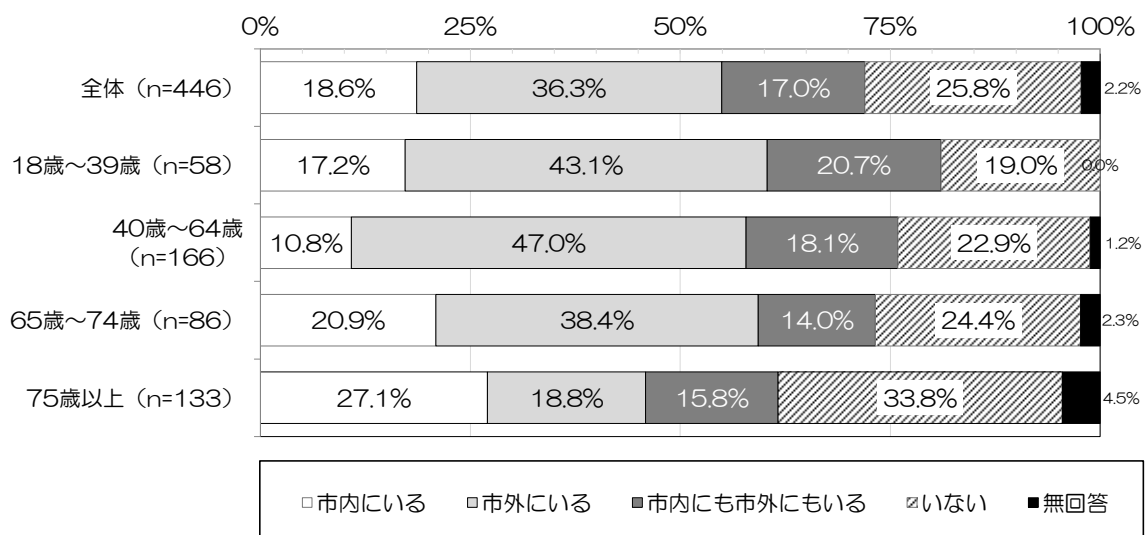
(8) 相談し合える親しい友人の有無

問17 あなたには、相談し合える親しい友人がいますか。(○は1つ)

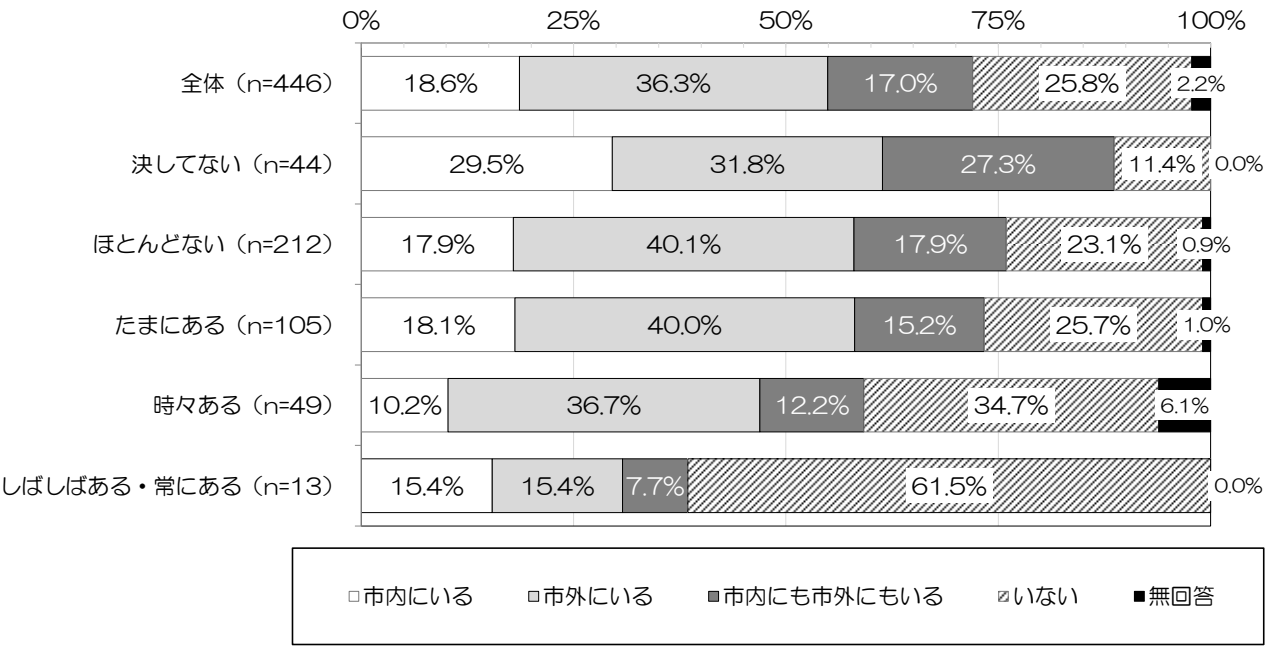
「市外にいる」が36.3%最も多く、次いで「いない」が25.8%となっています。



相談し合える親しい友人の有無（年代別）



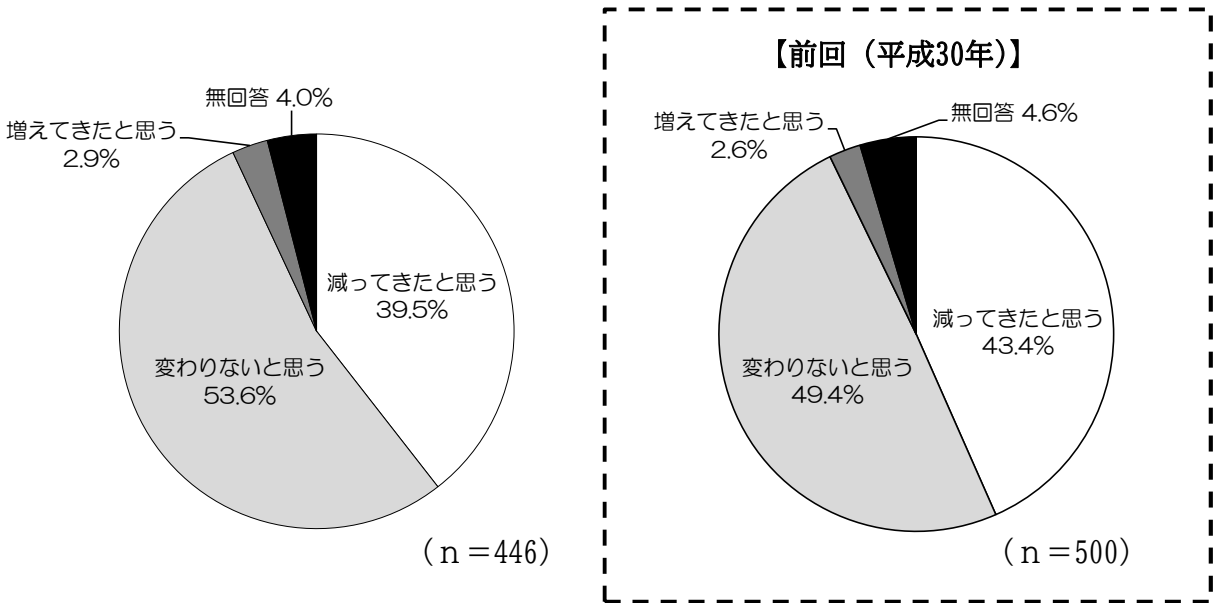
相談し合える親しい友人の有無（孤独感別）



(9) 地域共生社会を進めている中で障がいを理由とした差別や偏見の変化

問18 地域共生社会を進めている中で、障がいを理由とした差別や偏見は減ってきたと思いますか。(○は1つ)

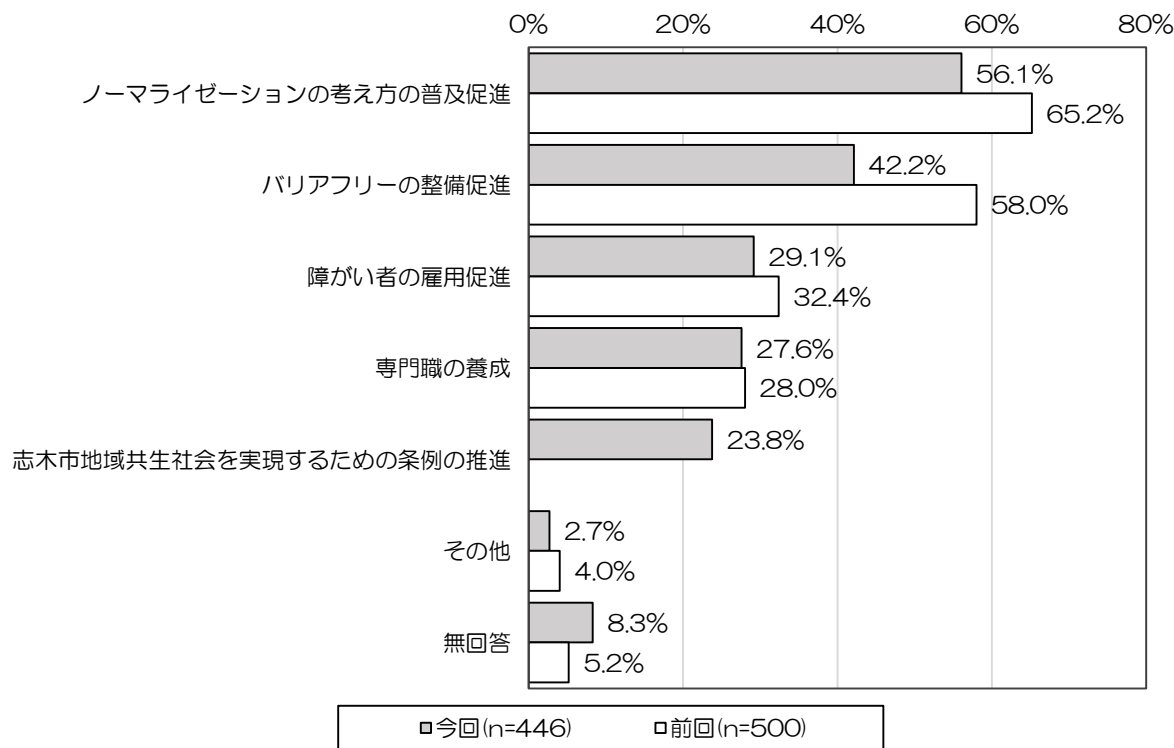
「減ってきたと思う」が39.5%、「変わらないと思う」が53.6%、「増えてきたと思う」が2.9%となっています。



(10) 地域共生社会を進めていく上で必要と思われるもの

問19 地域共生社会を進めていく上で、必要と思われるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「ノーマライゼーションの考え方の普及促進」が56.1%と最も多く、次いで「バリアフリーの整備促進」が42.2%、「障がい者雇用の促進」が29.1%となっています。



※選択肢“志木市地域共生社会を実現するための条例の推進”は2024年度のみ

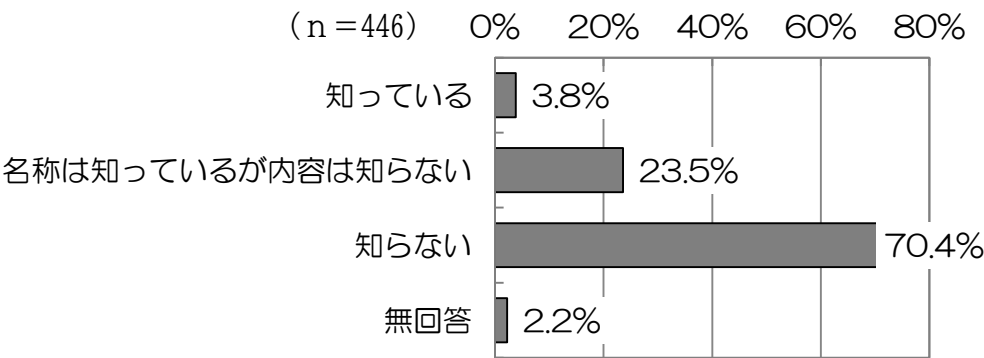
地域共生社会を進めていく上で必要と思われるもの（年代別）

	進ノ のー 考マ えラ 方イ のゼ ー 普 及 シ ヨ	促進 バ リア フ リー の 整 備	障 が い 者 の 雇 用 促 進	専 門 職 の 養 成	例を志 の実木 推進市 進現地 る域 共 生 の 社 会	そ の 他	無 回 答
全体（n=446）	56.1%	42.2%	29.1%	27.6%	23.8%	2.7%	8.3%
18歳～39歳 （n=58）	60.3%	46.6%	31.0%	27.6%	24.1%	1.7%	1.7%
40歳～64歳 （n=166）	65.7%	47.6%	34.3%	33.1%	19.9%	4.2%	2.4%
65歳～74歳 （n=86）	55.8%	43.0%	32.6%	25.6%	31.4%	2.3%	8.1%
75歳以上 （n=133）	42.1%	33.1%	19.5%	21.8%	24.1%	1.5%	18.8%

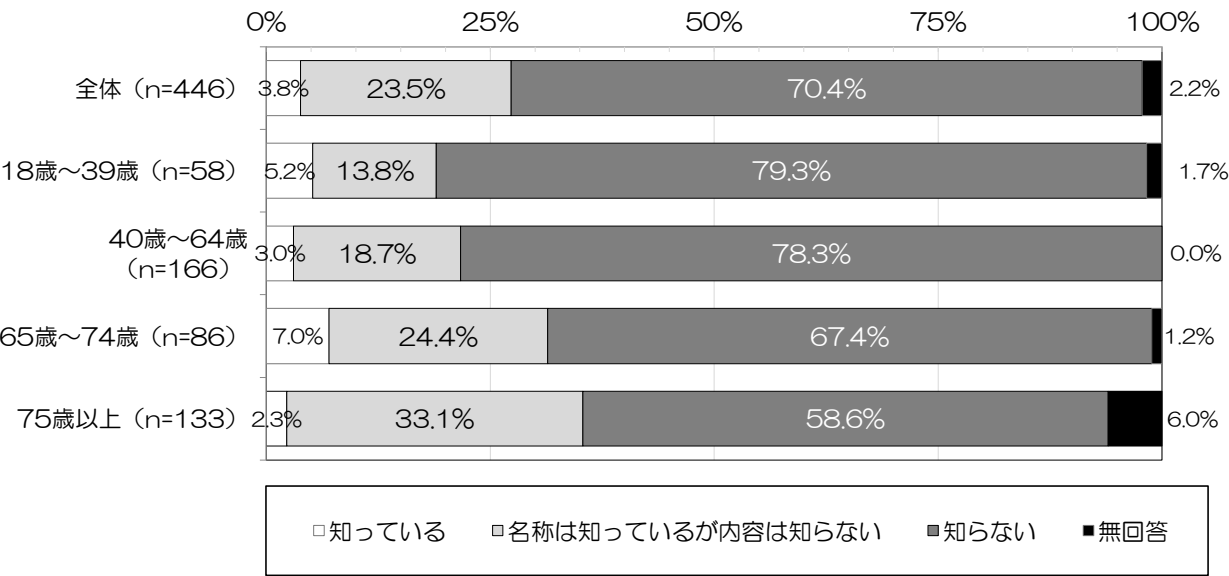
(11)「志木市地域共生社会を実現するための条例」の認知状況

問20 あなたは、「志木市地域共生社会を実現するための条例（※）」をどれくらいご存知ですか。（○は1つ）

「知らない」が70.4%と最も多く、次いで「名称は知っているが内容は知らない」が23.5%、「知っている」が3.8%となっています。



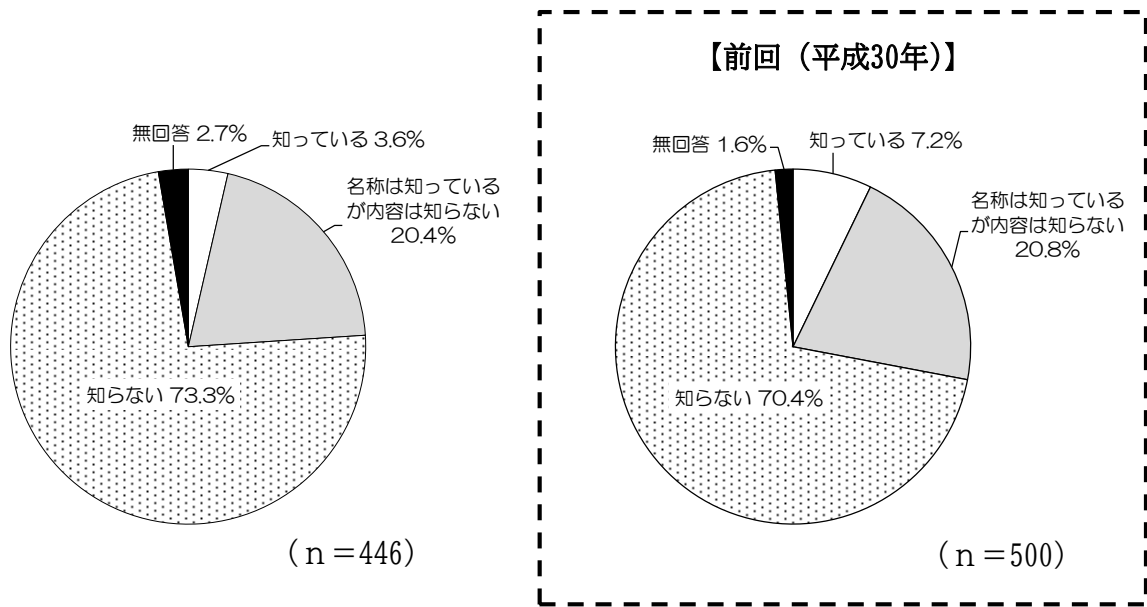
「志木市地域共生社会を実現するための条例」の認知状況（年代別）



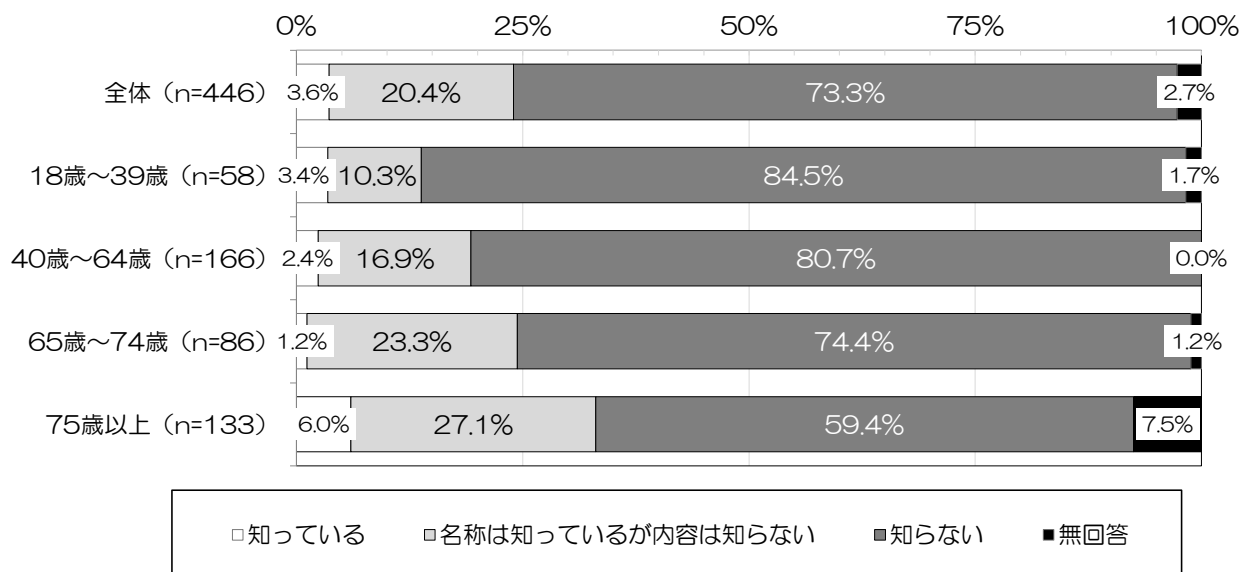
(12)「志木市地域福祉計画」の認知状況

問21 あなたは、「志木市地域福祉計画」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が73.3%と最も多く、次いで「名称は知っているが内容は知らない」が20.4%、「知っている」が3.6%となっています。



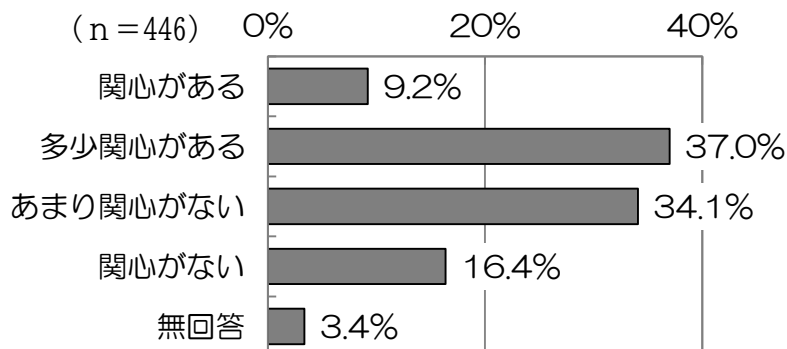
「志木市地域福祉計画」の認知状況（年代別）



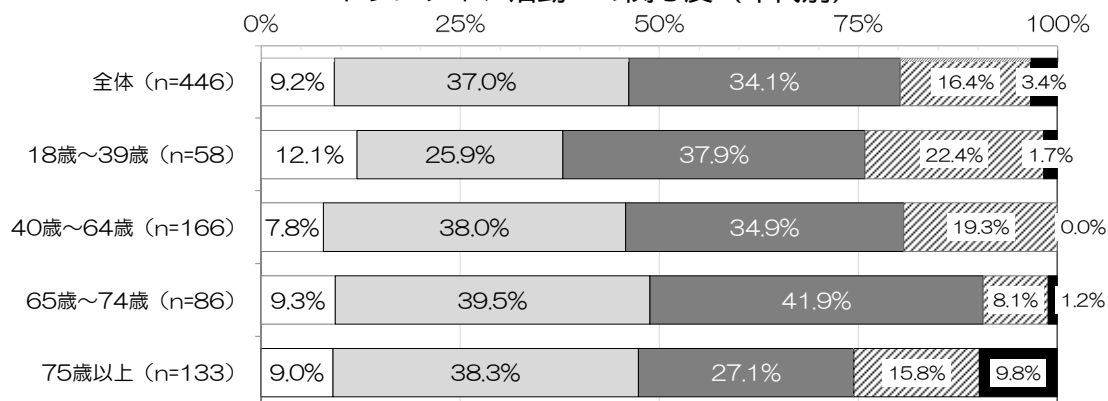
(13) ボランティア活動への関心度

問22 あなたは、ボランティア活動にどの程度関心がありますか。(○は1つ)

「多少関心がある」が37.0%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が34.1%、「関心がない」が16.4%となっています。

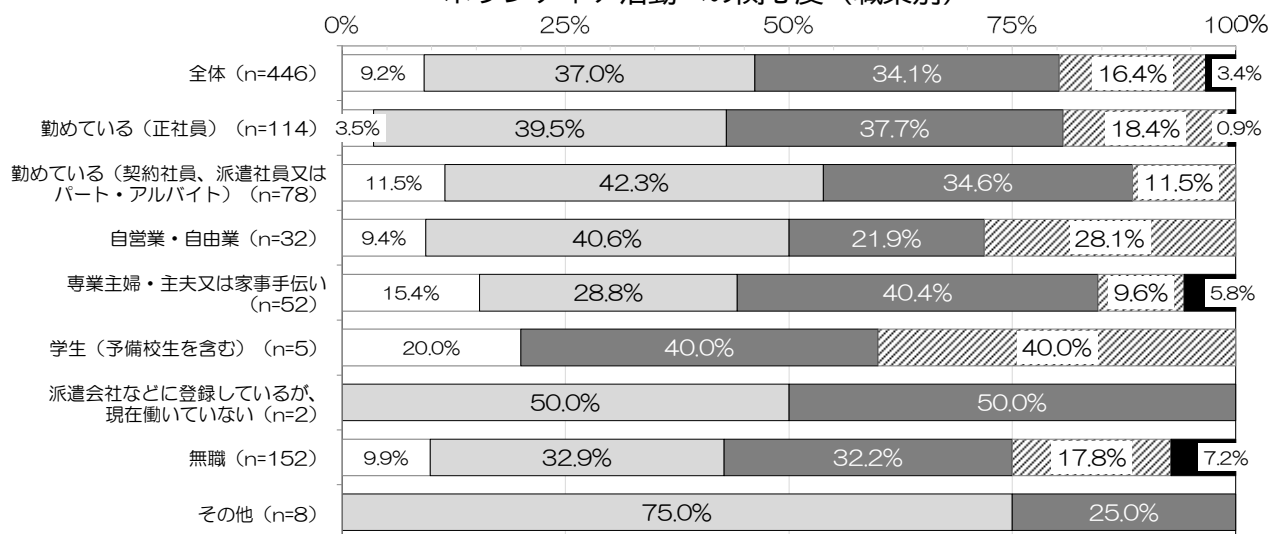


ボランティア活動への関心度（年代別）



□関心がある □多少関心がある ■あまり関心がない ▨関心がない ■無回答

ボランティア活動への関心度（職業別）

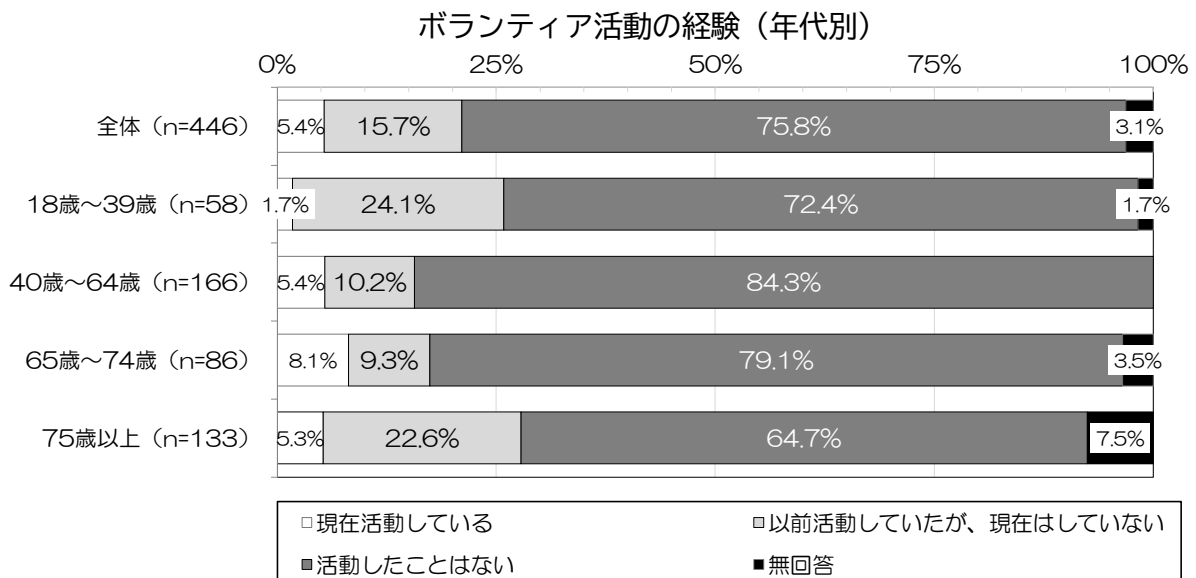
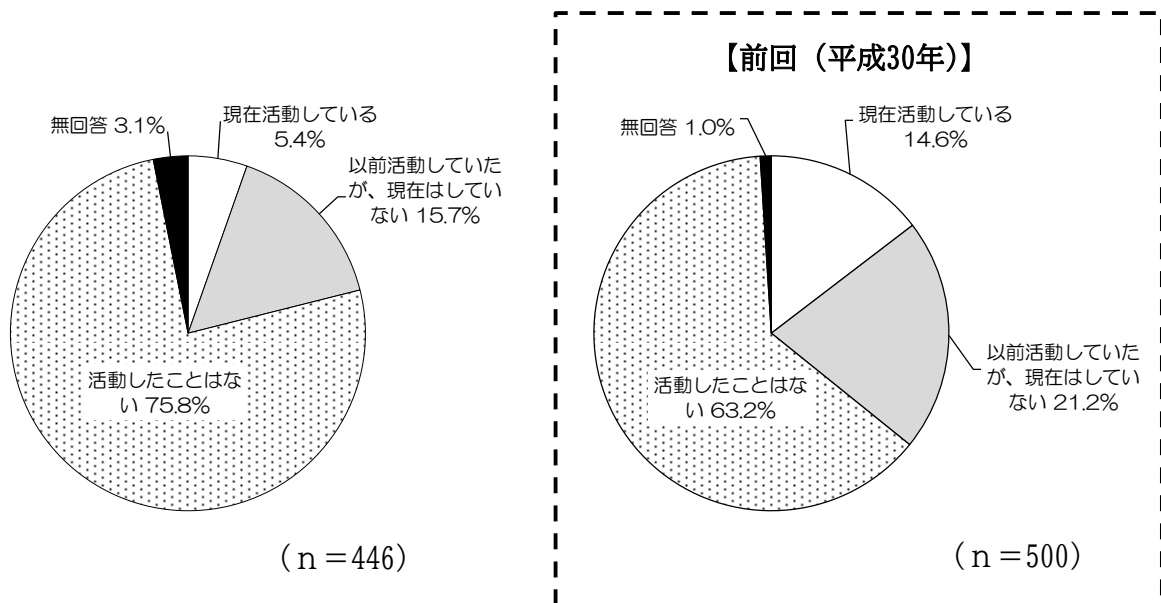


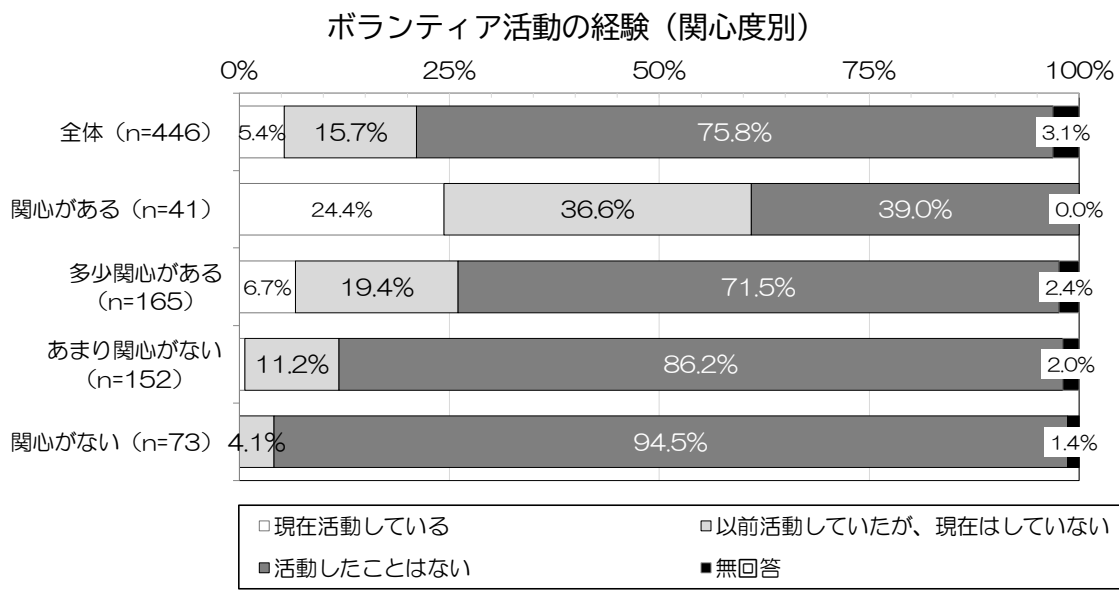
□関心がある □多少関心がある ■あまり関心がない ▨関心がない ■無回答

(14) ボランティア活動の経験

問23 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

「活動したことはない」が75.8%と最も多く、次いで「以前活動していたが、現在はしていない」が15.7%、「現在活動している」が5.4%となっています。

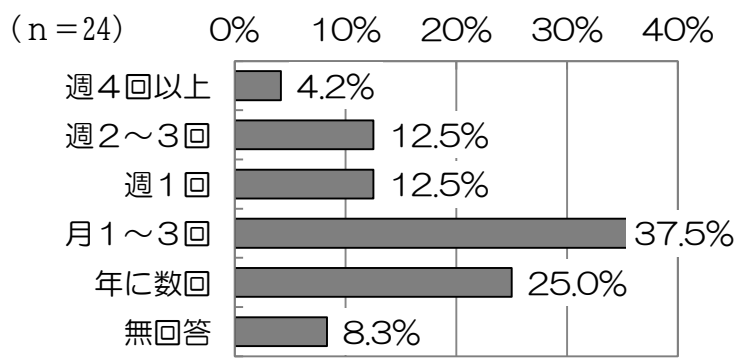




（15）ボランティア活動の参加頻度

問23で「1. 現在活動している」と回答した方に伺います。
問23-1 ボランティア活動にどの程度参加していますか。（○は1つ）

「月1～3回」が37.5%と最も多く、次いで「年に数回」が25.0%、「週1回」と「週2～3回」が12.5%となっています。

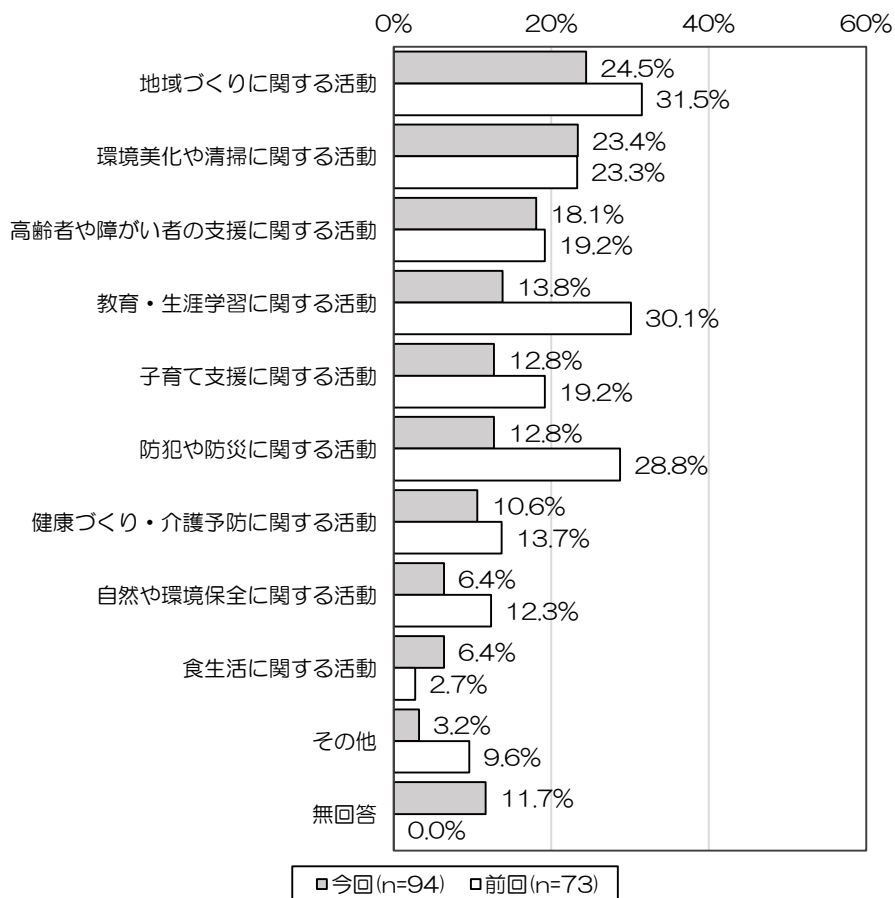


(16) 参加しているボランティア活動

問23で「1. 現在活動している」又は「2. 以前活動していたが、現在はしていない」と回答した方に伺います。

問23-2 どのようなボランティア活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

「地域づくりに関する活動」が24.5%と最も多く、次いで「環境美化や清掃に関する活動」が23.4%、「高齢者や障がい者の支援に関する活動」が18.1%となっています。



参加しているボランティア活動（年代別）

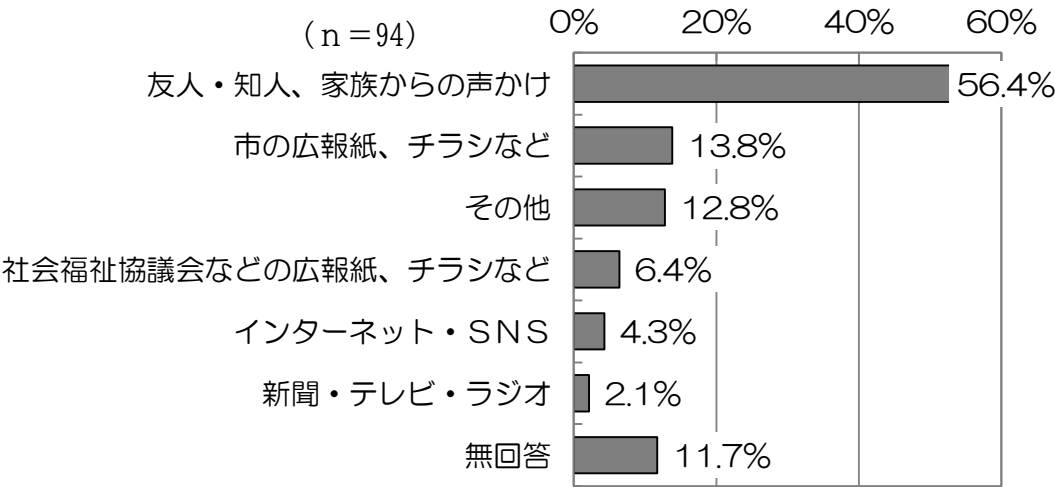
	活動地域づくりに関する	環境美化や清掃に関する活動	高齢者や障がい者の支援に関する活動	教育・生涯学習に関する活動	子育て支援に関する活動	防犯や防災に関する活動	健康づくりに関する活動・介護予防	自然や環境保全に関する活動	食生活に関する活動	その他	無回答
全体 (n=94)	24.5%	23.4%	18.1%	13.8%	12.8%	12.8%	10.6%	6.4%	6.4%	3.2%	11.7%
18歳～39歳 (n=15)	20.0%	46.7%	20.0%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%	6.7%
40歳～64歳 (n=26)	23.1%	19.2%	30.8%	11.5%	15.4%	11.5%	0.0%	3.8%	7.7%	7.7%	3.8%
65歳～74歳 (n=15)	33.3%	13.3%	6.7%	20.0%	26.7%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
75歳以上 (n=37)	24.3%	21.6%	13.5%	10.8%	5.4%	13.5%	13.5%	8.1%	5.4%	2.7%	18.9%

(17) ボランティア活動のきっかけ

問23で「1. 現在活動している」又は「2. 以前活動していたが、現在はしていない」と回答した方に伺います。

問23-3 ボランティア活動のきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人、家族からの声かけ」が56.4%と最も多く、次いで「市の広報誌、チラシなど」が13.8%となっています。「その他」としては、町内会や老人クラブ、会社経由といった回答がありました。



ボランティア活動のきっかけ（年代別）

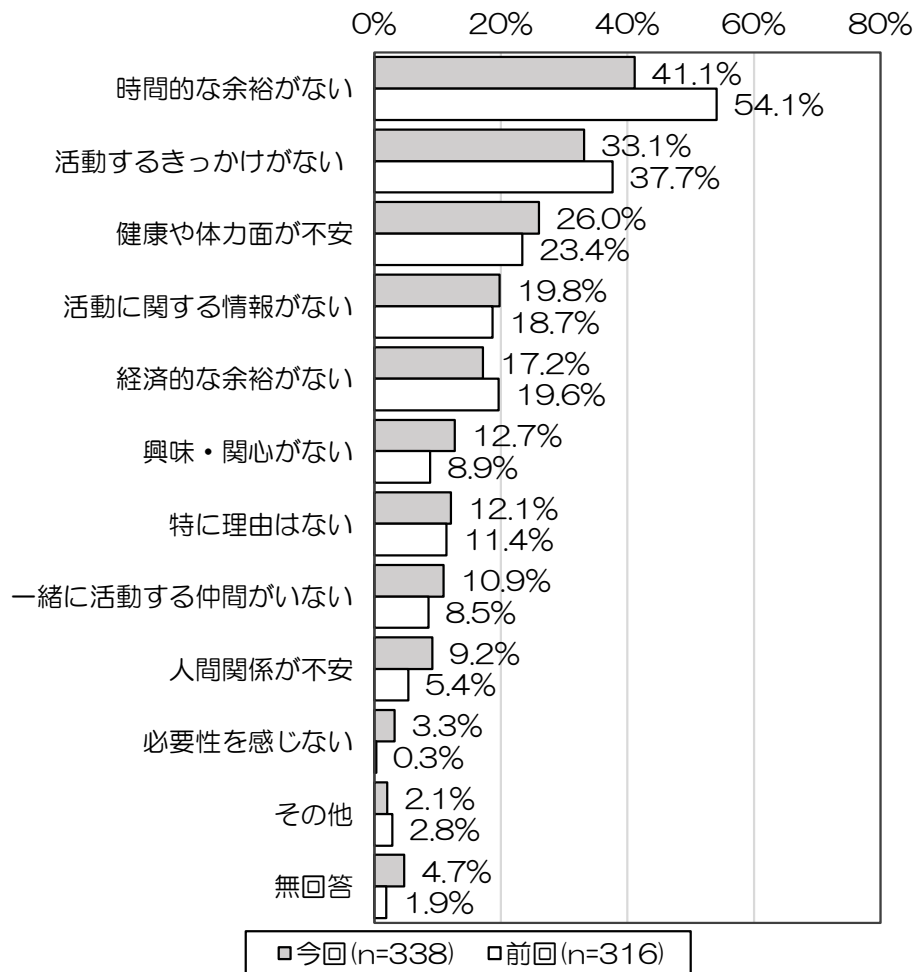
	友人・知人、家族からの声かけ	市の広報紙、チラシなど	その他	社会福祉協議会、町内会、老人クラブなど	インターネット・SNS	新聞・テレビ・ラジオ	無回答
全体（n=94）	56.4%	13.8%	12.8%	6.4%	4.3%	2.1%	11.7%
18歳～39歳（n=15）	53.3%	20.0%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%
40歳～64歳（n=26）	57.7%	7.7%	19.2%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%
65歳～74歳（n=15）	46.7%	26.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	20.0%
75歳以上（n=37）	59.5%	10.8%	10.8%	5.4%	0.0%	2.7%	13.5%

(18) ボランティア活動をしたことがない理由

問23で「3. 活動したことはない」と回答した方に伺います。

問23-4 ボランティア活動をしたことがない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「時間的な余裕がない」が41.1%と最も多く、次いで「活動するきっかけがない」が33.1%、「健康や体力面が不安」が26.0%となっています。



第2章 市民向け調査の結果詳細

ボランティア活動をしたことがない理由（年代別）

	い時間的な余裕がない	が活ないするきつかけ	安健康や体力面が不安	が活ないに関する情報	い経済的な余裕がない	興味・関心がない	特に理由はない	間一緒に活動する仲間がいない	人間関係が不安	必要性を感じない	その他	無回答
全体（n=338）	41.1%	33.1%	26.0%	19.8%	17.2%	12.7%	12.1%	10.9%	9.2%	3.3%	2.1%	4.7%
18歳～39歳（n=42）	54.8%	35.7%	9.5%	33.3%	19.0%	31.0%	7.1%	26.2%	14.3%	9.5%	2.4%	2.4%
40歳～64歳（n=140）	57.9%	36.4%	20.0%	21.4%	23.6%	12.1%	7.1%	11.4%	7.9%	2.1%	2.9%	0.7%
65歳～74歳（n=68）	30.9%	42.6%	22.1%	17.6%	10.3%	2.9%	17.6%	5.9%	8.8%	1.5%	1.5%	8.8%
75歳以上（n=86）	14.0%	19.8%	47.7%	11.6%	10.5%	12.8%	18.6%	7.0%	9.3%	3.5%	1.2%	9.3%

ボランティア活動をしたことがない理由（職種別）

	時間的な余裕がない	な活いするきつかけがない	健康や体力面が不安	な活いに関する情報がない	経済的な余裕がない	興味・関心がない	特に理由はない	間一緒に活動する仲間がいない	人間関係が不安	必要性を感じない	その他	無回答
全体（n=338）	41.1%	33.1%	26.0%	19.8%	17.2%	12.7%	12.1%	10.9%	9.2%	3.3%	2.1%	4.7%
勤めている（正社員）（n=95）	64.2%	33.7%	14.7%	24.2%	18.9%	13.7%	7.4%	14.7%	4.2%	4.2%	1.1%	3.2%
勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト）（n=65）	52.3%	38.5%	12.3%	27.7%	26.2%	12.3%	10.8%	7.7%	7.7%	3.1%	0.0%	4.6%
自営業・自由業（n=22）	50.0%	31.8%	27.3%	22.7%	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	22.7%	4.5%	0.0%	0.0%
専業主婦・主夫又は家事手伝い（n=36）	33.3%	47.2%	47.2%	13.9%	8.3%	5.6%	5.6%	13.9%	16.7%	2.8%	0.0%	0.0%
学生（予備校生を含む）（n=4）	50.0%	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
派遣会社などに登録しているが、現在働いていない（n=1）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職（n=109）	12.8%	24.8%	38.5%	11.0%	11.0%	12.8%	21.1%	6.4%	10.1%	2.8%	5.5%	9.2%
その他（n=4）	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

ボランティア活動をしたことがない理由（関心度別）

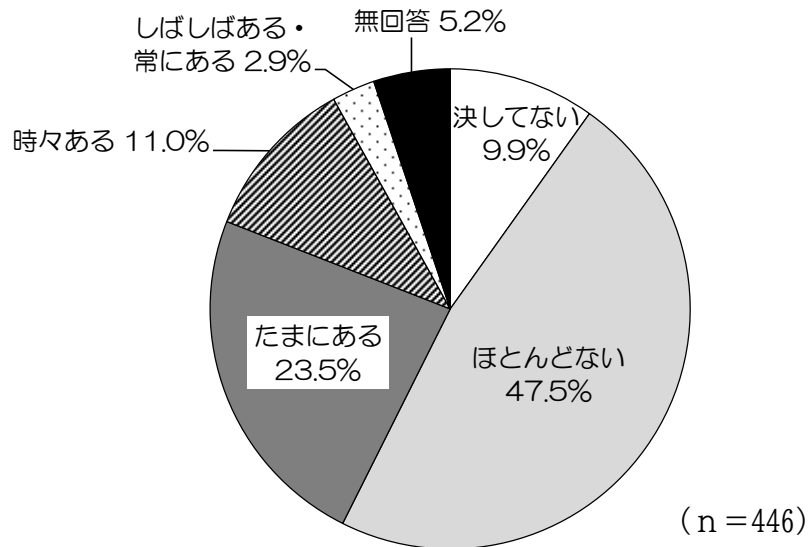
	時間的な余裕がない	な活いするきつかけがない	健康や体力面が不安	な活いに関する情報がない	経済的な余裕がない	興味・関心がない	特に理由はない	間一緒に活動する仲間がいない	人間関係が不安	必要性を感じない	その他	無回答
全体（n=338）	41.1%	33.1%	26.0%	19.8%	17.2%	12.7%	12.1%	10.9%	9.2%	3.3%	2.1%	4.7%
関心がある（n=16）	37.5%	75.0%	31.3%	43.8%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
多少関心がある（n=118）	42.4%	44.1%	23.7%	33.1%	11.0%	1.7%	7.6%	16.1%	11.0%	0.0%	1.7%	5.9%
あまり関心がない（n=131）	45.8%	30.5%	22.9%	11.5%	19.1%	13.7%	15.3%	9.9%	6.9%	4.6%	2.3%	4.6%
関心がない（n=69）	33.3%	10.1%	33.3%	8.7%	24.6%	31.9%	15.9%	7.2%	13.0%	7.2%	0.0%	2.9%

3. 孤独感について

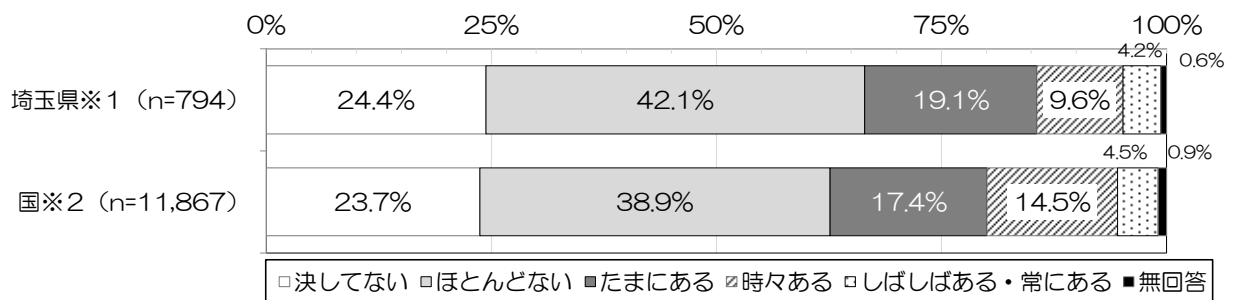
(1) 孤独感

問24 あなたは、どの程度、孤独であると感じますか。(○は1つ)

「ほとんどない」が47.5%と最も多く、次いで「たまにある」が23.5%、「時々ある」が11.0%となっています。



【参考】国や埼玉県の結果

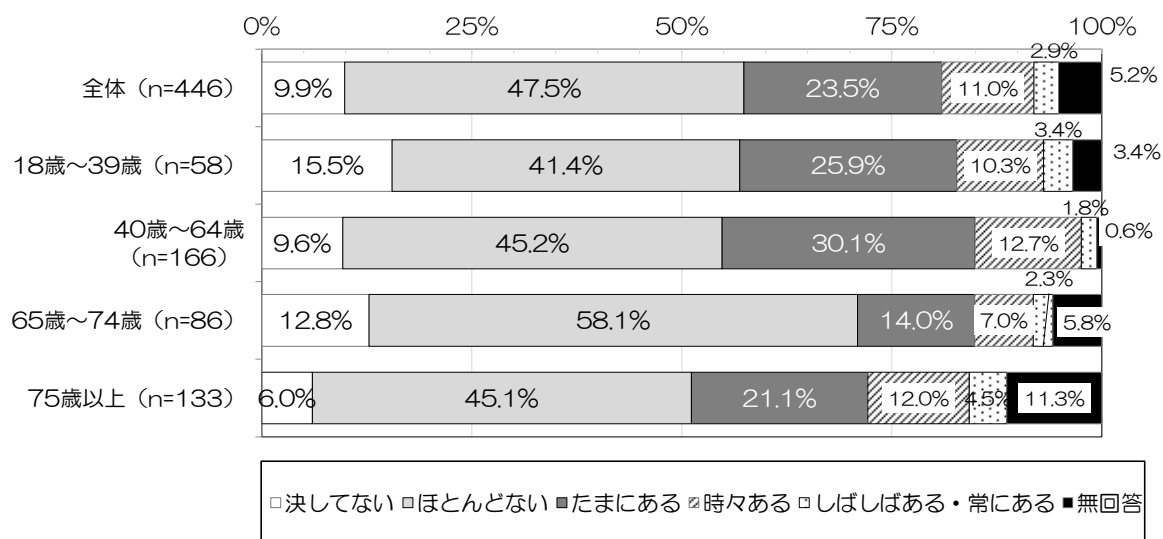


※1 埼玉県「人々のつながりに関する基礎調査（令和5年）」

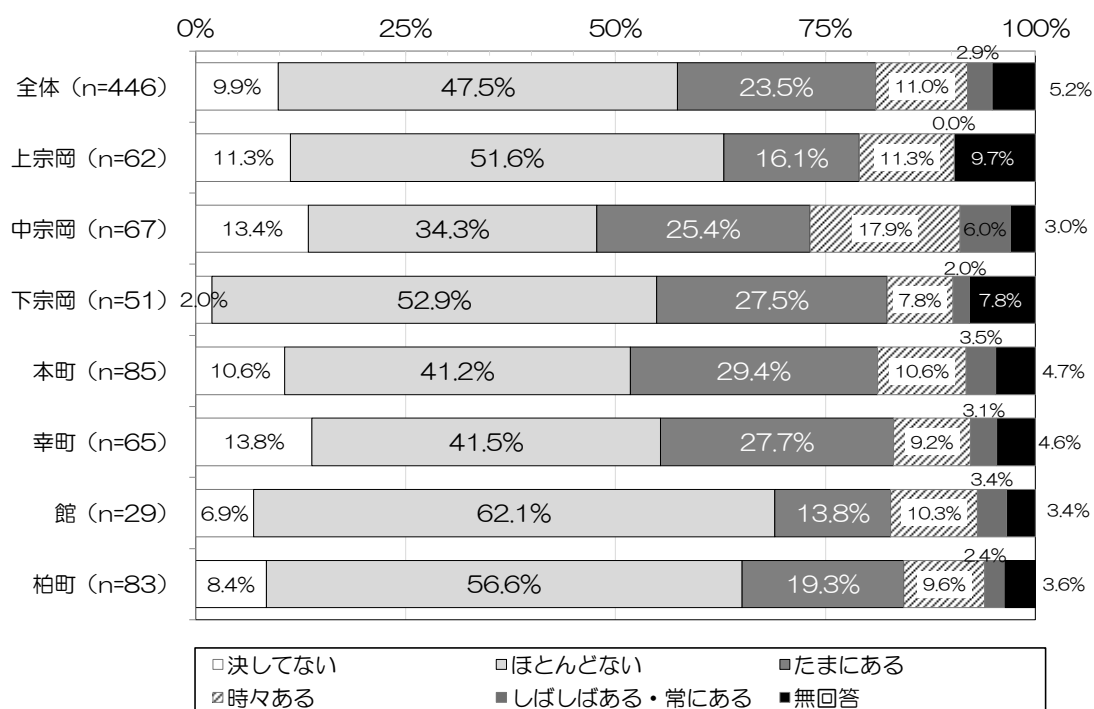
※2 国「人々のつながりに関する基礎調査（令和3年）」

第2章 市民向け調査の結果詳細

孤独感（年代別）



孤独感（地区別）

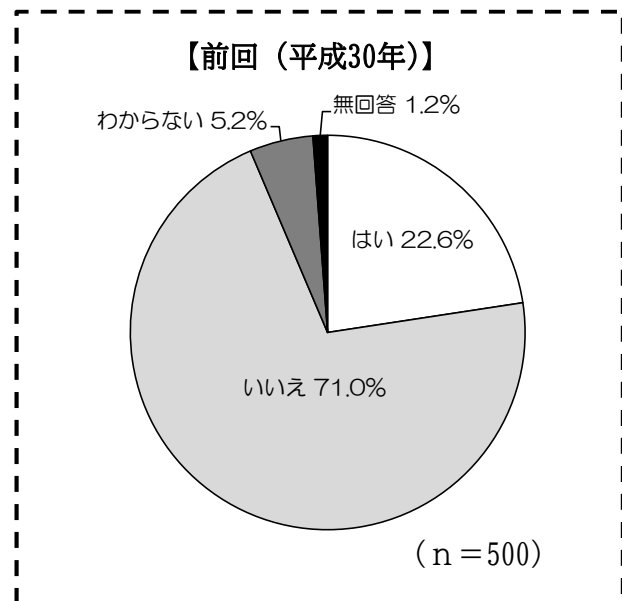
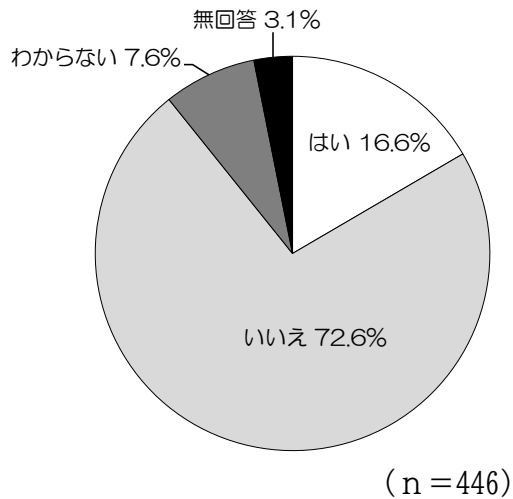


4. 防災活動について

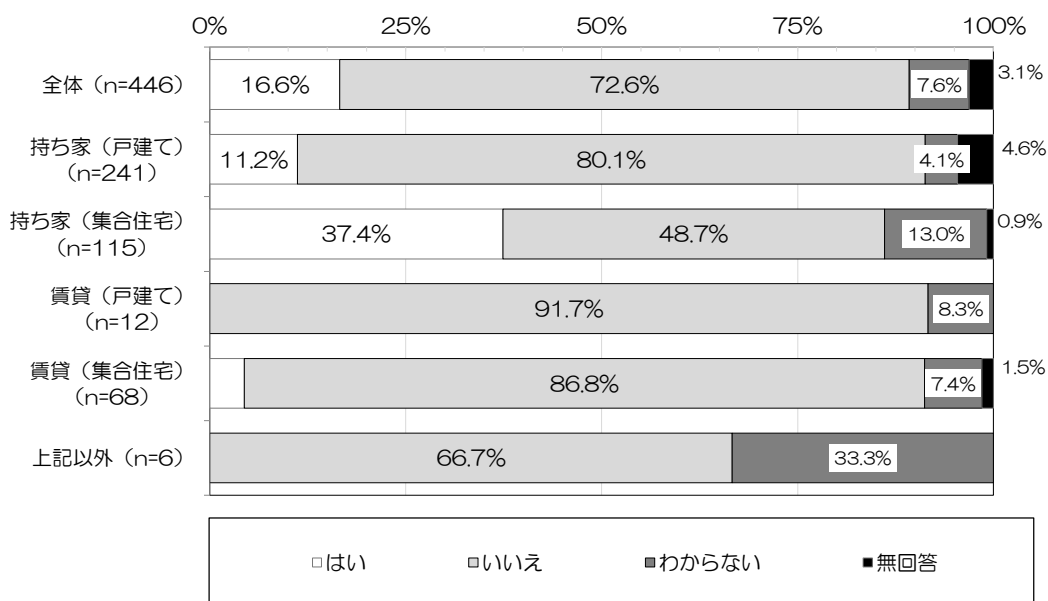
(1) 地域の防災訓練への参加有無

問25 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(○は1つ)

「はい」が16.6%、「いいえ」が72.6%、「わからない」が7.6%となっています。



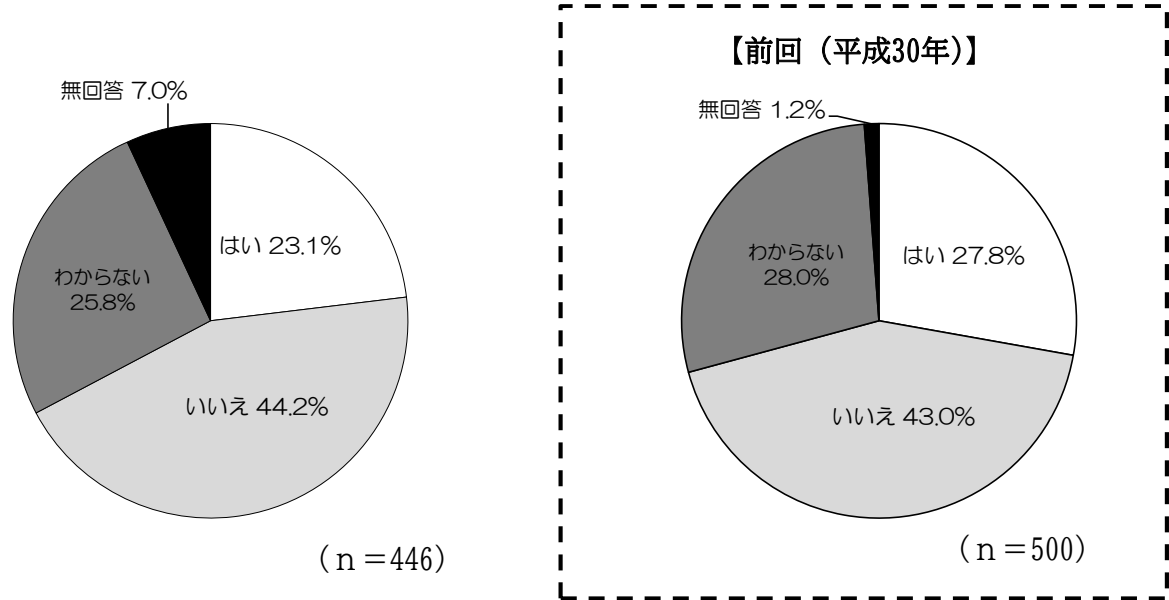
地域の防災訓練への参加有無（居住形態別）



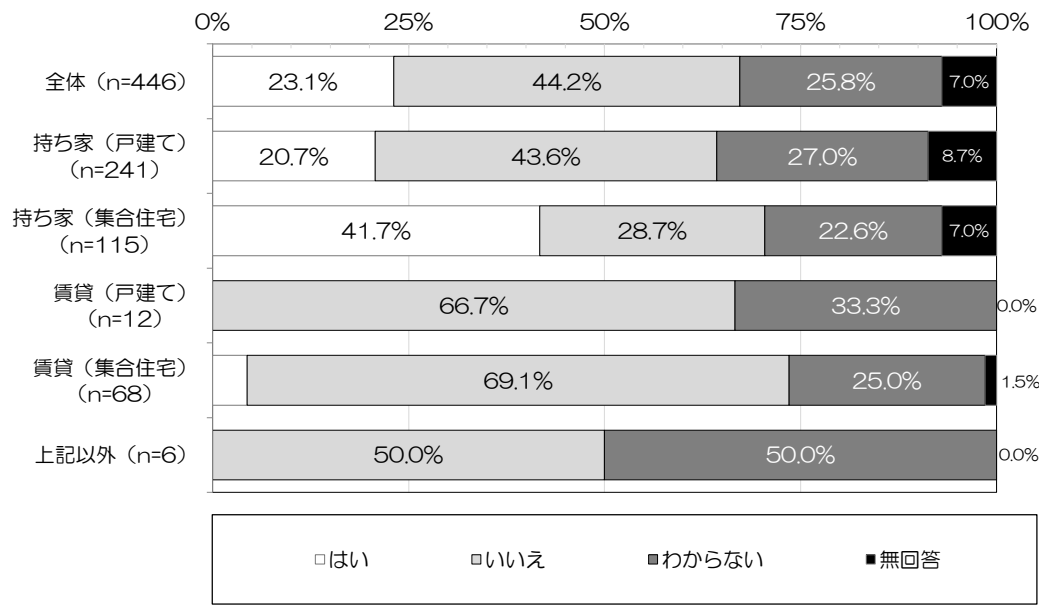
(2) 地域の自主防災組織への世帯の加入状況

問26 あなたの世帯は地域の自主防災組織（町内会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に入っていますか。（○は1つ）

「はい」が23.1%、「いいえ」が44.2%、「わからない」が25.8%となっています。



地域の自主防災組織への世帯の加入状況（居住形態別）

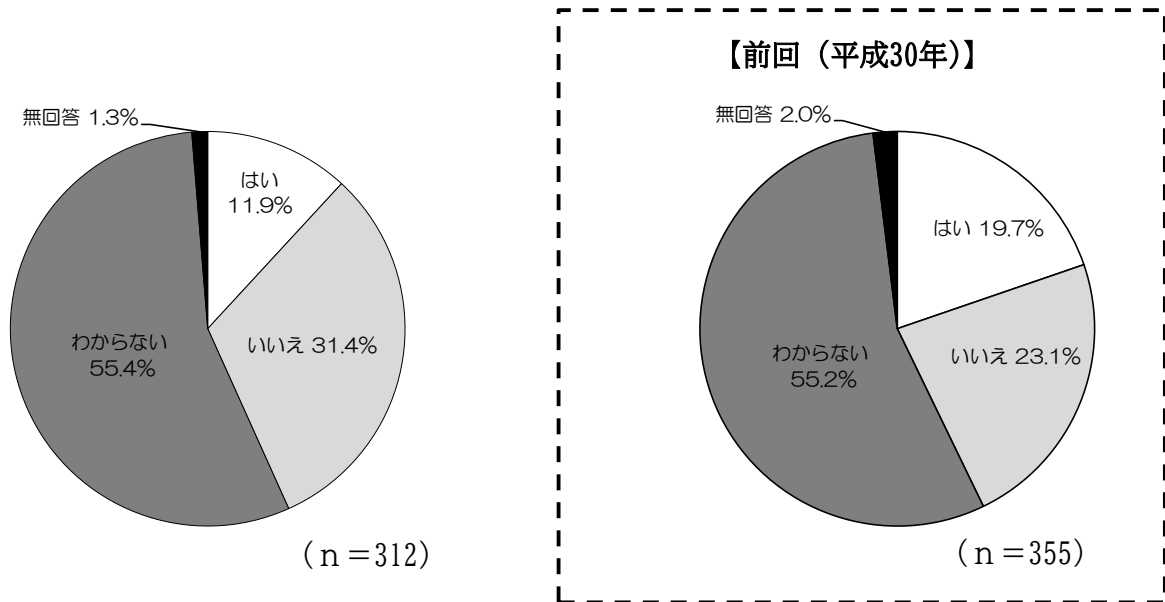


(3) 地域の自主防災組織への加入意向

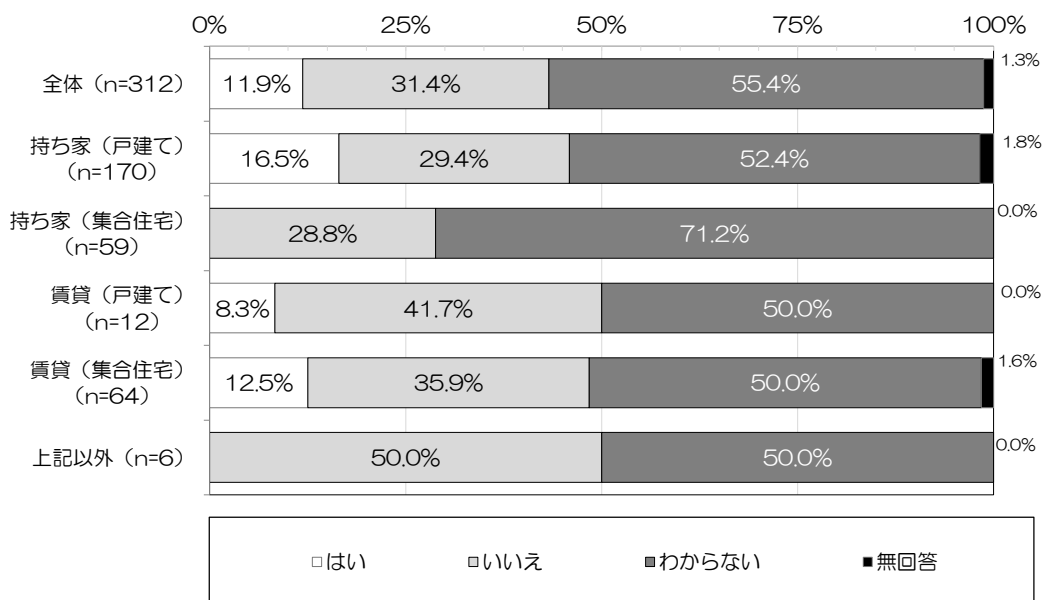
問26で「2. いいえ」又は「3. わからない」と回答した方に伺います。

問26-1 今後、あなたの世帯は地域の自主防災組織に入りたいと思いますか。(〇は1つ)

「はい」が11.9%、「いいえ」が31.4%、「わからない」が55.4%となっています。



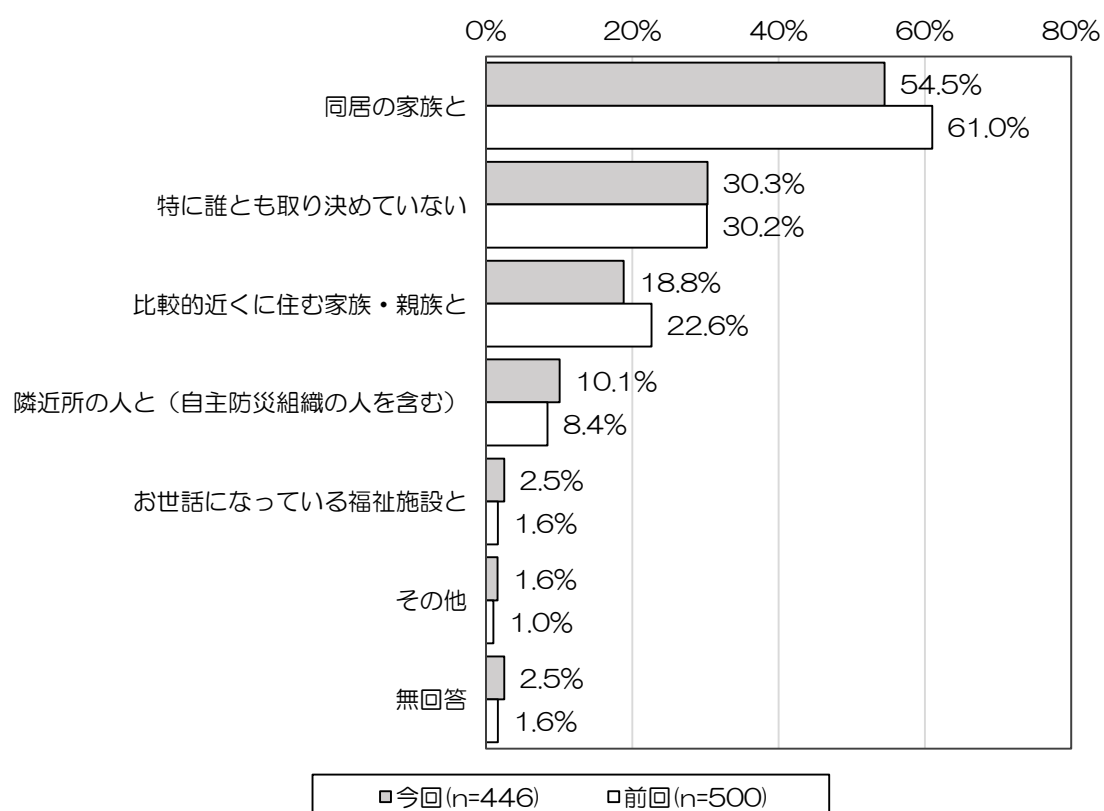
地域の自主防災組織への加入意向（居住形態別）



(4) 災害が起きた時の対応についての取り決め

問27 あなたは、災害が起きた時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、自分以外の誰かと取り決めていますか。（あてはまるものすべてに○）

「同居の家族と」が54.5%と最も多く、次いで「特に誰とも取り決めていない」が30.3%、「比較的近くに住む家族・親族と」が18.8%となっています。

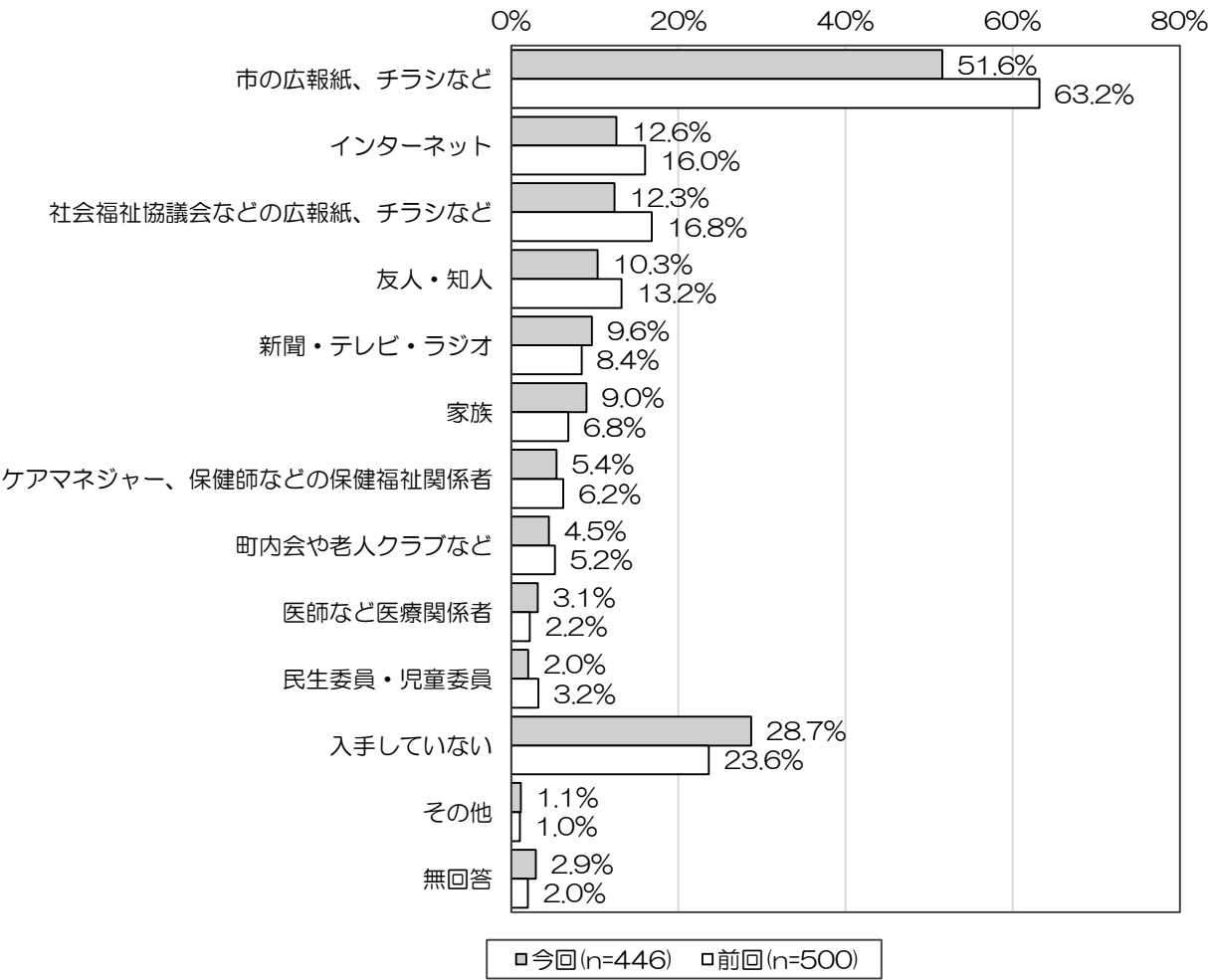


5. 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスに関する情報の入手先

問28 あなたは、ふだん福祉サービス（例：子ども医療費の実施、シニアボランティアスタンプ事業など）に関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

「市の広報紙、チラシなど」が51.6%と最も多く、次いで「インターネット」が12.6%、「社会福祉協議会などの広報紙、チラシなど」が12.3%となっています。一方、「入手していない」は28.7%となっています。



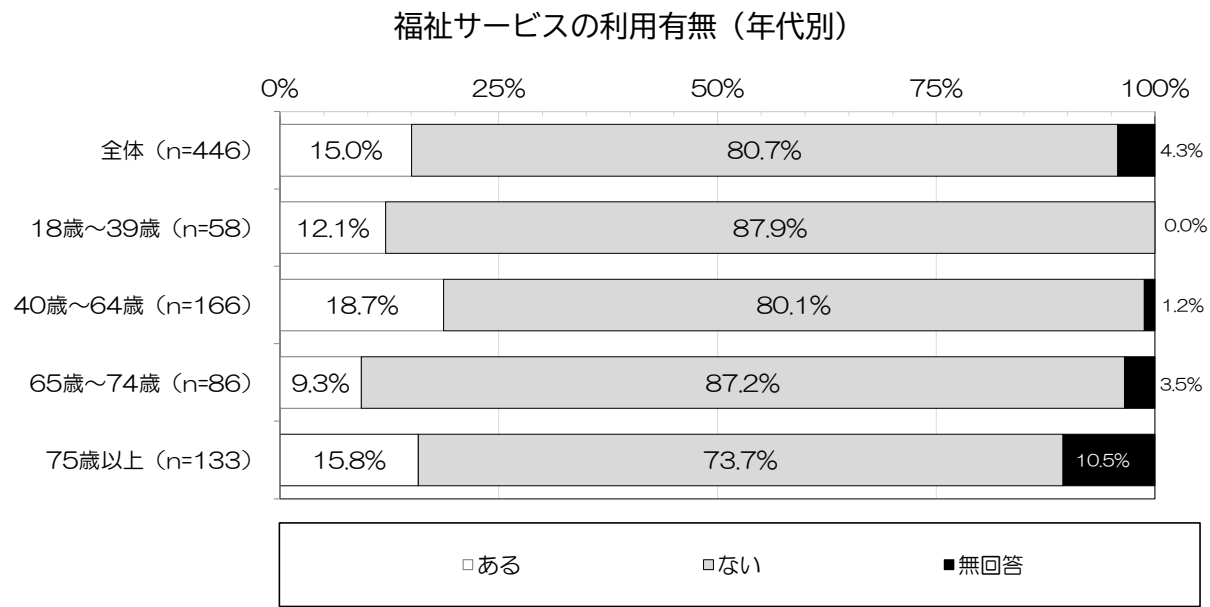
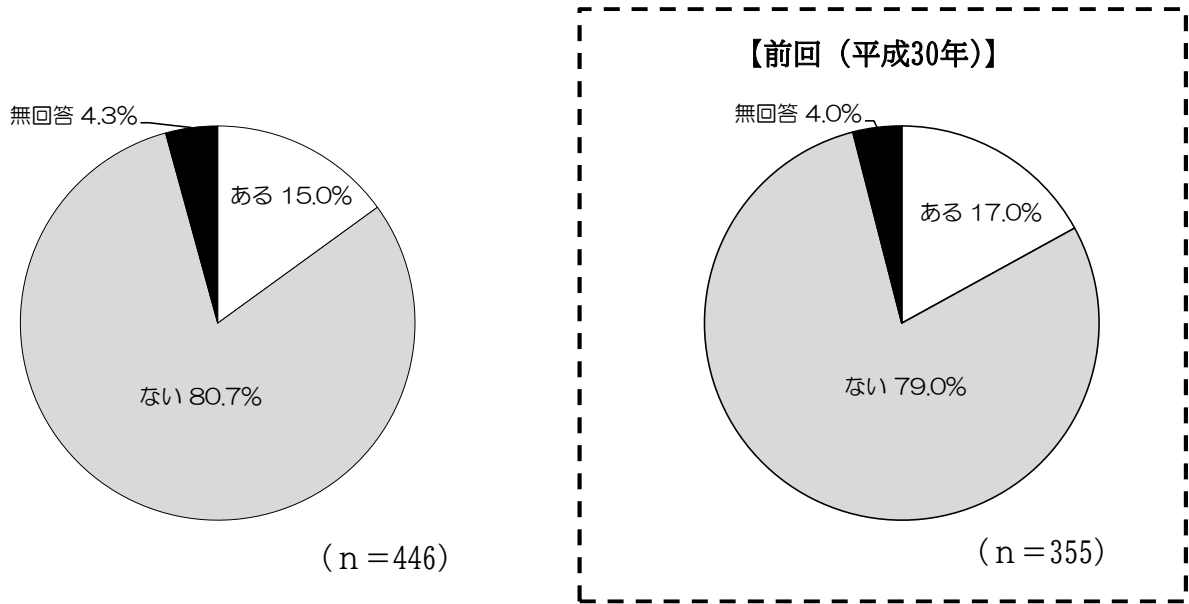
福祉サービスに関する情報の入手先（年代別）

	市の広報紙、 チラシなど	入手して いない	イン ター ネ ット	社会福祉協 議会、チ ラシなど	友 人・ 知 人	新 聞・ テ レ ビ・ ラ ジ オ	家 族	医療関係 者、ケア マネジャー などの保 健福祉保 険関係者	町内会や 老人クラ ブなど	医師など 医療関係 者	民生委員 ・児童委 員	そ の 他	無 回 答
全体（n=446）	51.6%	28.7%	12.6%	12.3%	10.3%	9.6%	9.0%	5.4%	4.5%	3.1%	2.0%	1.1%	2.9%
18歳～39歳 （n=58）	34.5%	44.8%	24.1%	5.2%	8.6%	10.3%	20.7%	5.2%	3.4%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%
40歳～64歳 （n=166）	53.0%	31.9%	21.7%	8.4%	8.4%	3.6%	4.8%	4.2%	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	0.6%
65歳～74歳 （n=86）	67.4%	22.1%	5.8%	12.8%	12.8%	14.0%	5.8%	2.3%	4.7%	3.5%	0.0%	0.0%	1.2%
75歳以上 （n=133）	46.6%	21.8%	0.8%	19.5%	12.0%	14.3%	11.3%	9.0%	8.3%	6.0%	5.3%	0.8%	8.3%

(2) 福祉サービスの利用有無

問29 あなたは、現在または過去に福祉サービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

「ある」が15.0%、「ない」が80.7%となっています。

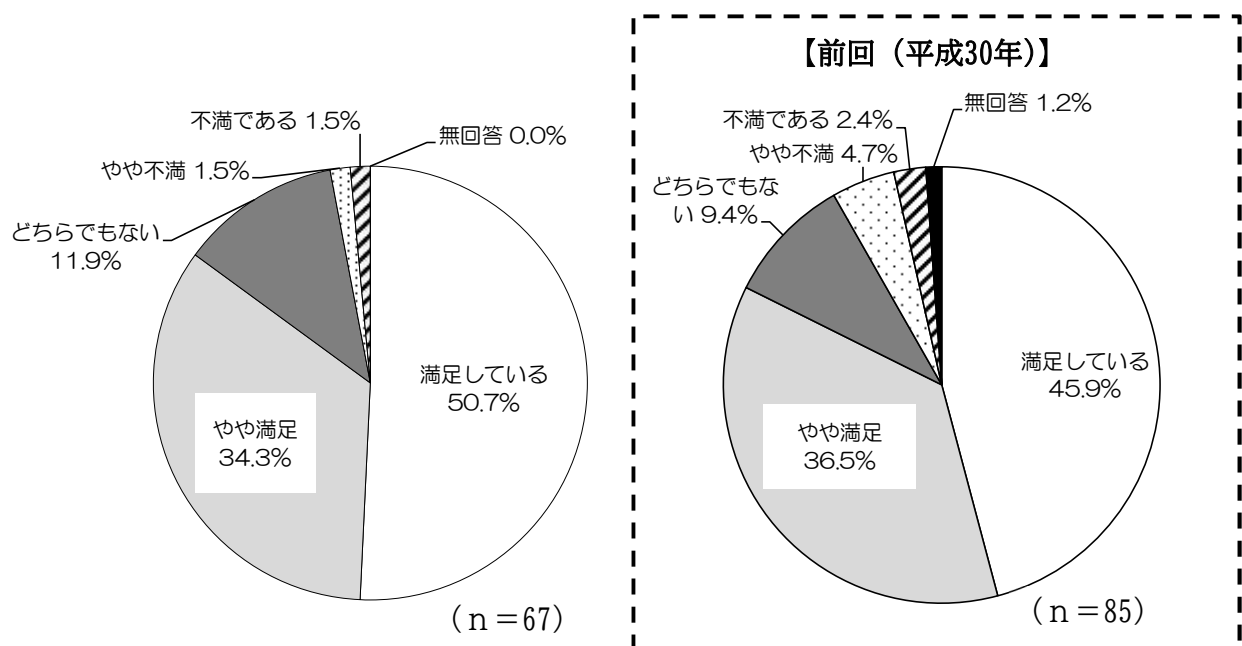


(3) 利用した福祉サービスの満足度

問29で「1. ある」と回答した方に伺います。

問29-1 あなたが利用した福祉サービスについてどのように感じましたか。(○は1つ)

「満足している」が50.7%で最も多く、「やや満足」(34.3%)を合わせると、《満足》は85.0%となっています。一方、「やや不満」は1.5%で、「不満である」(1.5%)を合わせると、《不満》は3.0%となっています。



(4) 不満である理由

問29-1で「4. やや不満」又は「5. 不満である」と回答した方に伺います。

問29-1-1 <不満である理由>

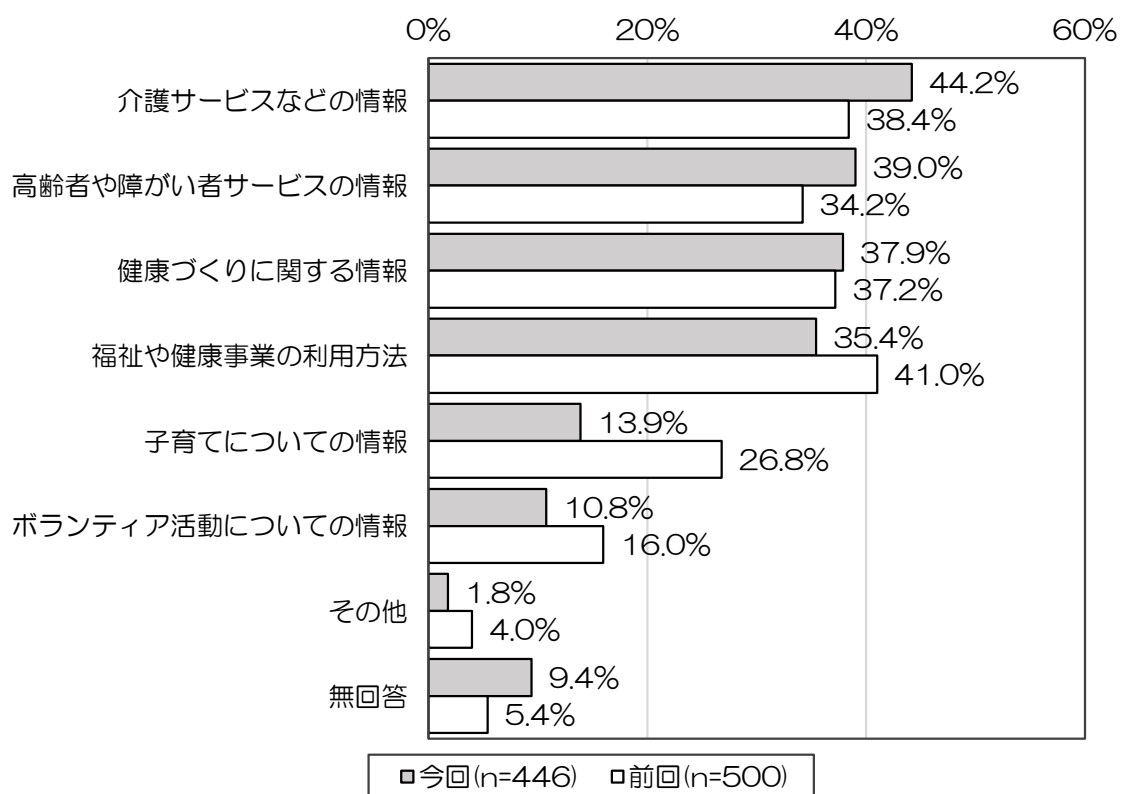
不満な理由の主な内容は以下の通りです。

- ・高齢者だけでなく中高年に向けたサービスも必順だと感じた。
- ・時間がたりないなど難題があった。
- ・受けられるサービスに制限があったり、希望するサービスが受けられないため。
- ・産前に問い合わせしたところ、「困りごとができてからといあわせて」と返答された。

(5) 保健・福祉について充実してほしい情報

問30 あなたは、保健・福祉について、どんな情報を充実してほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護サービスなどの情報」が44.2%で最も多く、次いで、「高齢者や障がい者サービスの情報」が39.0%、「健康づくりに関する情報」が37.9%となっています。



保健・福祉について充実してほしい情報（年代別）

	介護 情報サ ービス など	高齢 者や 障害 者の 情報 が報 い者	健康 づく りに 関す る情 報	福祉 や健 康事 業の 利用 方法	子育 てに つい ての 情報	ポ ンテ ィア 情報 活動	そ の 他	無 回 答
全体（n=446）	44.2%	39.0%	37.9%	35.4%	13.9%	10.8%	1.8%	9.4%
18歳～39歳 （n=58）	20.7%	22.4%	44.8%	37.9%	46.6%	8.6%	1.7%	3.4%
40歳～64歳 （n=166）	48.8%	39.2%	40.4%	39.8%	16.9%	16.3%	1.8%	7.2%
65歳～74歳 （n=86）	46.5%	40.7%	38.4%	43.0%	8.1%	11.6%	3.5%	8.1%
75歳以上 （n=133）	47.4%	45.1%	30.8%	24.1%	0.0%	4.5%	0.8%	15.8%

保健・福祉について充実してほしい情報（18歳未満のこどもの有無別）

	介護 情報サ ービス など	高齢 者や 障害 者の 情報 が報 い者	健康 づく りに 関す る情 報	福祉 や健 康事 業の 利用 方法	子育 てに つい ての 情報	ポ ンテ ィア 情報 活動	そ の 他	無 回 答
全体（n=446）	44.2%	39.0%	37.9%	35.4%	13.9%	10.8%	1.8%	9.4%
はい（n=62）	33.9%	25.8%	40.3%	35.5%	50.0%	11.3%	1.6%	4.8%
いいえ（n=381）	45.9%	41.2%	37.3%	35.4%	8.1%	10.8%	1.8%	10.2%

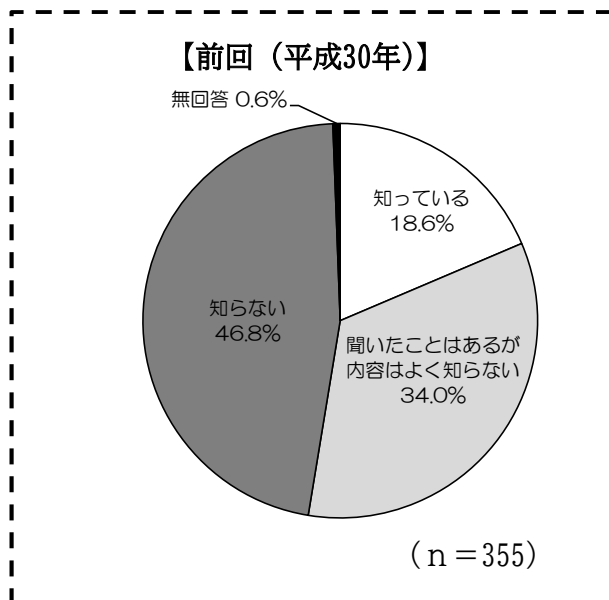
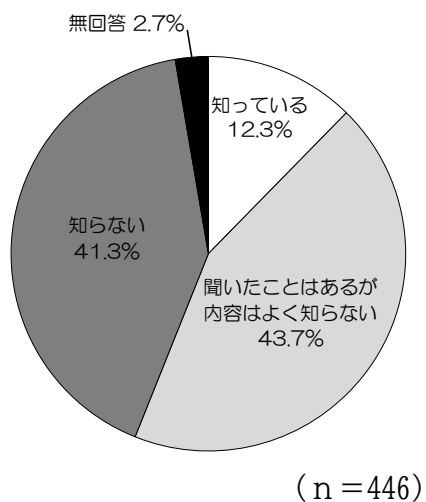
保健・福祉について充実してほしい情報（障害者手帳所持者の有無別）

	介護 情報サ ービス など	高齢 者や 障害 者の 情報 が報 い者	健康 づく りに 関す る情 報	福祉 や健 康事 業の 利用 方法	子育 てに つい ての 情報	ポ ンテ ィア 情報 活動	そ の 他	無 回 答
全体（n=446）	44.2%	39.0%	37.9%	35.4%	13.9%	10.8%	1.8%	9.4%
はい（n=61）	34.4%	57.4%	26.2%	31.1%	4.9%	6.6%	1.6%	9.8%
いいえ（n=379）	45.9%	36.1%	39.3%	36.1%	15.3%	11.3%	1.8%	9.2%

(6)「生活困窮者自立支援制度」の認知状況

問31 あなたは、「生活困窮者自立支援制度」を知っていますか。(○は1つ)

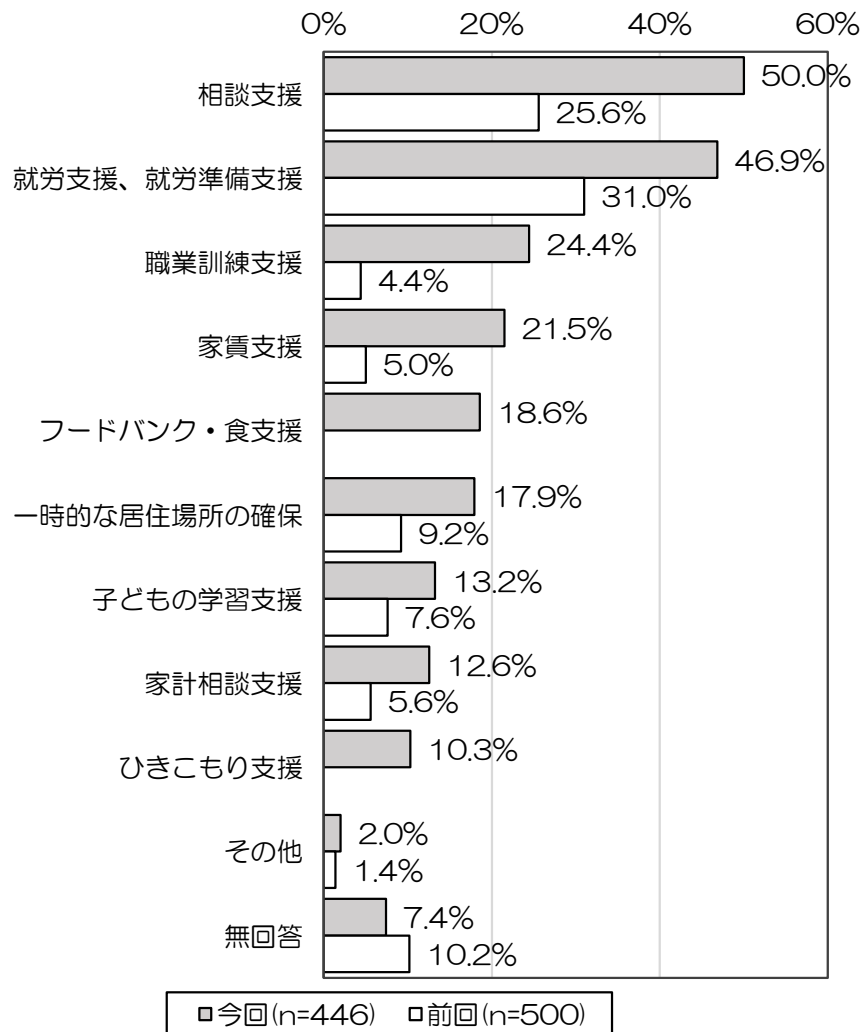
「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が43.7%と最も多く、次いで、「知らない」が41.3%、「知っている」が12.3%となっています。



(7) 生活困窮者自立支援制度事業の実施に必要なこと

問32 生活困窮者自立支援制度事業の実施にあたり、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「相談支援」が50.0%と最も多く、次いで、「就労支援、就労準備支援」が46.9%、「職業訓練支援」が24.4%となっています。



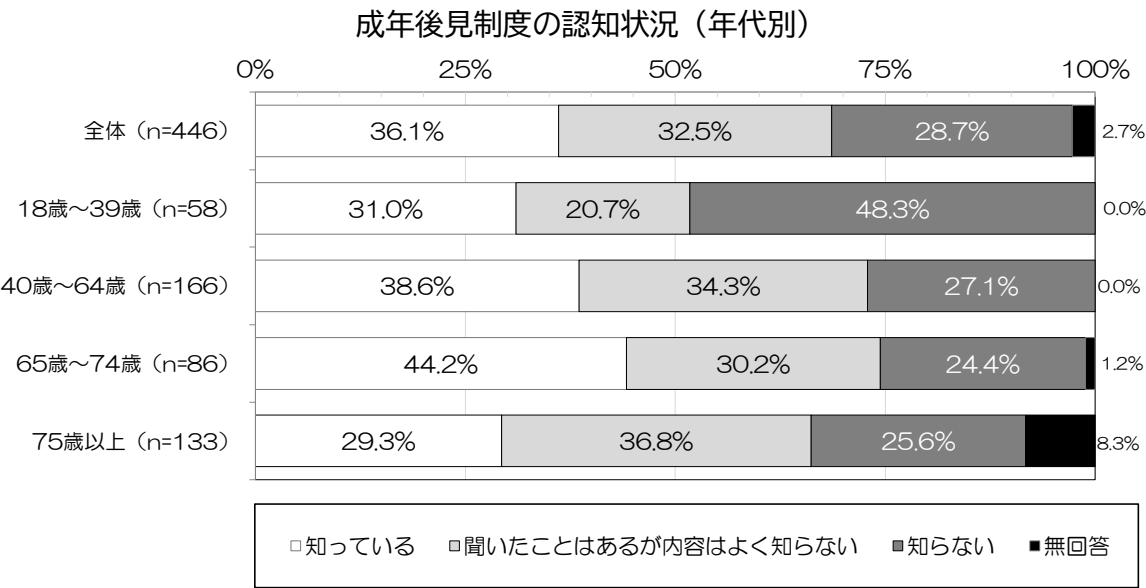
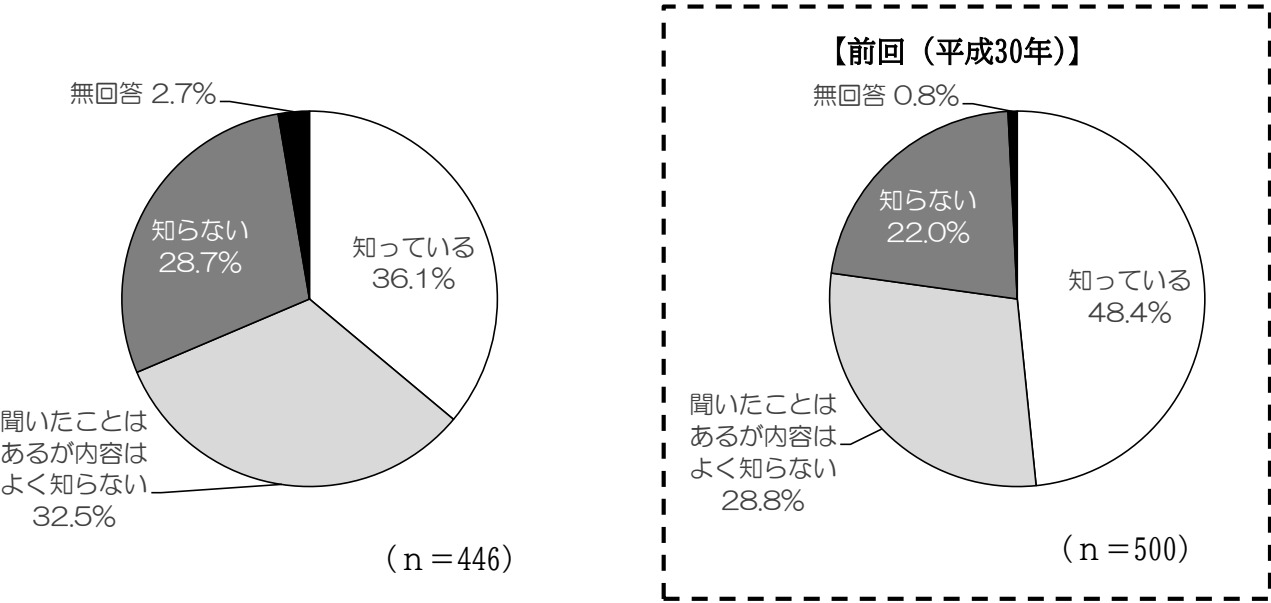
※選択肢“フードバンク・食支援”、“ひきこもり支援”は今回新規で設定

(8) 成年後見制度・任意後見制度・市民後見人の認知状況

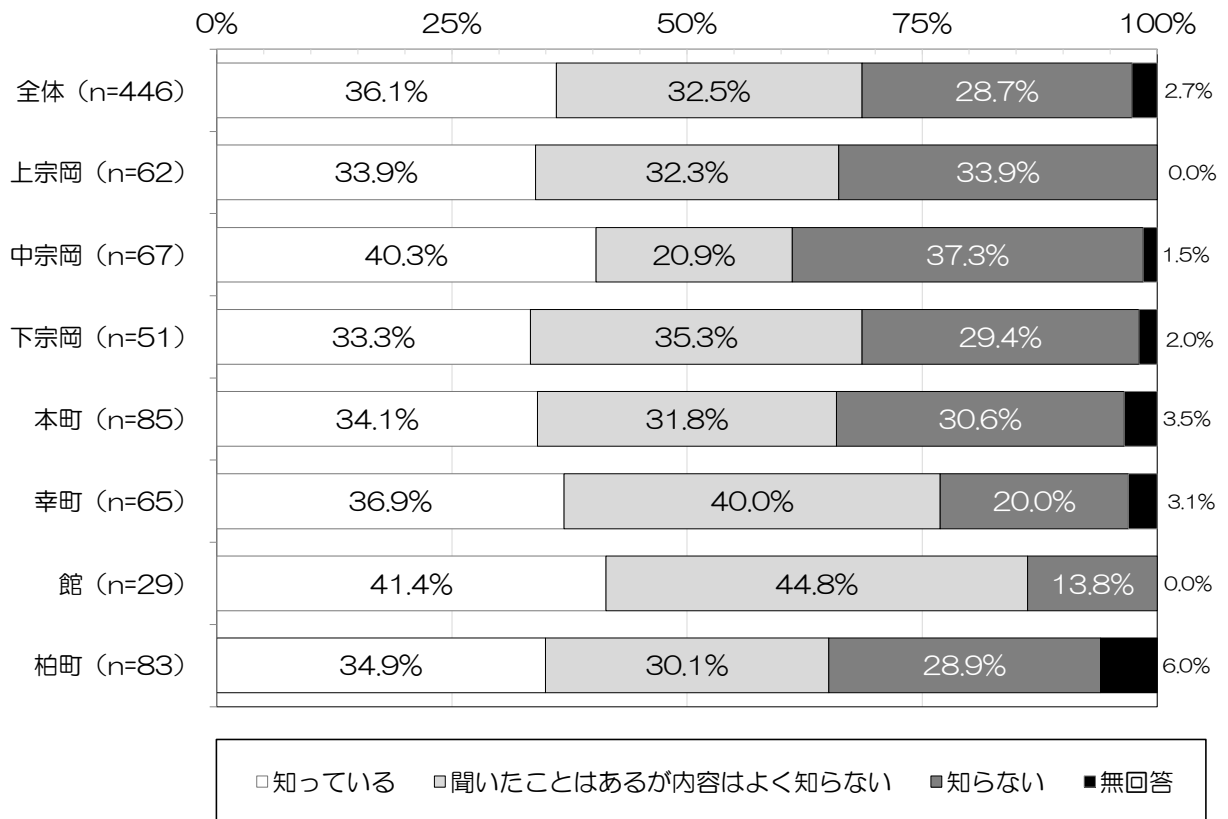
問33 あなたは、次のような制度を知っていますか。(それぞれ○は1つずつ)
問34 あなたは、「市民後見人」を知っていますか。(○は1つ)

【成年後見制度】

「知っている」が36.1%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が32.5%、「知らない」が28.7%となっています

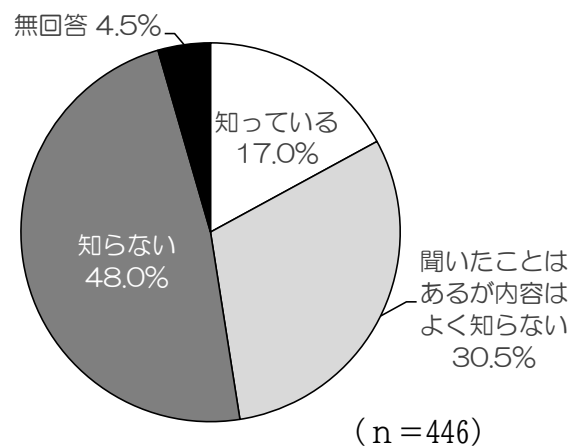


成年後見制度の認知状況（地区別）

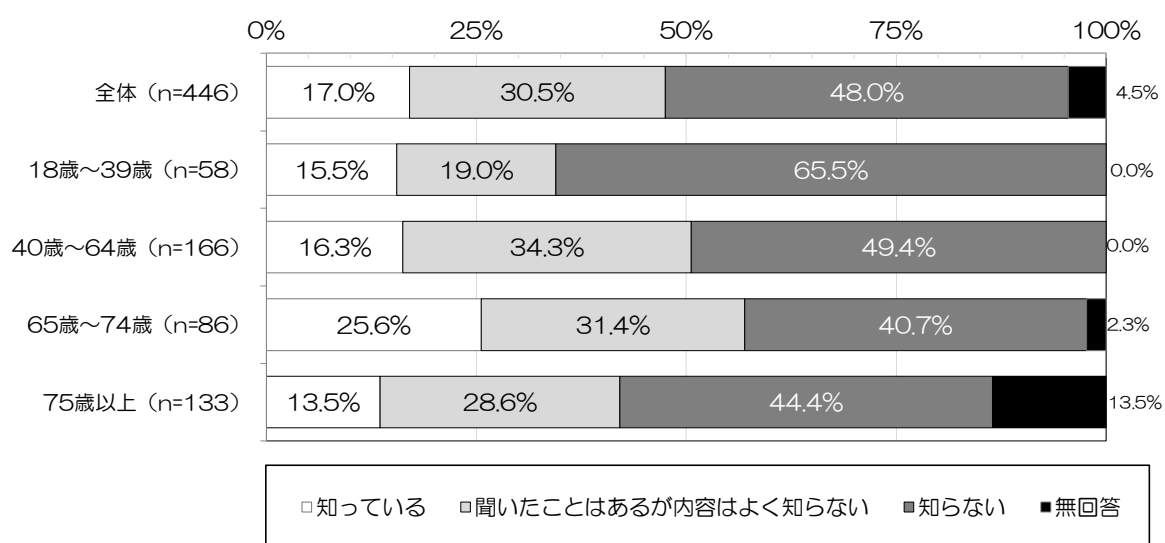


【任意後見制度】

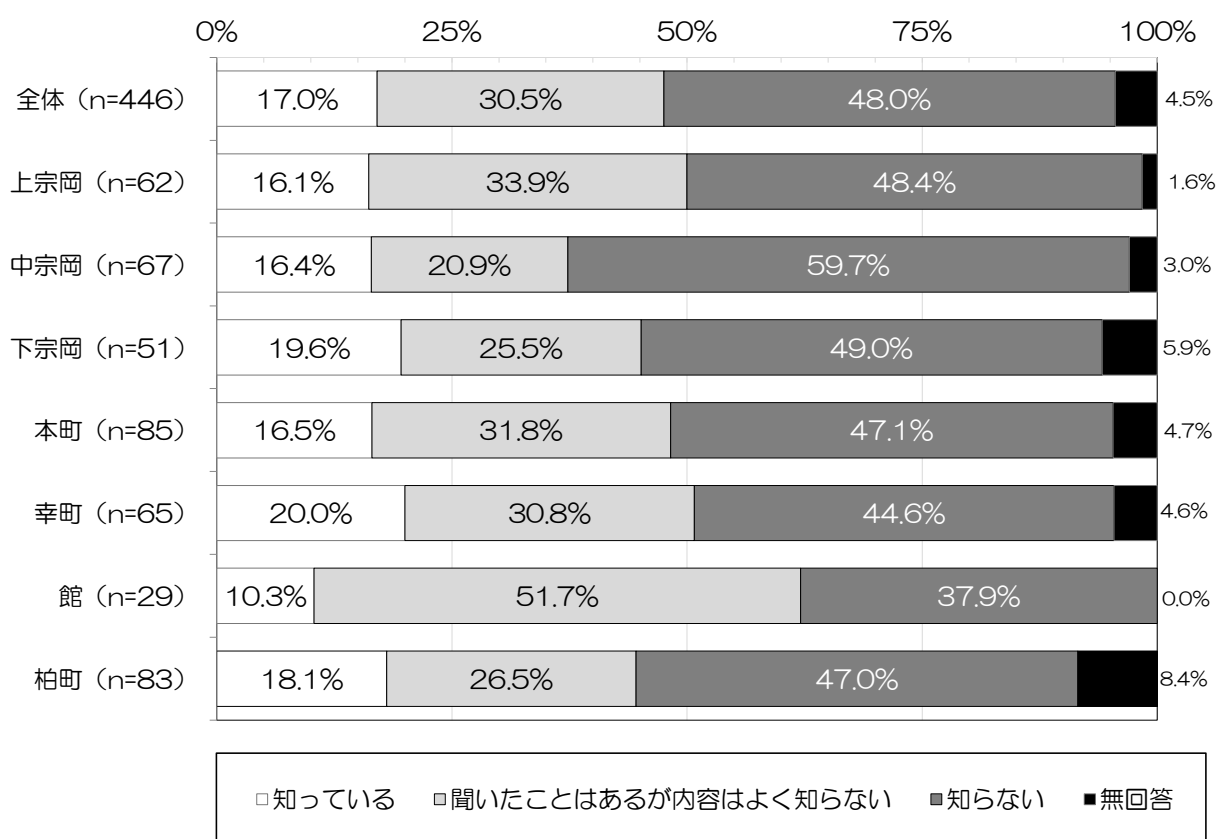
「知らない」が48.0%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が30.5%、「知っている」が17.0%となっています。



任意後見制度の認知状況（年代別）

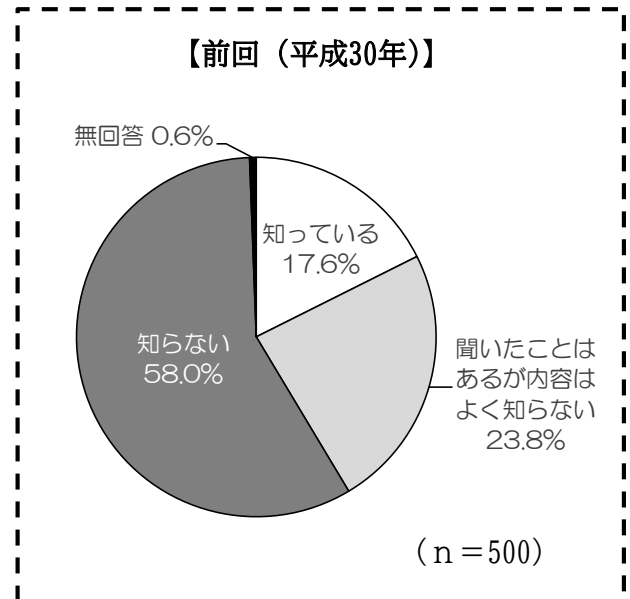
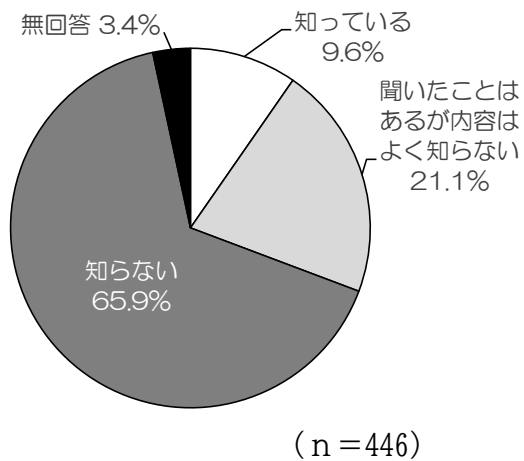


任意後見制度の認知状況（地区別）

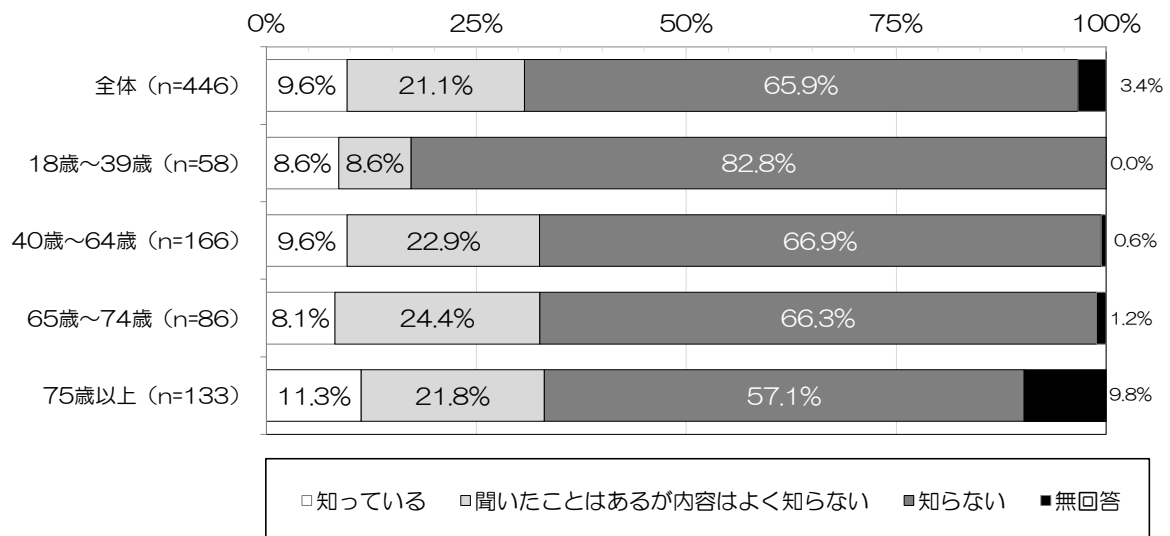


【市民後見人】

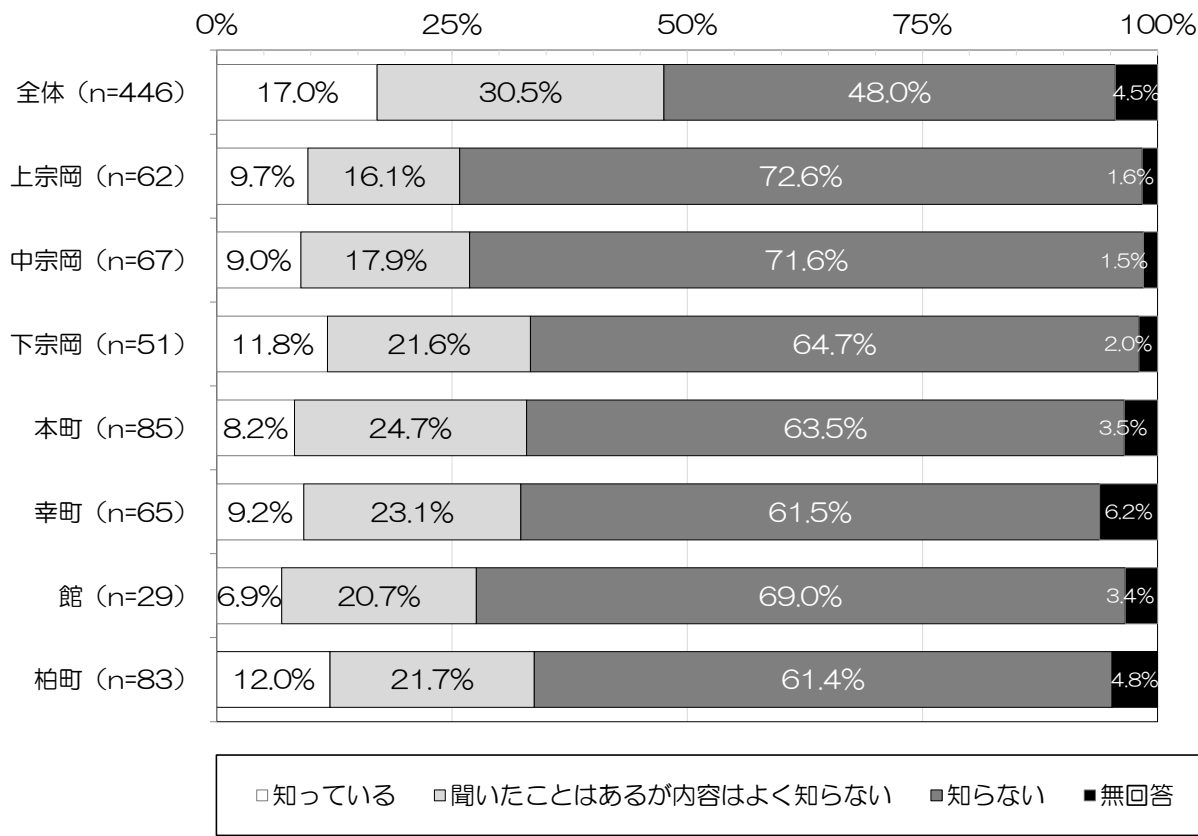
「知らない」が65.9%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が21.1%、「知っている」が9.6%となっています。



市民後見人の認知状況（年代別）



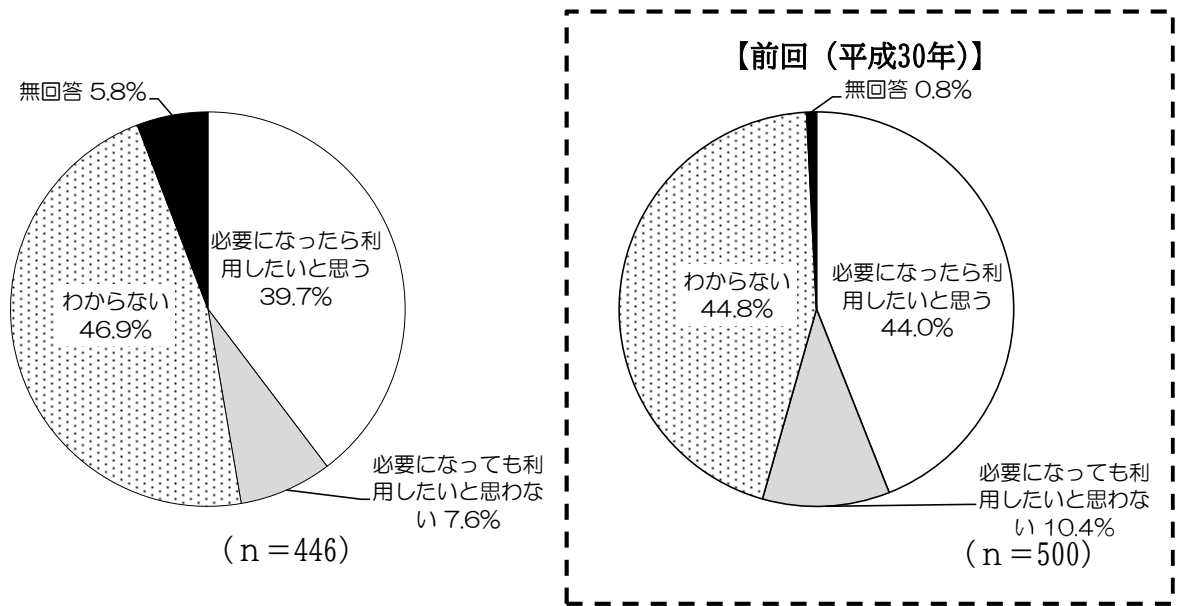
市民後見人の認知状況（地区別）



(9) 成年後見制度の利用意向

問35 あなたご自身やご家族に対し、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

「必要になったら利用したいと思う」が39.7%、「必要になっても利用したいと思わない」が7.6%、「わからない」が46.9%となっています。

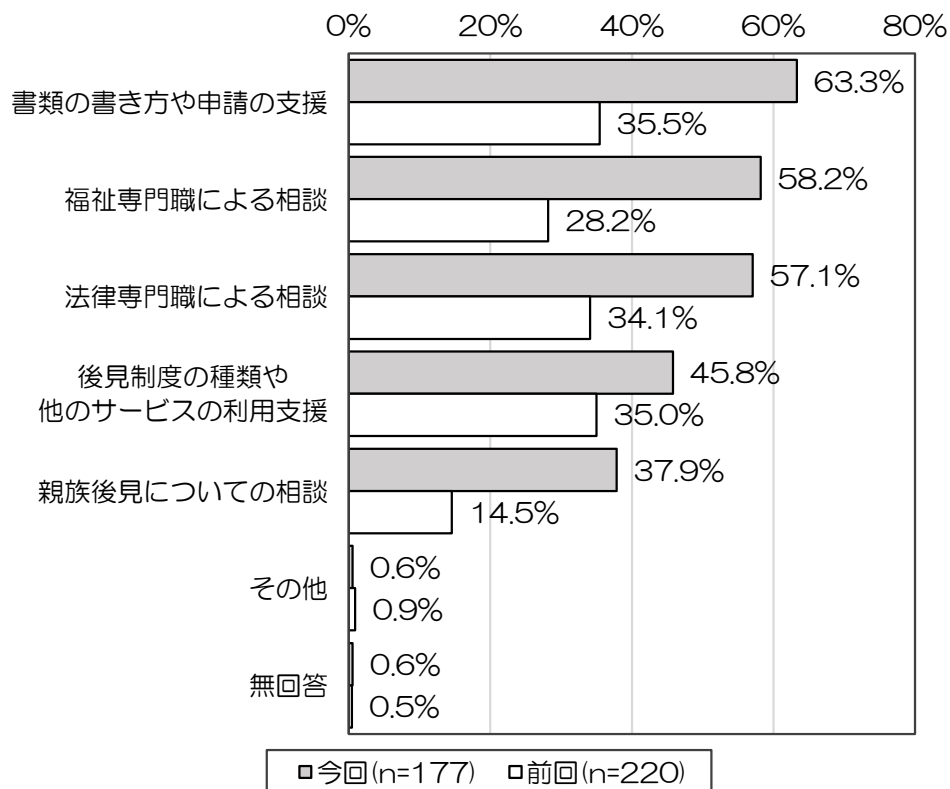


(10) 成年後見制度利用に必要な支援

問35 「1. 必要になったら利用したいと思う」と回答した方に伺います。

問35-1 利用にあたり、どんな支援があったら良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「書類の書き方や申請の支援」が63.3%と最も多く、次いで、「福祉専門職による相談」が58.2%、「法律専門職による相談」が57.1%となっています。



(1 1) 利用したいと思わない理由

問35 「2. 必要になっても利用したいと思わない」と回答した方に伺います。

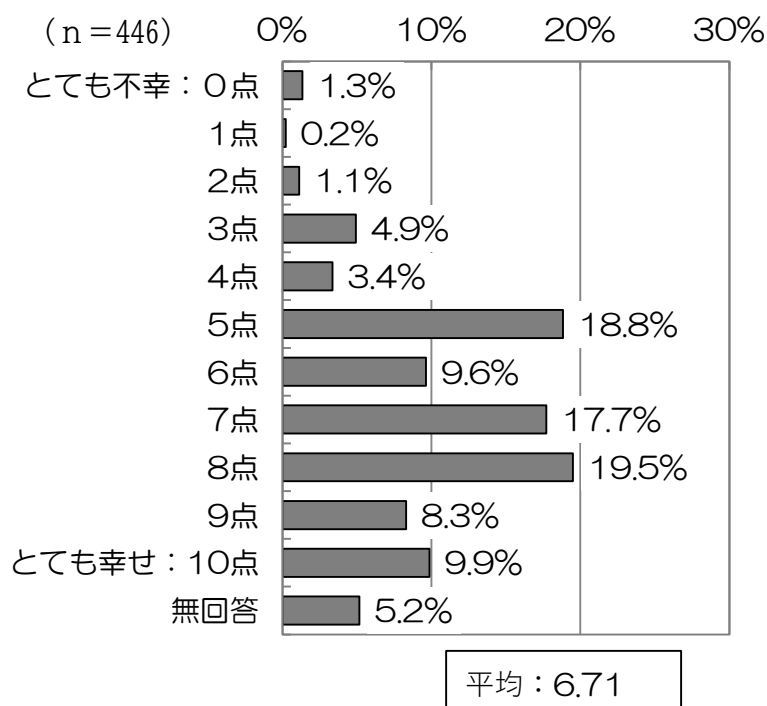
問35-2 利用したいと思わない理由は何ですか。

利用したいと思わない理由としては、「親族がいる」、「信用できない」、「制度に不満がある」、「必要ない」といった回答がありました。

(1 2) 現在の幸福度

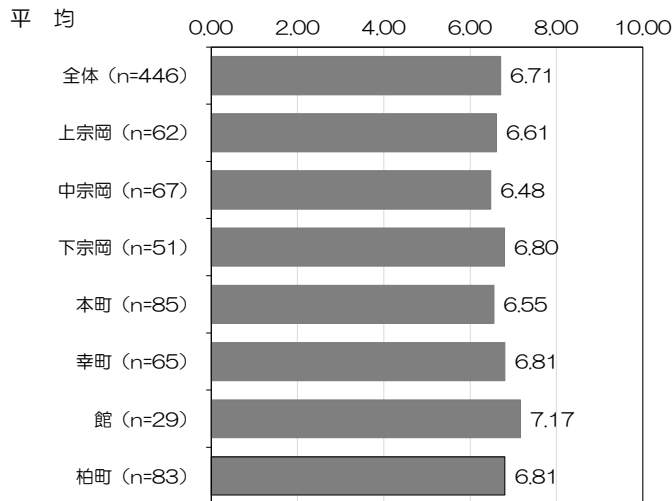
問36 現在の幸福度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在の幸福度（0～10点）は、「8点」が19.5%で最も多く、次いで「5点」が18.8%、「7点」が17.7%となっています。平均点数は6.71点でした。

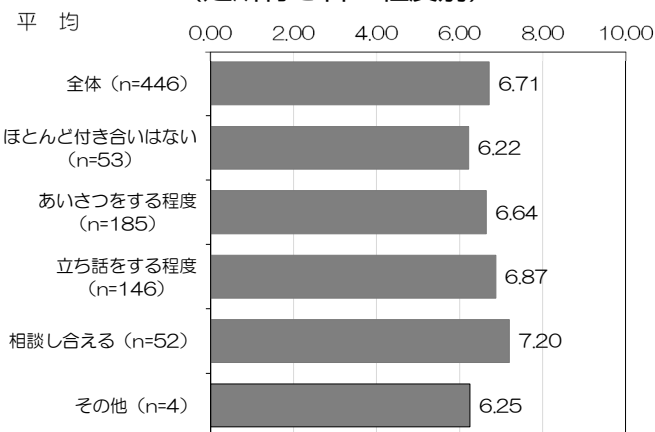


幸福度の平均点

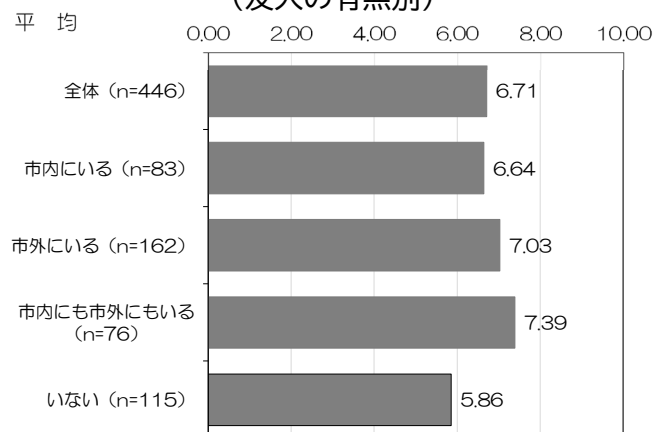
(地区別)



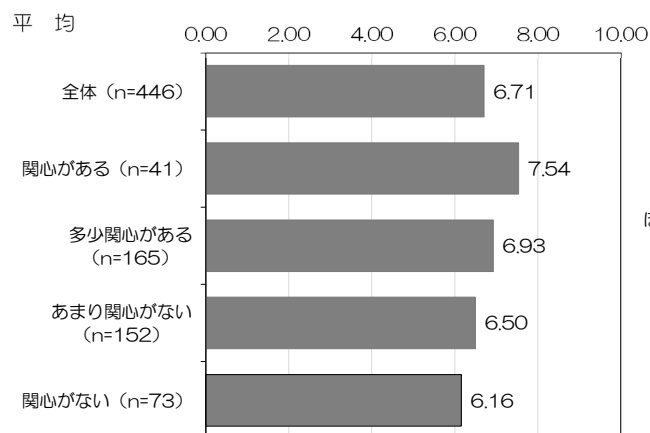
(近所付き合い程度別)



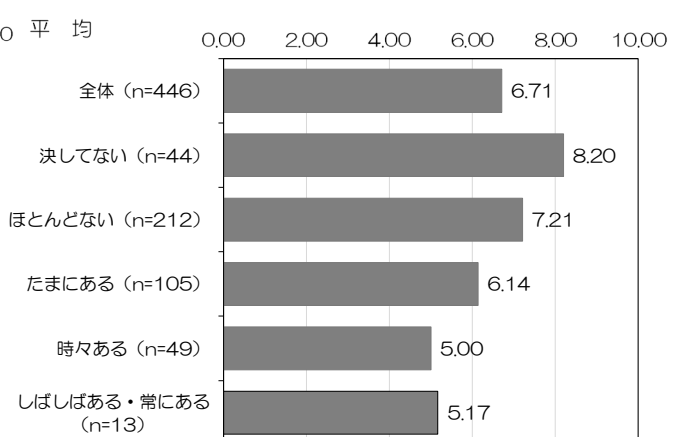
(友人の有無別)



(ボランティアへの関心度別)



(孤独感別)

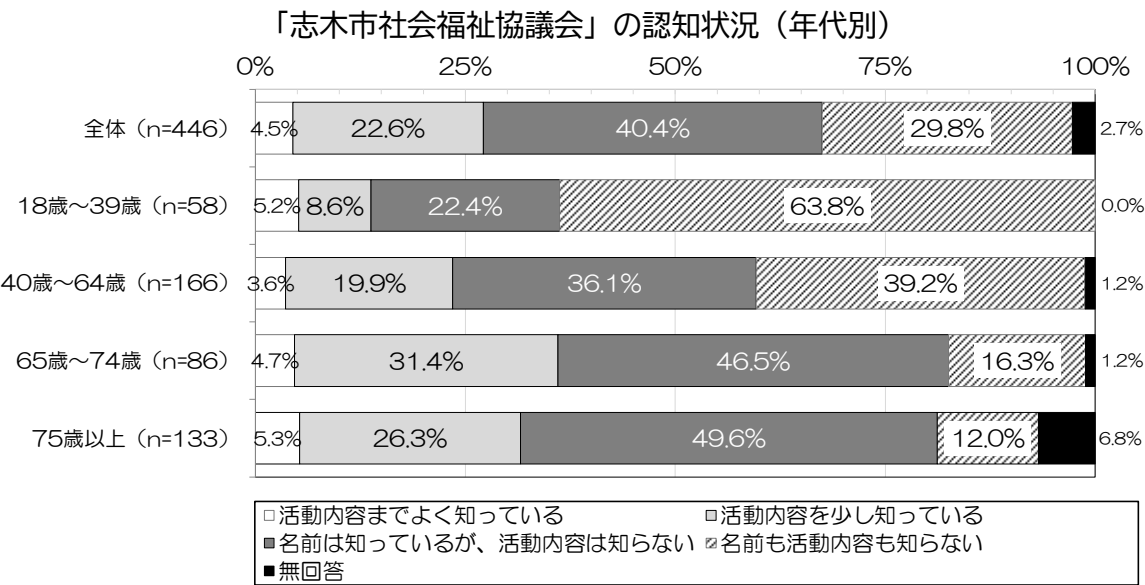
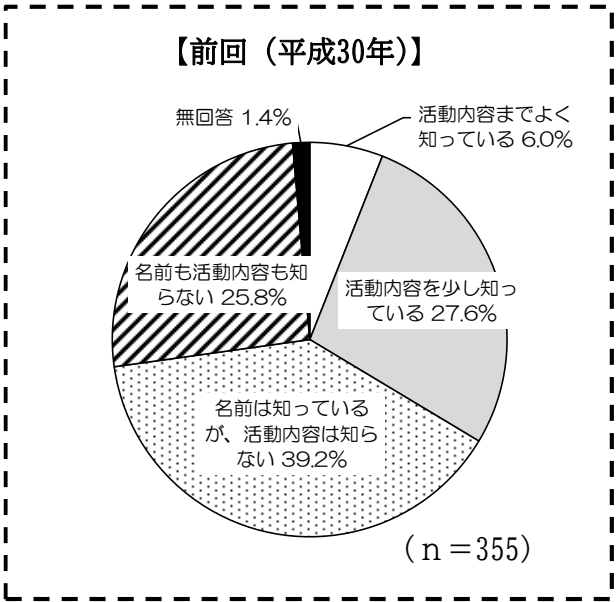
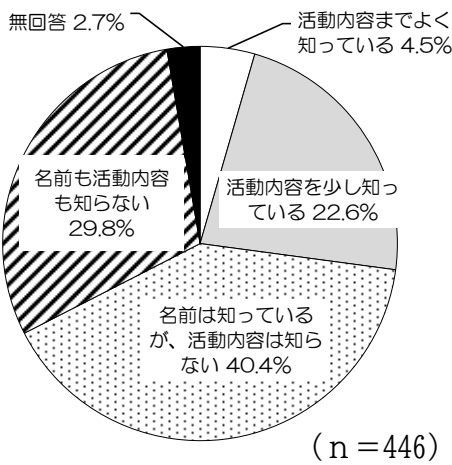


6. 社会福祉協議会について

(1)「志木市社会福祉協議会」の認知状況

問37 志木市には、地域福祉を推進するために、福祉理解を広める活動のほか、高齢者や障がい者、子育て、生活困窮世帯などへ在宅生活を支援するための事業などを行っている「志木市社会福祉協議会」があります。あなたは「志木市社会福祉協議会」の活動をご存知ですか。(〇は1つ)

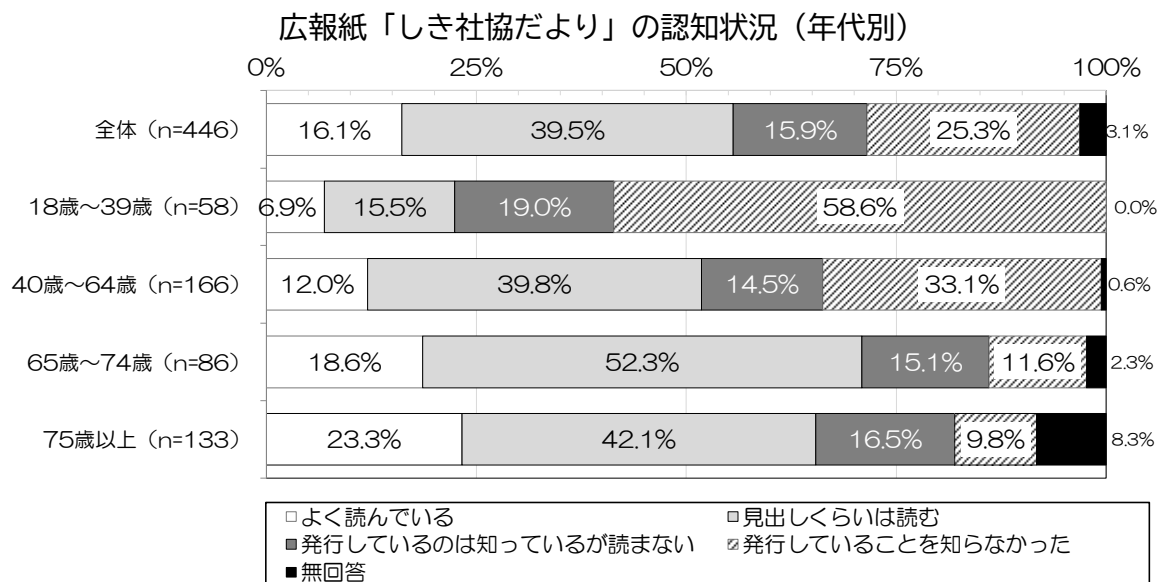
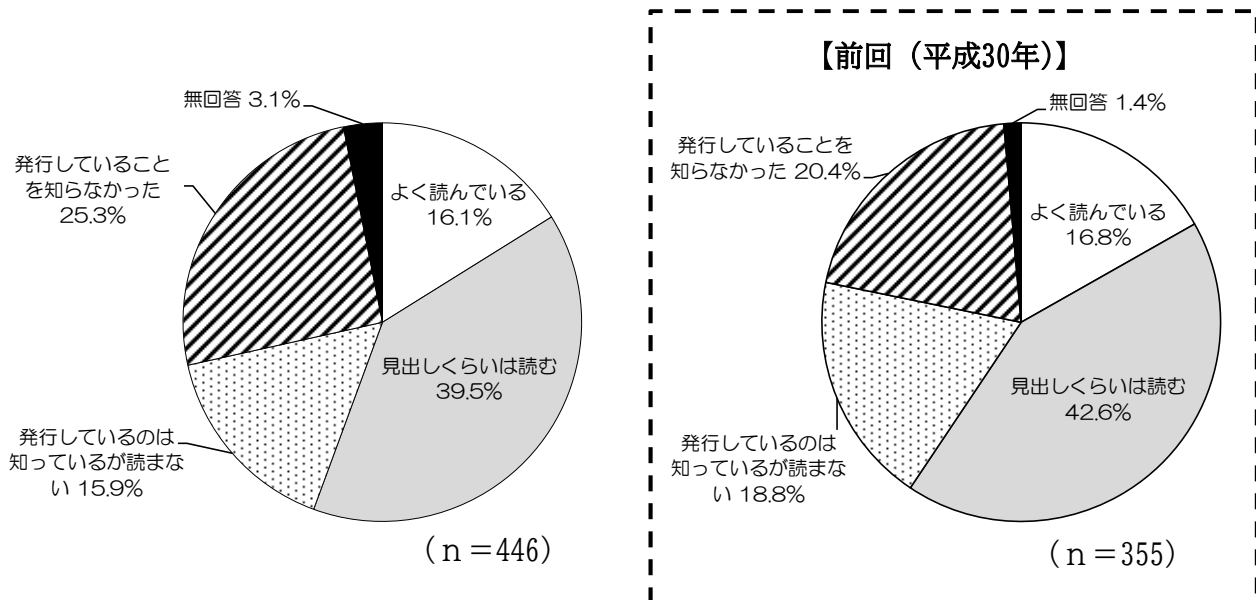
「名前は知っているが、活動内容は知らない」が40.4%と最も多く、次いで、「名前も活動内容も知らない」が29.8%、「活動内容を少し知っている」が22.6%となっています。



(2) 広報紙「しき社協だより」の認知状況

問38 社会福祉協議会の広報紙「しき社協だより」をご覧になっていますか。(〇は1つ)

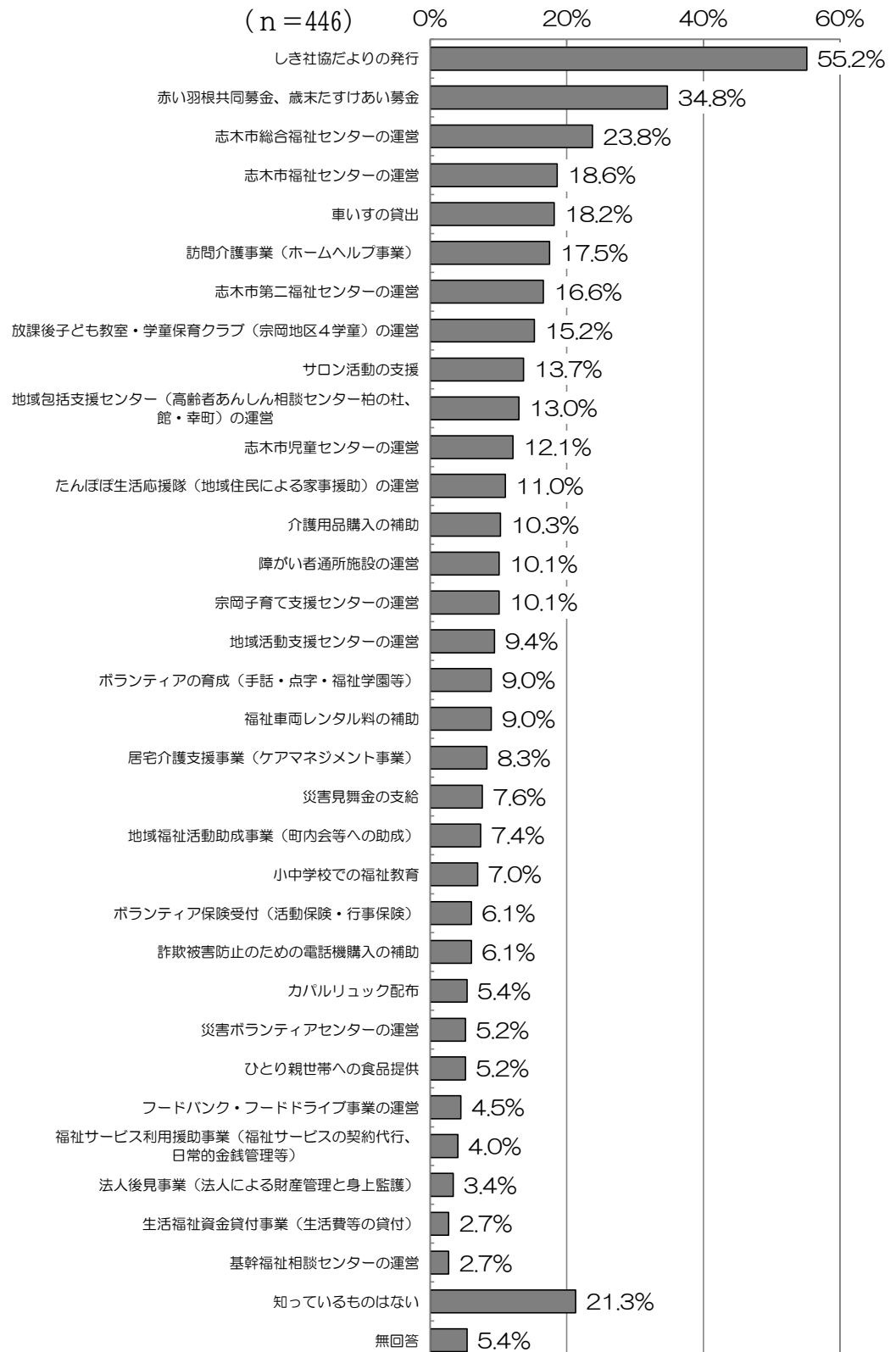
「見出しくらいは読む」が39.5%と最も多く、次いで、「発行していることを知らなかった」が25.3%、「よく読んでいる」が16.1%となっています。



(3) 志木市社会福祉協議会の事業の認知

問39 志木市社会福祉協議会の事業で、あなたが知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「しき社協だよりの発行」が55.2%で最も多く、次いで、「赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金」が34.8%、「志木市総合福祉センターの運営」が23.8%となっています。

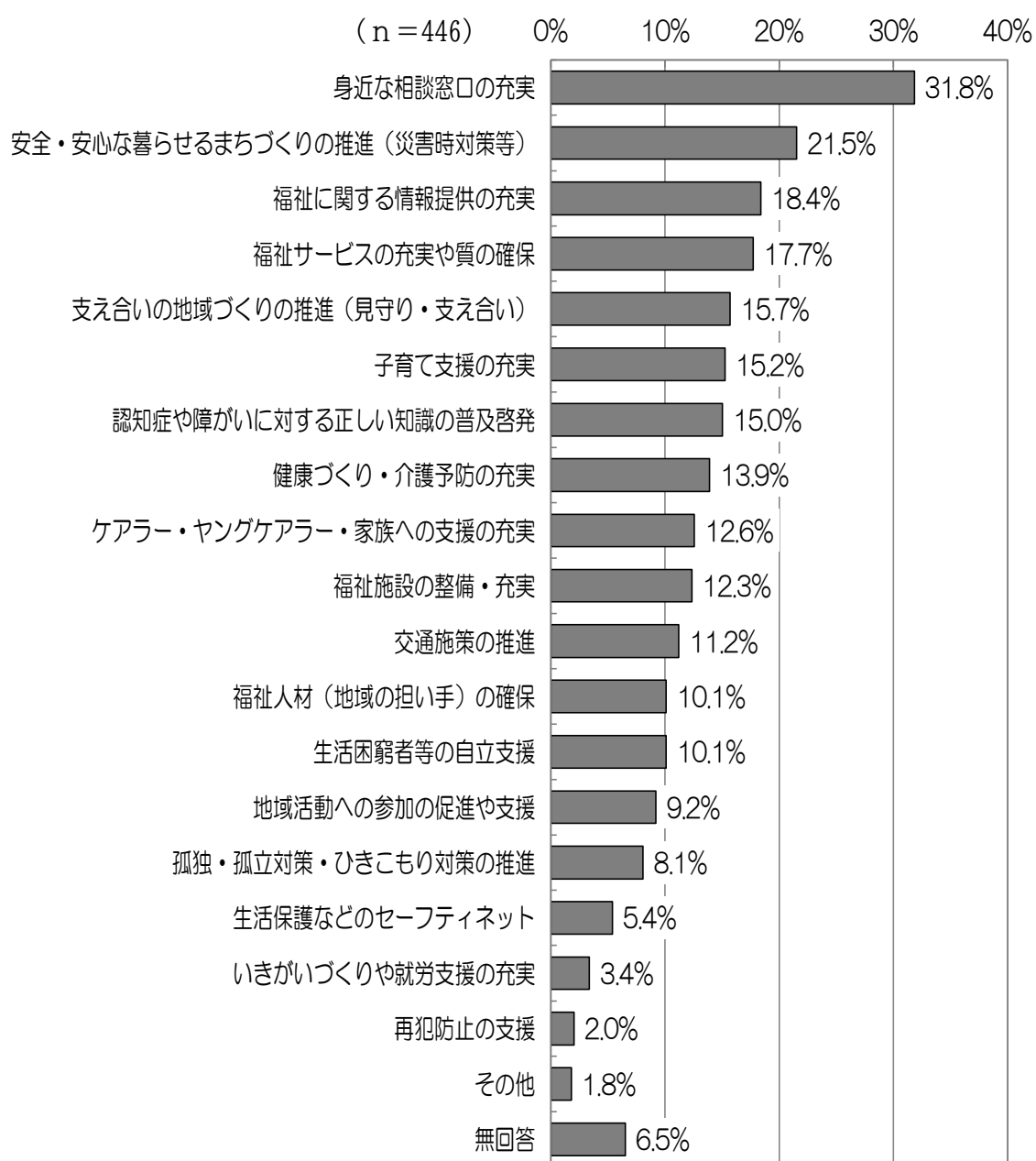


7. 今後の福祉施策について

(1) 今後市の保健・福祉分野について注力すべき施策

問40 あなたは、今後市の保健・福祉分野について、どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「身近な相談窓口の充実」が31.8%で最も多く、次いで、「安全・安心な暮らせるまちづくりの推進（災害時対策等）」が21.5%、「福祉に関する情報提供の充実」が18.4%となっています。



今後市の保健・福祉分野について注力すべき施策（年代別）

	身近な相談窓口の充実	安全・安心な暮らしの確保（災害時対策等）	福祉に関する情報提供の充実	福祉サービスの充実や質の確保	支え合いの地域づくり（推進・見守り・支え合い）	子育て支援の充実	発症しやすい認知症の早期発見・対応	健康づくり・介護予防の充実	ケア・家族への支援の充実	福祉施設の整備・充実
全体（n=446）	31.8%	21.5%	18.4%	17.7%	15.7%	15.2%	15.0%	13.9%	12.6%	12.3%
18歳～39歳（n=58）	20.7%	17.2%	13.8%	22.4%	12.1%	31.0%	13.8%	15.5%	17.2%	10.3%
40歳～64歳（n=166）	36.7%	21.7%	19.3%	21.1%	15.1%	18.1%	14.5%	7.8%	15.1%	15.1%
65歳～74歳（n=86）	30.2%	25.6%	17.4%	18.6%	23.3%	16.3%	14.0%	14.0%	10.5%	11.6%
75歳以上（n=133）	32.3%	21.1%	19.5%	10.5%	12.8%	4.5%	17.3%	19.5%	9.0%	10.5%

	交通施策の推進	福祉人材（地域の担い手）の確保	生活困窮者等の自立支援	地域活動への参加の促進	孤立・孤立化対策の推進・ひきこもり対策	生活保護などのセーフティネット	いきいきづくりや就労支援の充実	再犯防止の支援	その他	無回答
全体（n=446）	11.2%	10.1%	10.1%	9.2%	8.1%	5.4%	3.4%	2.0%	1.8%	6.5%
18歳～39歳（n=58）	8.6%	17.2%	17.2%	12.1%	6.9%	8.6%	5.2%	5.2%	0.0%	0.0%
40歳～64歳（n=166）	9.6%	13.3%	10.8%	9.0%	9.6%	6.6%	5.4%	0.6%	3.0%	1.8%
65歳～74歳（n=86）	12.8%	7.0%	12.8%	9.3%	9.3%	5.8%	2.3%	1.2%	1.2%	9.3%
75歳以上（n=133）	13.5%	5.3%	4.5%	7.5%	6.0%	2.3%	0.8%	3.0%	1.5%	13.5%

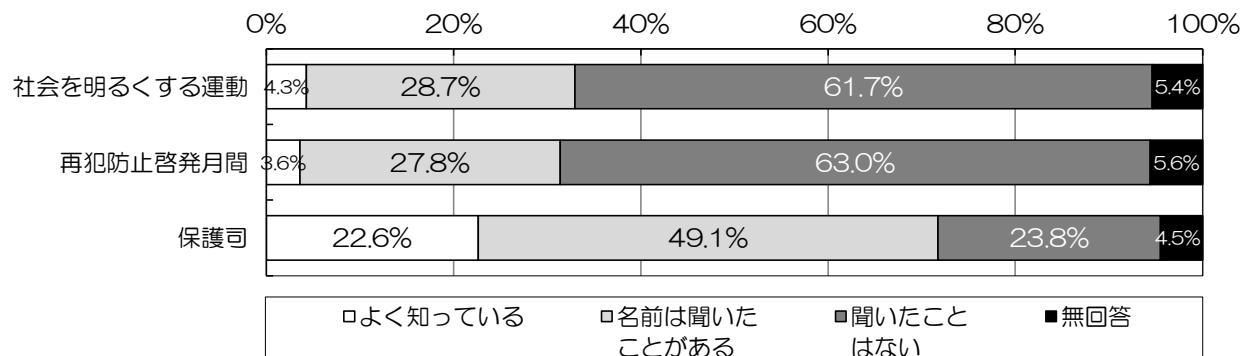
(2) 再犯防止啓発事業の認知

問41 あなたは以下の再犯防止啓発事業について、どれくらいご存知ですか。(それぞれに○は1つ)

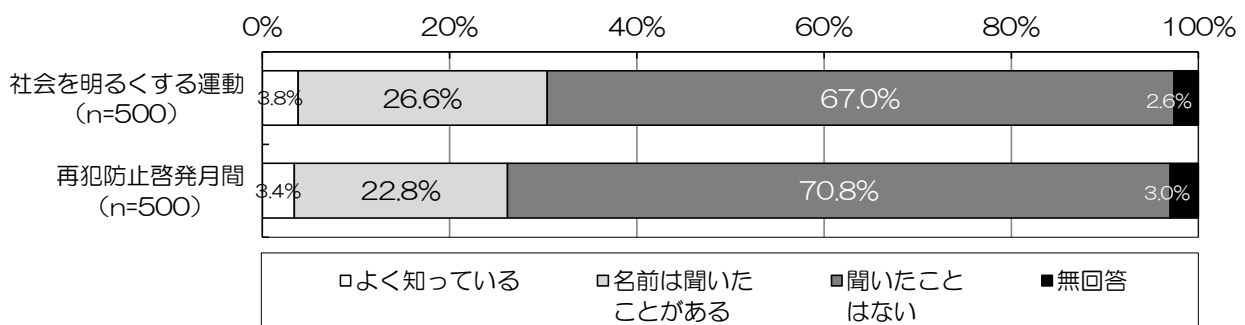
再犯防止啓発事業の認知度について、『社会を明るくする運動』では、「よく知っている」が4.3%、「名前は聞いたことがある」が28.7%、「聞いたことはない」が61.7%となっています。

『再犯防止啓発月間』では、「よく知っている」が3.6%、「名前は聞いたことがある」が27.8%、「聞いたことはない」が63.0%となっています。

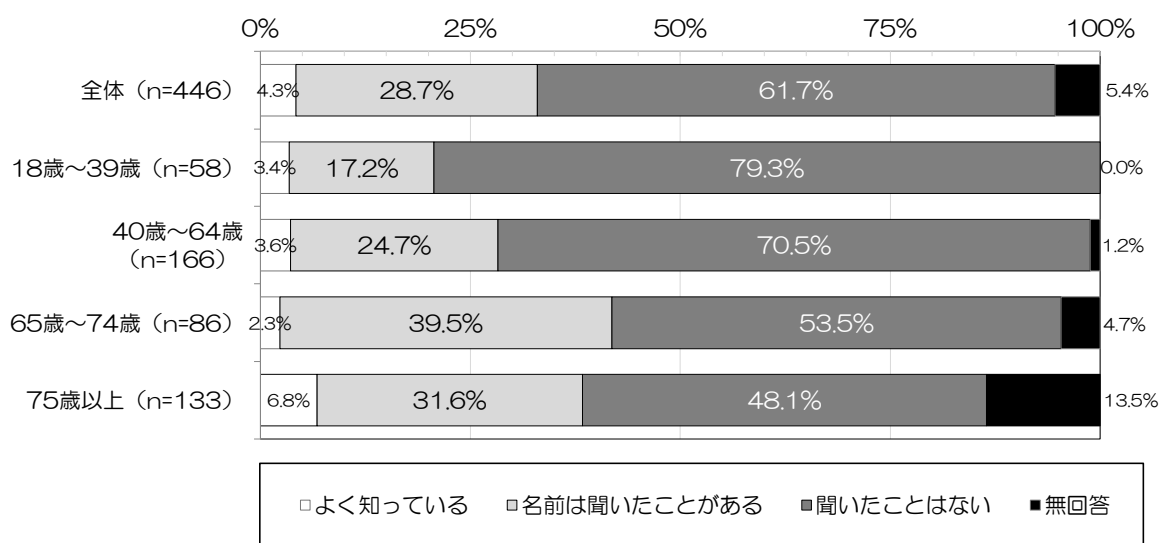
『保護司』では、「よく知っている」が22.6%、「名前は聞いたことがある」が49.1%、「聞いたことはない」が23.8%となっています。



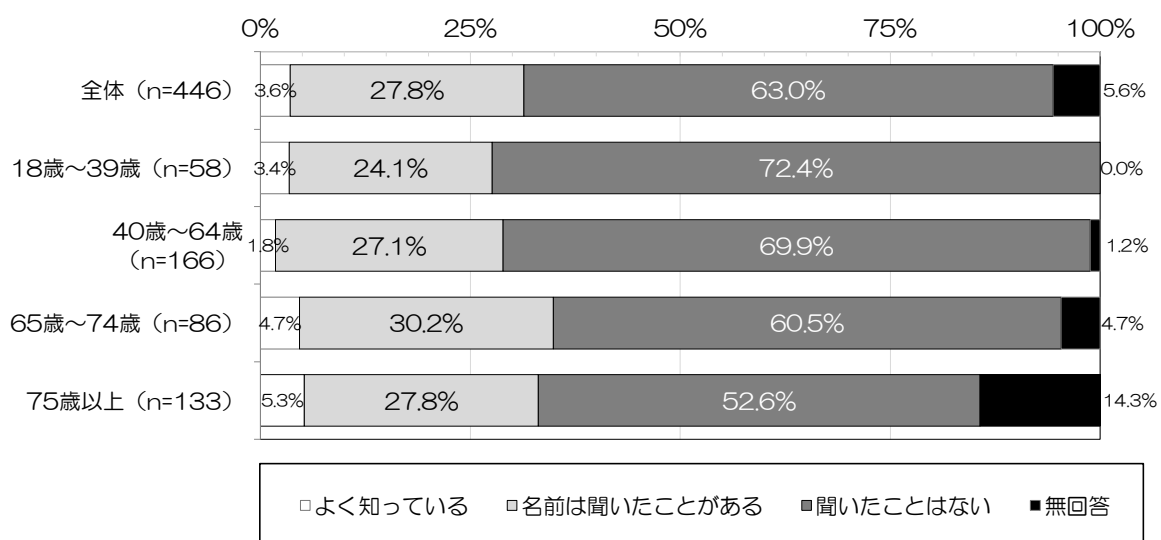
【前回調査（平成30年）】



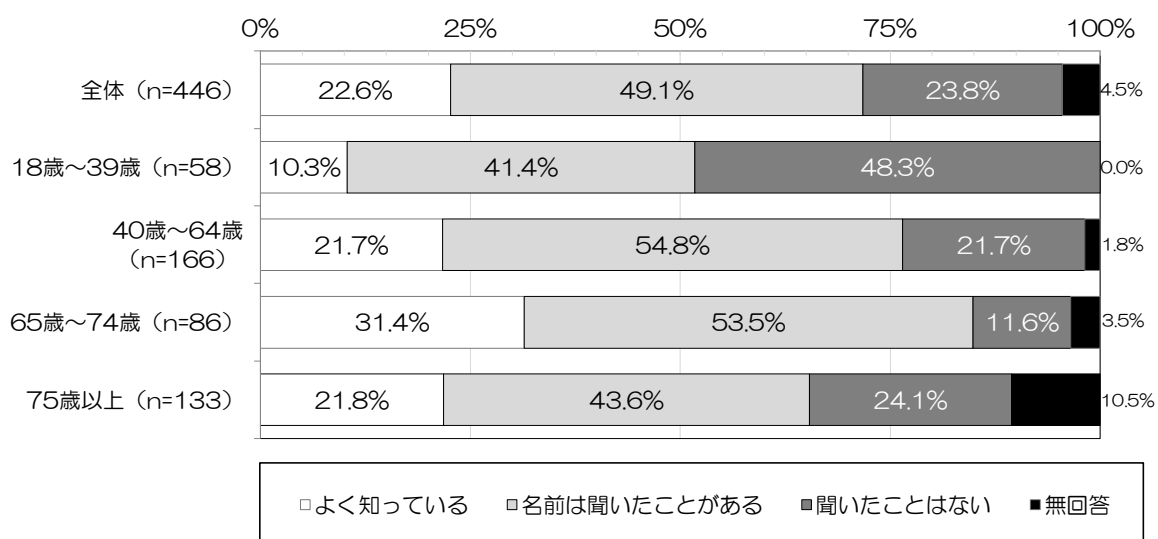
「社会を明るくする運動」の認知（年代別）



「再犯防止啓発月間」の認知（年代別）



「保護司」の認知（年代別）



8. 自由回答

問42 その他、「わかりあい 支えあい 誰もが輝く社会」を実現するためのご提案・ご意見がありましたらご記入ください。

回答者 446 人のうち、69 人から記載がありました。さまざまな記載について、同様の意見をグループ（集団としてまとめる）して、記載テーマとして整理しました。

	記載テーマ	人数
1	支えあえる環境づくり	6 人
2	生活支援の充実	5 人
3	誰もが必要なサービスを受けられる仕組みづくり	6 人
4	防犯・事故対策	3 人
5	快適な生活環境の推進	1 人
6	市政への意見	15 人
7	アンケートへの意見	4 人
8	交流機会の充実	4 人
9	子どもや教育	6 人
10	情報発信・情報提供	5 人
11	公的移動手段の整備	7 人
12	道路環境の整備	7 人
13	その他	16 人

※ 1 人で複数の記載もある場合、それぞれにカウントしている。

第3章 専門職及び関係者調査の結果詳細

1. 属性

(1) 機関種別

Q1 機関種別（あなたが主に活動している機関等）（○は1つ）

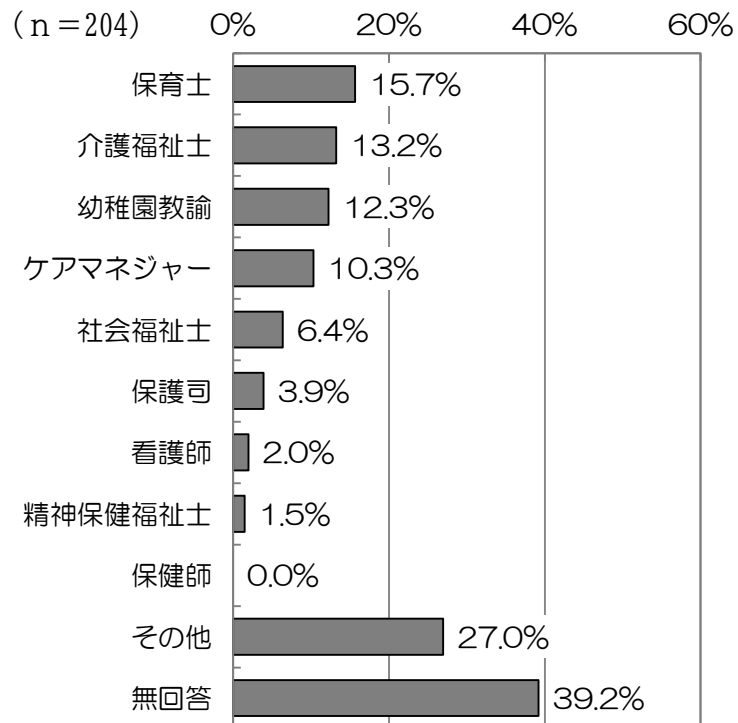
主に活動している機関等の回答は以下の通りです。

分野	あなたが主に活動している機関等	回答数	構成比	分野計
高齢者	特別養護老人ホーム	3	1.5%	26
	介護老人保健施設	1	0.5%	
	デイサービス	2	1.0%	
	高齢者グループホーム	1	0.5%	
	訪問介護事業所	4	2.0%	
	高齢者あんしん相談センター	5	2.5%	
	居宅介護支援事業所	9	4.4%	
	訪問看護事業所	1	0.5%	
障がい者	就労支援B型事業所	1	0.5%	12
	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所	6	2.9%	
	障がい者グループホーム	5	2.5%	
保育・教育	保育園	10	4.9%	15
	幼稚園	4	2.0%	
	子育て支援センター・児童センター	1	0.5%	
その他	保護司	5	2.5%	140
	民生委員・児童委員	64	31.4%	
	母子保健推進員	62	30.4%	
	家庭児童相談室	1	0.5%	
	その他	8	3.9%	
	無回答	11	5.4%	
	合計	204	100.0%	

(2) 保有資格等

Q2 あなたが持っている資格等（複数回答可）

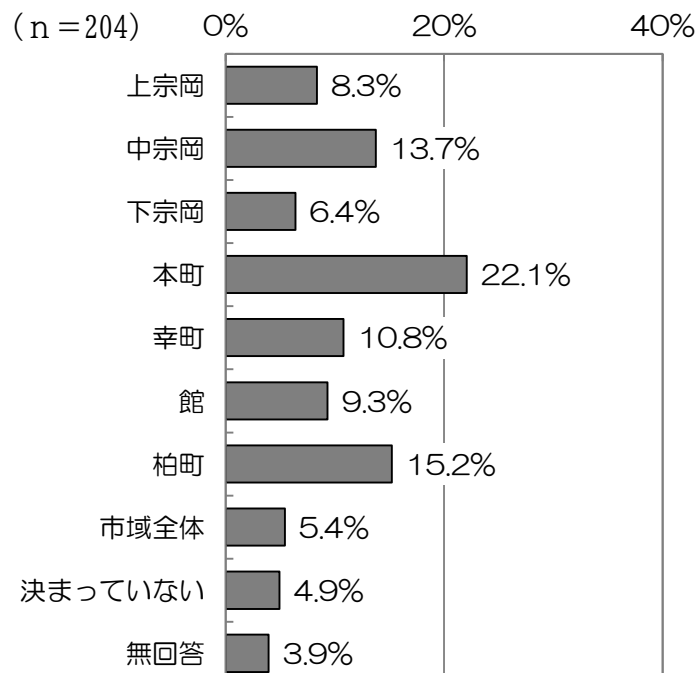
「保育士」が15.7%と最も多く、次いで「介護福祉士」が13.2%、「幼稚園教諭」が12.3%となっています。



(3) 主な担当地域（エリア）

Q3 あなたの主に担当している地域（エリア）（○は1つ）

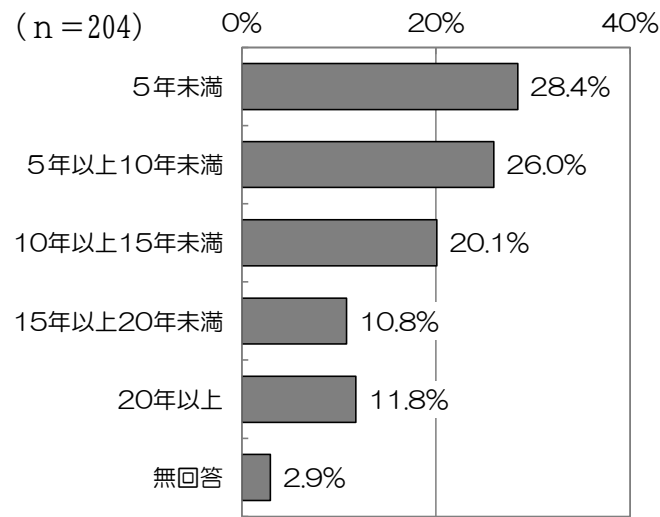
「本町」が22.1%と最も多く、次いで「柏町」が15.2%、「中宗岡」が13.7%となっています。



(4) 勤務・活動年数

Q4 勤務・活動年数（○は1つ）

「5年未満」が28.4%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」が26.0%、「10年以上15年未満」が20.1%となっています。



勤務・活動年数（分野別）

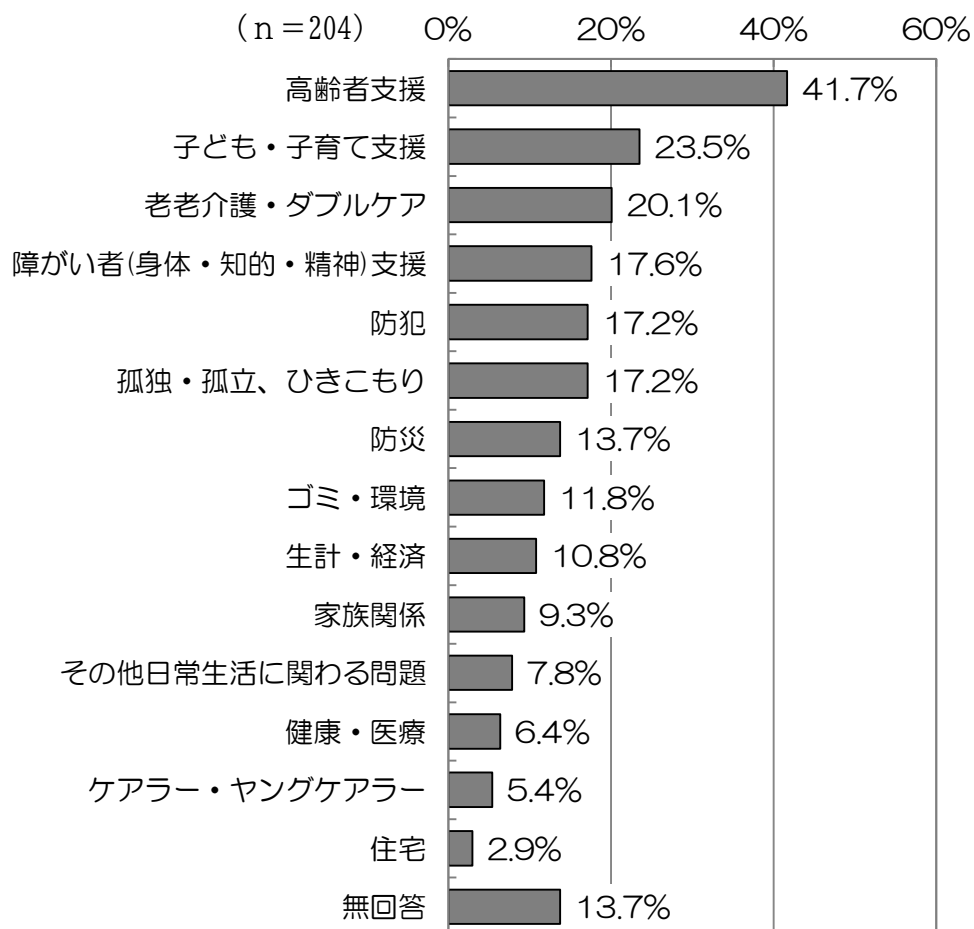
	5年未満	5年以上10年未満	満10年以上15年未満	満15年以上20年未満	20年以上	無回答
全体（n=204）	28.4%	26.0%	20.1%	10.8%	11.8%	2.9%
高齢者分野（n=26）	19.2%	15.4%	30.8%	30.8%	3.8%	0.0%
障がい者分野（n=12）	58.3%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
保育・教育分野（n=15）	0.0%	33.3%	26.7%	6.7%	33.3%	0.0%
その他（n=140）	32.9%	26.4%	20.0%	7.9%	10.7%	2.1%

2. 地域の課題について

(1) 最近、地域で気になる問題や増えていると感じる問題

Q5 最近、地域で気になる問題や増えていると感じる問題がありますか。番号に○印をつけ、また、具体例を下の枠にお書きください。(複数回答可)

「高齢者支援」が41.7%と最も多く、次いで「子ども・子育て支援」が23.5%、「老老介護・ダブルケア」が20.1%となっています。



最近、地域で気になる問題や増えていると感じる問題（分野別）

	高齢者支援	子ども・子育て支援	高齢者介護・ダブルケア	障がい者（精神・身体）支援	防犯	孤独・孤立、ひきこもり	防災	ゴミ・環境
全体（n=204）	41.7%	23.5%	20.1%	17.6%	17.2%	17.2%	13.7%	11.8%
高齢者分野（n=26）	50.0%	7.7%	69.2%	34.6%	15.4%	23.1%	15.4%	15.4%
障がい者分野（n=12）	8.3%	33.3%	0.0%	66.7%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%
保育・教育分野（n=15）	33.3%	66.7%	13.3%	33.3%	26.7%	20.0%	6.7%	6.7%
その他（n=140）	45.0%	20.7%	15.0%	10.0%	16.4%	15.7%	12.9%	12.9%

	生計・経済	家族関係	その他日常生活に関する問題	健康・医療	アケアラ・ヤングケア	住宅	無回答
全体（n=204）	10.8%	9.3%	7.8%	6.4%	5.4%	2.9%	13.7%
高齢者分野（n=26）	38.5%	26.9%	19.2%	11.5%	7.7%	3.8%	3.8%
障がい者分野（n=12）	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保育・教育分野（n=15）	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%
その他（n=140）	7.1%	5.0%	7.1%	6.4%	5.0%	2.9%	16.4%

(2) 最近、地域で気になる問題や増えていると感じる問題の具体例

Q6 具体例：孤立した高齢者がいる、条件に合う就労の場がない、子どもの遊ぶ場がない、近所にゴミ屋敷がある、など

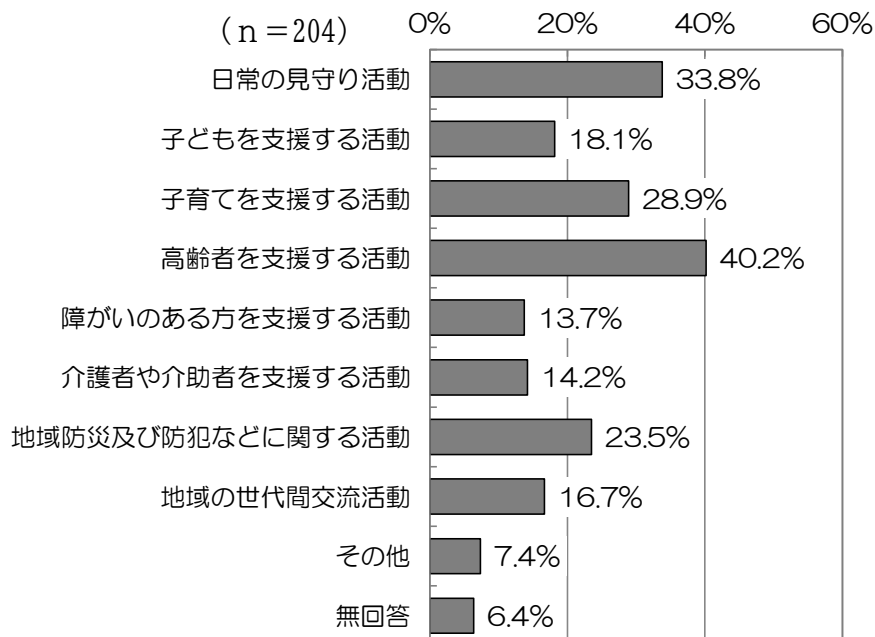
具体例としては、以下のようなテーマの記載がありました。

テーマ	件数
高齢者・介護	39人
ゴミ問題・庭の手入れ	13人
障害者（児）支援	11人
遊び場・居場所	8人
防犯・詐欺	7人
災害	7人
移動手段	6人
認知症ケア	4人
空家	3人
子ども・子育て	3人
複合的課題	3人
人材不足	3人
外国人支援	2人
近所づきあい	2人

(3) 住民から求められている地域福祉活動

Q7 担当している地域で、住民から求められている地域福祉活動は何ですか。（複数回答可）

「高齢者を支援する活動」が40.2%と最も多く、次いで「日常の見守り活動」が33.8%、「子育てを支援する活動」が28.9%となっています。



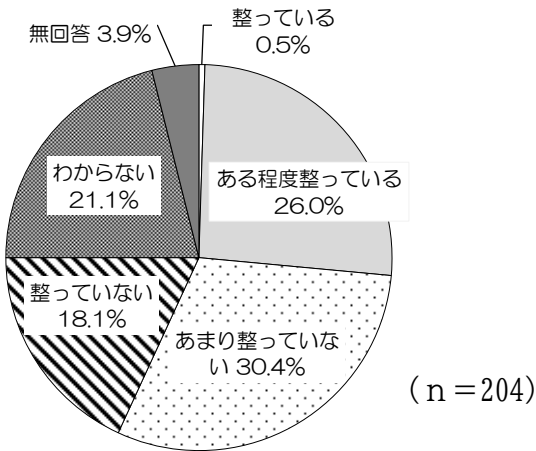
住民から求められている地域福祉活動（分野別）

	高齢者を支援する活動	日常の見守り活動	子育てを支援する活動	地域防災及び防犯活動	子どもを支援する活動	地域の世代間交流活動	介護する者や介護者を支援する活動	障がいのある方を支援する活動	その他	無回答
全体（n=204）	40.2%	33.8%	28.9%	23.5%	18.1%	16.7%	14.2%	13.7%	7.4%	6.4%
高齢者分野（n=26）	76.9%	23.1%	15.4%	30.8%	11.5%	23.1%	57.7%	11.5%	11.5%	0.0%
障がい者分野（n=12）	25.0%	8.3%	33.3%	8.3%	41.7%	8.3%	8.3%	75.0%	0.0%	0.0%
保育・教育分野（n=15）	13.3%	20.0%	53.3%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	26.7%	6.7%	6.7%
その他（n=140）	39.3%	39.3%	28.6%	25.7%	12.9%	17.1%	9.3%	8.6%	7.1%	5.7%

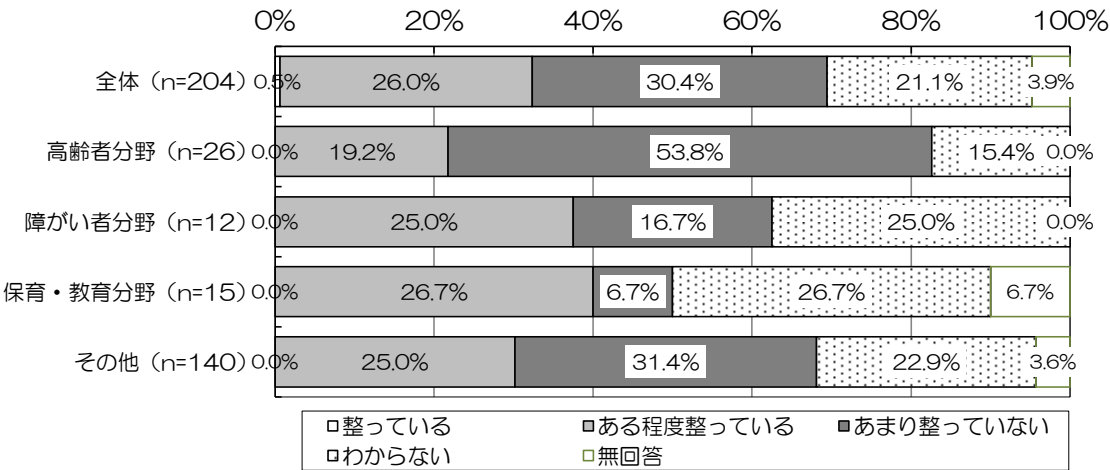
（4）地域課題やニーズについて地域全体で解決に向けた取り組む体制

Q8 担当している地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けた取り組む体制は整っていますか。（〇は1つ）

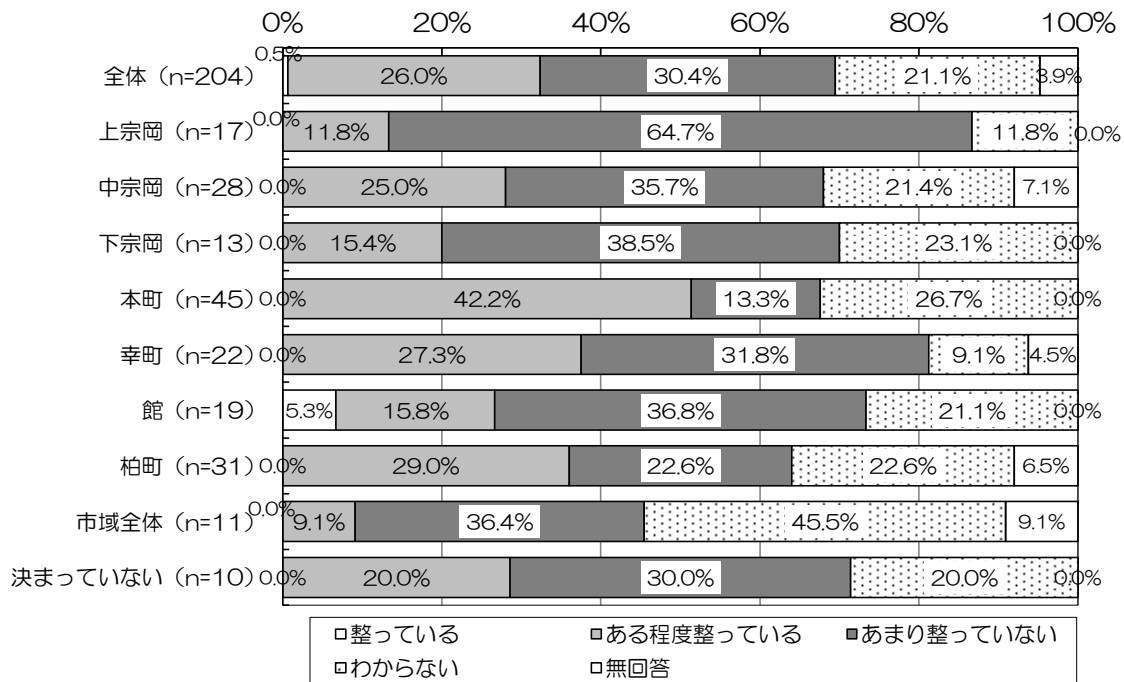
「あまり整っていない」が30.4%と最も多く、次いで「ある程度整っている」が26.0%、「わからない」が21.1%となっています。



地域課題やニーズについて地域全体で解決に向けた取り組む体制（分野別）



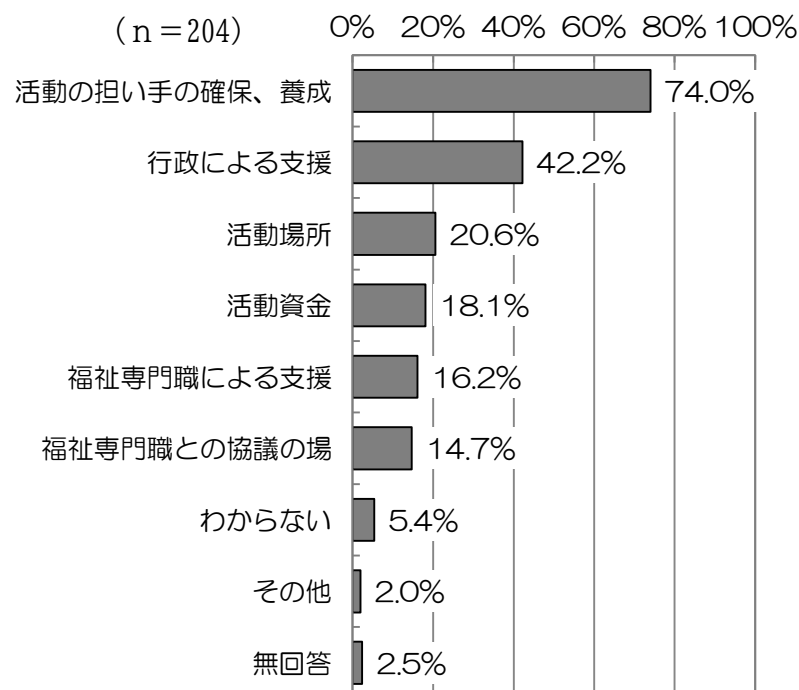
地域課題やニーズについて地域全体で解決に向けた取り組む体制（担当エリア別）



(5) 地域課題やニーズに対して地域全体の解決に向けた体制整備で必要なこと

Q9 地域課題やニーズに対して、地域全体の解決に向けた体制整備で必要なことは何ですか。（複数回答可）

「活動の担い手の確保、養成」が74.0%と最も多く、次いで「行政による支援」が42.2%、「活動場所」が20.6%となっています。



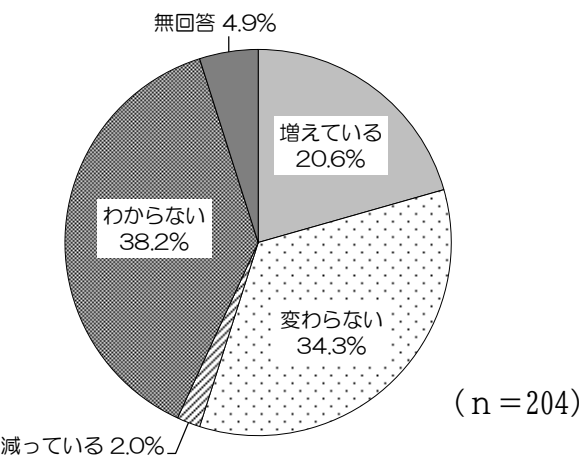
地域全体の解決に向けた体制整備に必要なこと（分野別）

	保活動、 養成の担 手の確	行政に よる支 援	活動場 所	活動資 金	援福 祉社 専門 職に よる支	の福 祉社 専門 職と の協 議	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体（n=204）	74.0%	42.2%	20.6%	18.1%	16.2%	14.7%	5.4%	2.0%	2.5%
高齢者分野（n=26）	84.6%	65.4%	38.5%	26.9%	11.5%	19.2%	0.0%	0.0%	0.0%
障がい者分野（n=12）	33.3%	66.7%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
保育・教育分野（n=15）	33.3%	53.3%	13.3%	13.3%	33.3%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%
その他（n=140）	80.0%	35.7%	18.6%	15.7%	15.0%	12.1%	5.7%	2.9%	1.4%

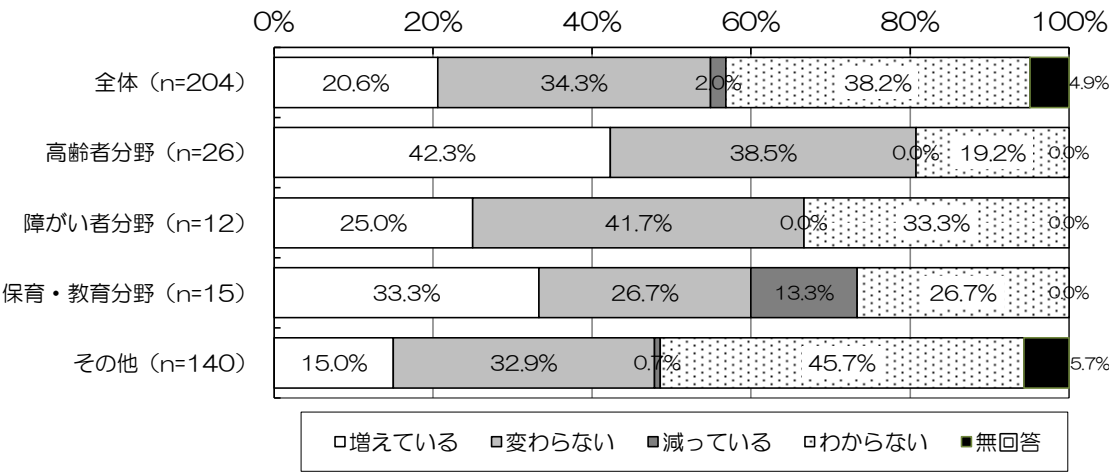
（6） 現行の公的サービスで対応できない問題・事例の最近の変化

Q10 現行の公的サービスで対応できなくて、困っている問題・事例はここ最近（1年間）でどのように変化しましたか。（○は1つ）

「わからない」が38.2%と最も多く、次いで「変わらない」が34.3%、「増えている」が20.6%となっています。



現行の公的サービスで対応できない問題・事例の最近の変化（分野別）

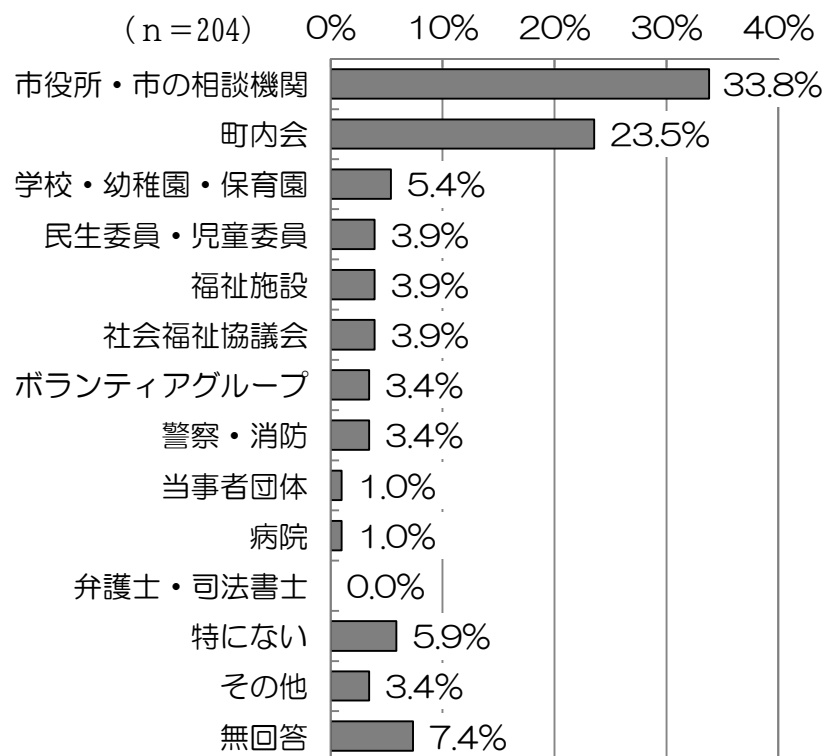


3. 他団体等との連携について

(1) 他の団体や組織との連携・連絡で特に必要と思われるところ

Q11 他の団体や組織との連携・連絡で、特に必要と思われるところはどこですか。(○は1つ)

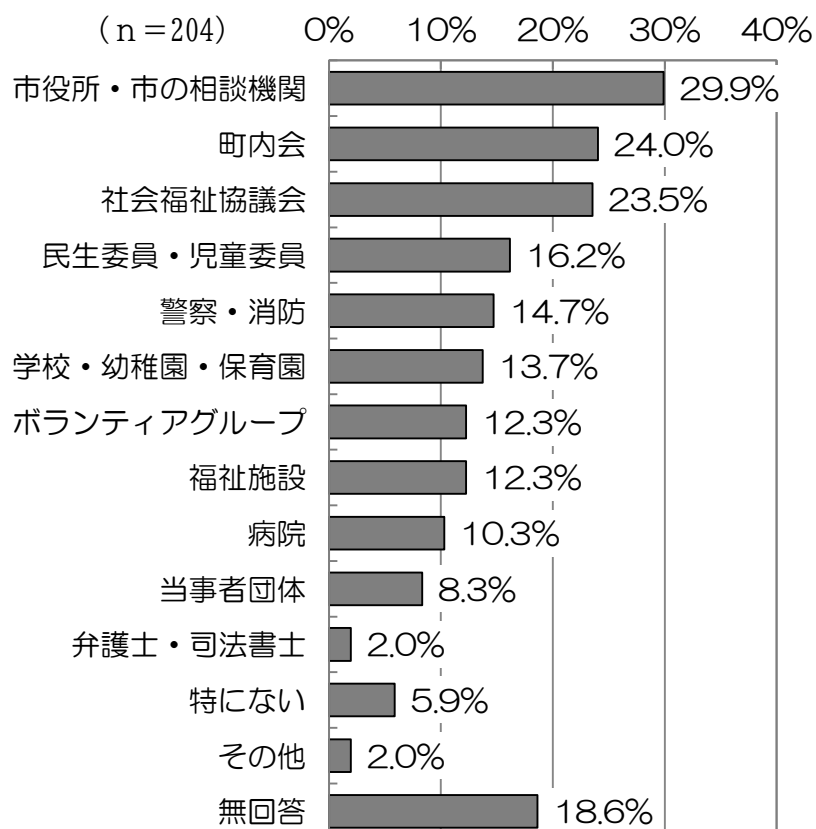
「市役所・市の相談機関」が33.8%と最も多く、次いで「町内会」が23.5%、「学校・幼稚園・保育園」が5.4%となっています。一方、「特にない」は5.9%となっています。



(2) その他の団体や組織との連携・連絡で必要と思われるところ

Q12 上記のほか、他の団体や組織との連携・連絡で、必要と思われるところはありますか。
(複数回答可)

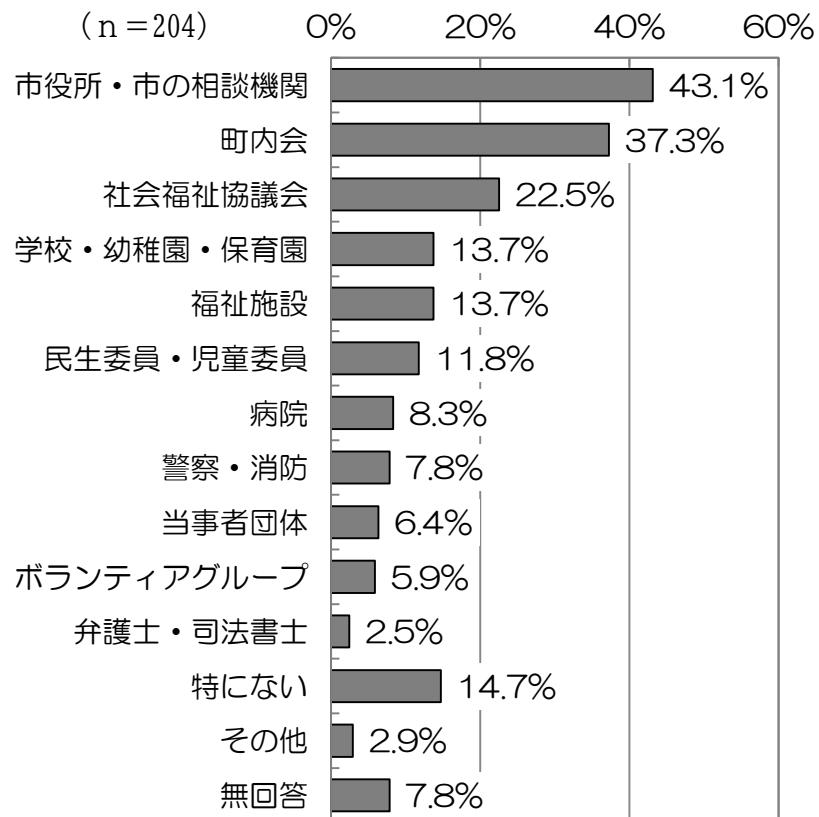
「市役所・市の相談機関」が29.9%と最も多く、次いで、「町内会」が24.0%、「社会福祉協議会」が23.5%となっています。一方、「特にない」は5.9%となっています。



(3) 現在、連携・連絡を取っている他の団体や組織

Q13 現在、連携・連絡を取っている他の団体や組織はありますか？（複数回答可）

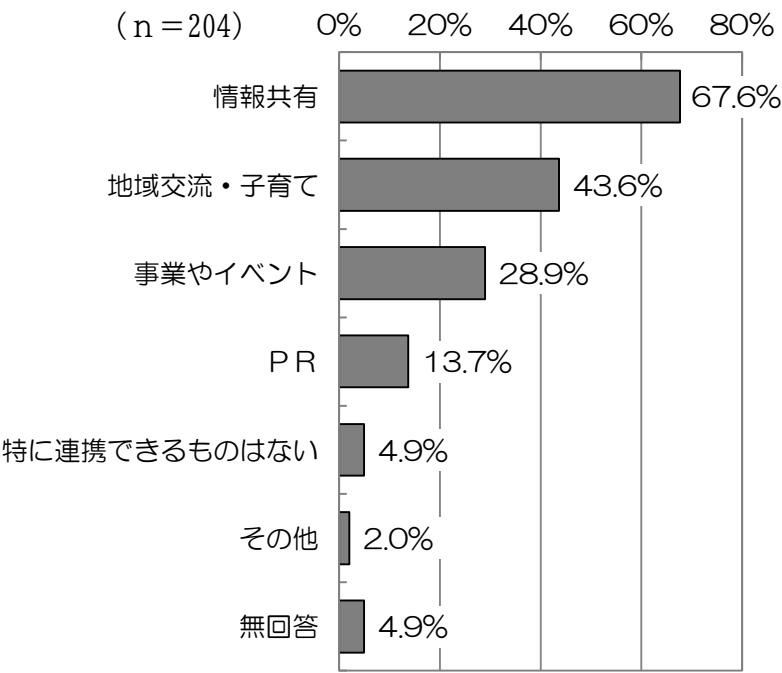
「市役所・市の相談機関」が43.1%で最も多く、次いで「町内会」が37.3%、「社会福祉協議会」が22.5%となっています。一方、「特にない」は14.7%となっています。



(4) 志木市との具体的な連携

Q14 あなたの事業所又は活動は、志木市と具体的にどのような連携ができると思いますか？
(複数回答可)

「情報共有」が67.6%で最も多く、次いで「地域交流・子育て」が43.6%、「事業やイベント」が28.9%となっています。



志木市との具体的な連携（分野別）

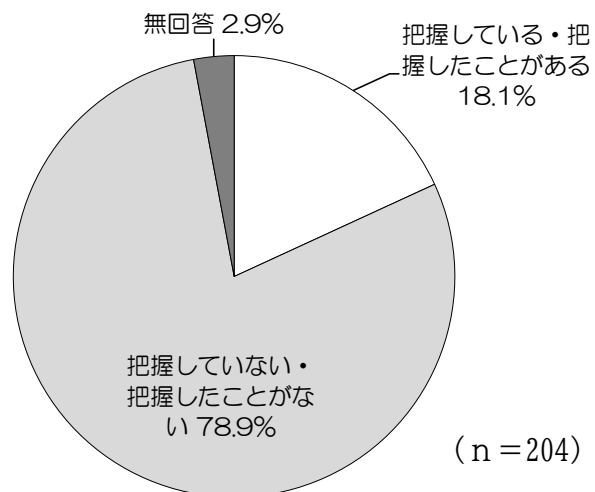
	情報共有	地域交流・子育て	事業やイベント	PR	は特に連携できるものない	その他	無回答
全体（n=204）	67.6%	43.6%	28.9%	13.7%	4.9%	2.0%	4.9%
高齢者分野（n=26）	84.6%	15.4%	34.6%	30.8%	11.5%	0.0%	0.0%
障がい者分野（n=12）	75.0%	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%
保育・教育分野（n=15）	73.3%	80.0%	26.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他（n=140）	65.7%	44.3%	27.1%	9.3%	3.6%	2.1%	5.0%

4. ひきこもり支援について

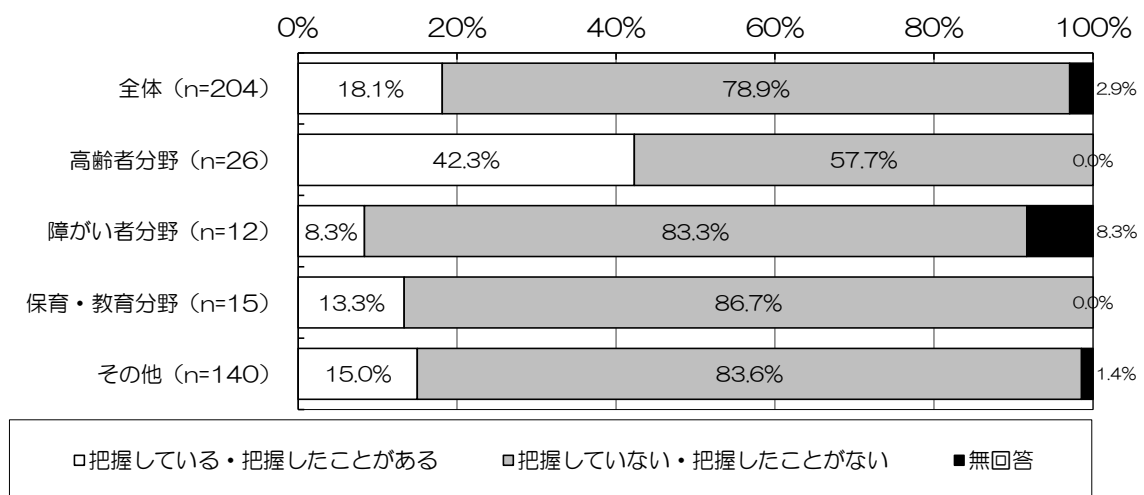
(1) 担当している地域での「ひきこもりの状態にある方」がいることの把握

Q15 担当している地域で、「ひきこもりの状態にある方」がいることを把握していますか。
(○は1つ)

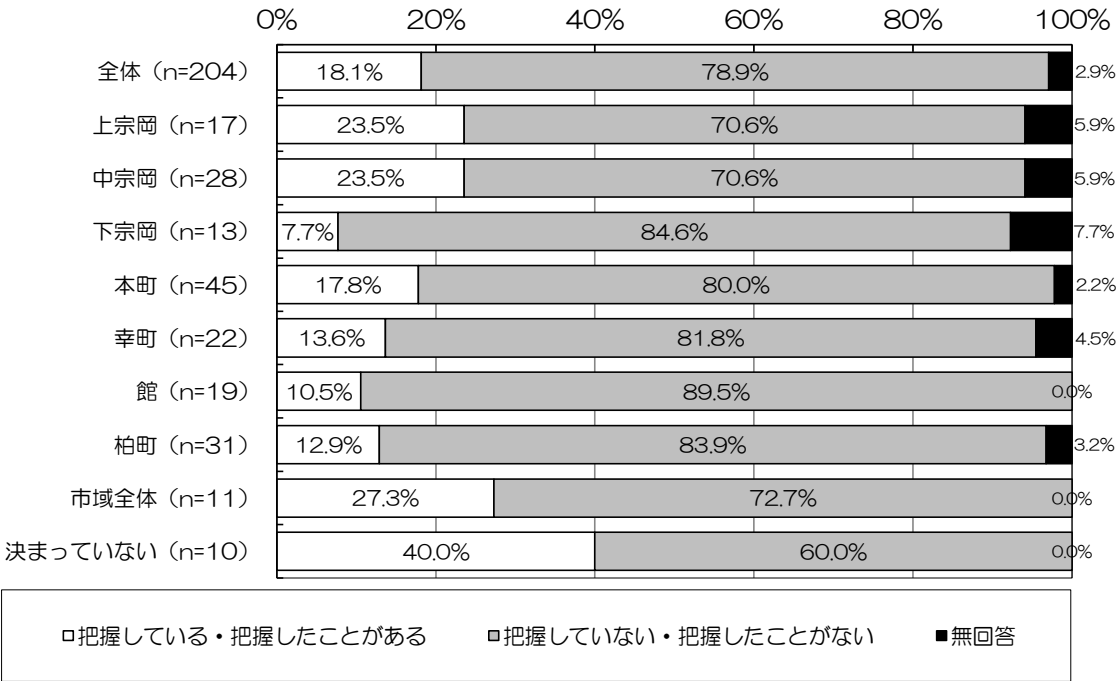
「把握している・把握したことがある」が18.1%、「把握していない・把握したことがない」が78.9%となっています。



「ひきこもりの状態にある方」がいることの把握 (分野別)



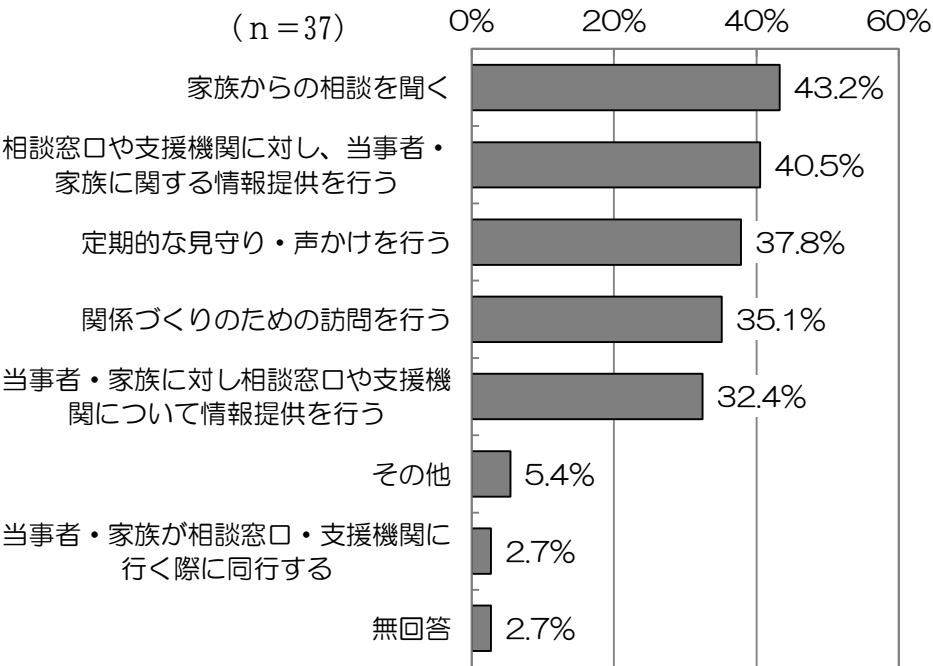
「ひきこもりの状態にある方」がいることの把握（担当エリア別）



(2) ひきこもりの状態にある方を知ったときの対応

Q15で「1. 把握している・把握したことがある」と回答した方にうかがいます。
Q16 ひきこもりの状態にある方を知ったときどんな対応をしますか。(複数回答可)

「家族からの相談を聞く」が43.2%と最も多く、次いで「相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う」が40.5%、「定期的な見守り・声かけを行う」が37.8%となっています。

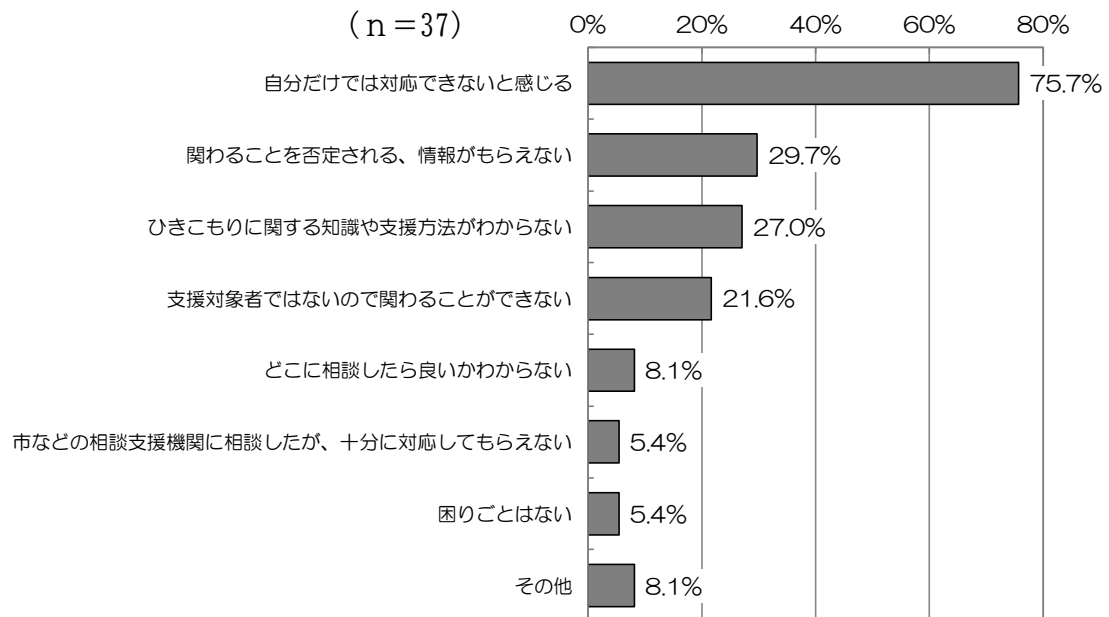


(3) ひきこもりの人への支援で困っていること

Q15で「1. 把握している・把握したことがある」と回答した方にうかがいます。

Q17 ひきこもりの人への支援で困っていることは何ですか。(複数回答可)

「自分だけでは対応できないと感じる」が75.7%と最も多く、次いで「関わることを否定される、情報がもらえない」が29.7%、「ひきこもりに関する知識や支援方法がわからない」が27.0%となっています。

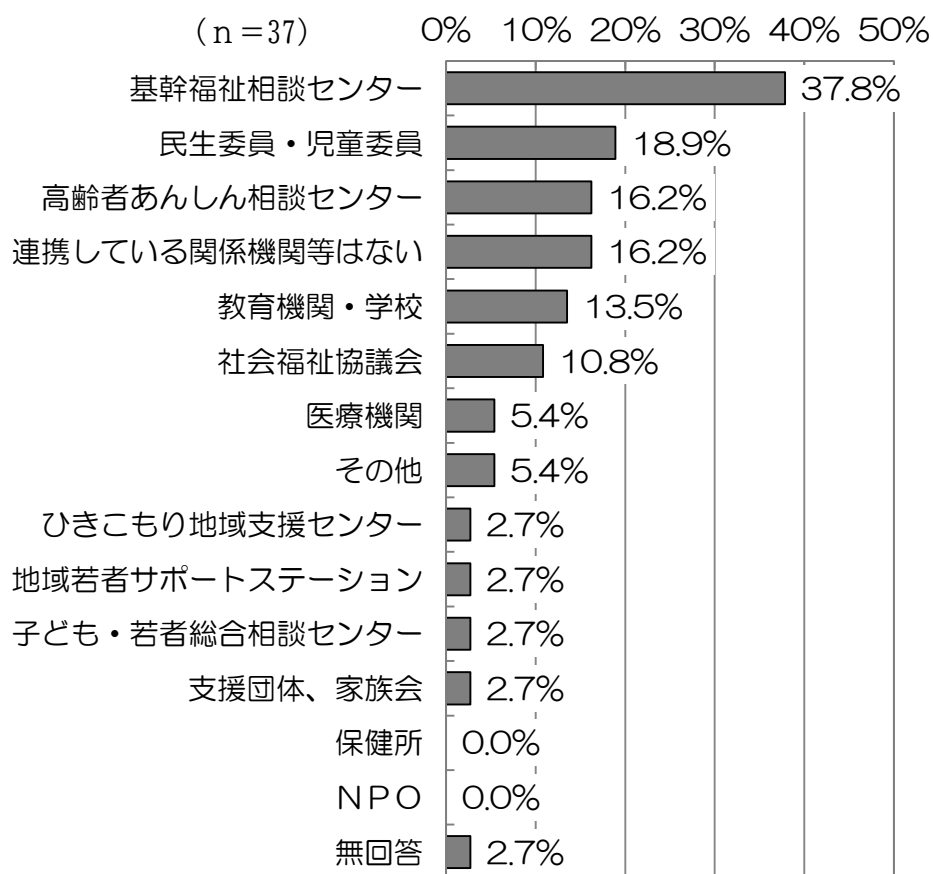


(4) ひきこもりに係る相談・支援において連携している関係機関等

Q15で「1. 把握している・把握したことがある」と回答した方にうかがいます。

Q18 ひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関等がありますか。(複数回答可)

「基幹福祉相談センター」が37.8%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が18.9%、「高齢者あんしん相談センター」が16.2%となっています。

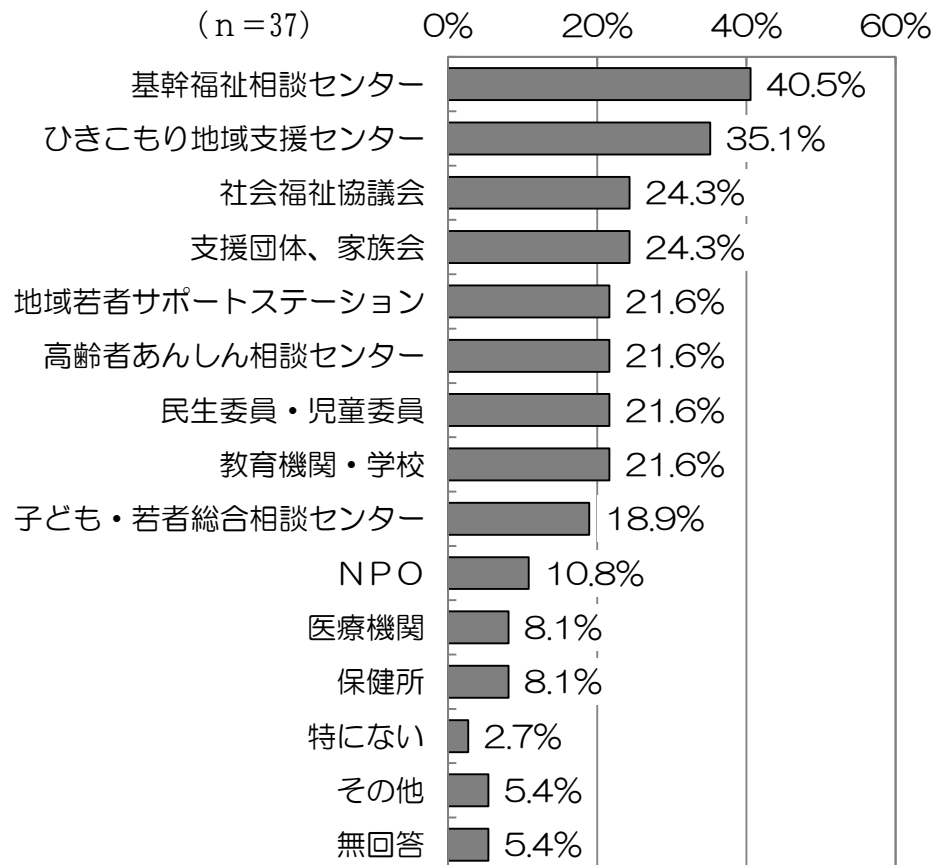


(5) 今後連携する必要がある連携先

Q15で「1. 把握している・把握したことがある」と回答した方にうかがいます。

Q19 今後連携する必要がある連携先はありますか。(複数回答可)

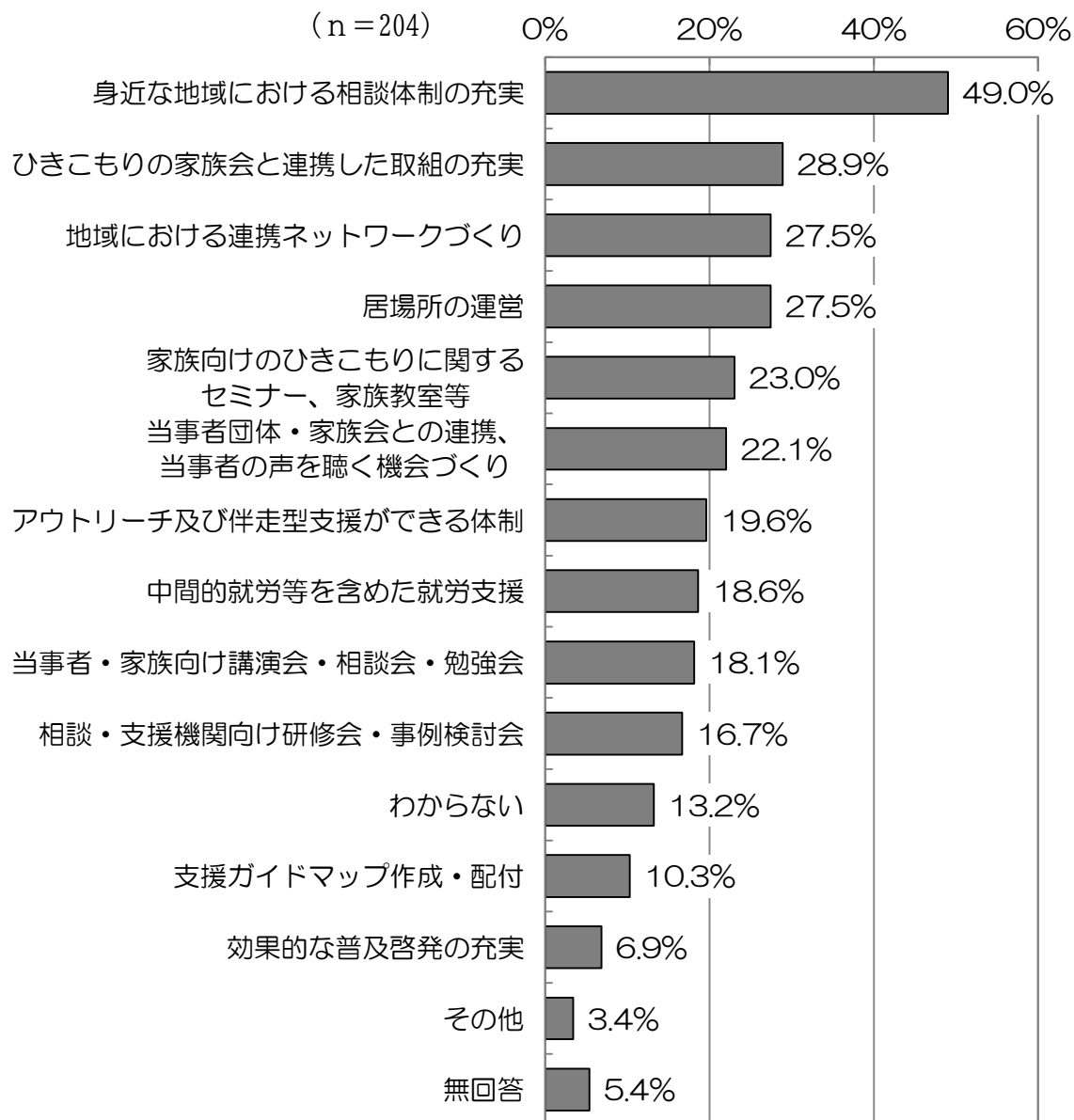
「基幹福祉相談センター」が40.5%と最も多く、次いで「ひきこもり地域支援センター」が35.1%、「社会福祉協議会」と「支援団体、家族会」が24.3%となっています。



(6) ひきこもりに係る支援について行政や支援機関が今後取り組む必要があること

Q20 ひきこもりに係る支援について、行政や支援機関が今後取り組む必要があることは何だと考えますか。(複数回答可)

「身近な地域における相談体制の充実」が49.0%と最も多く、次いで「ひきこもりの家族会と連携した取組の充実」が28.9%、「地域における連携ネットワークづくり」と「居場所の運営」が27.5%となっています。



5. 各種事業・制度等について

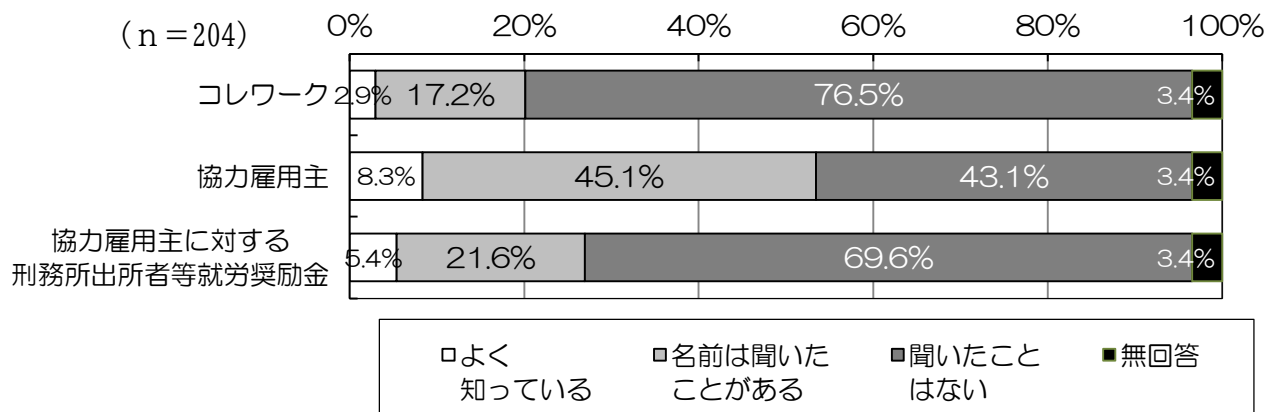
(1) 再犯防止啓発事業の認知

あなたは以下の再犯防止啓発事業（Q21～Q23）について、どれくらいご存知ですか。
（それぞれに○は1つ）

『コレワーク』では、「よく知っている」が2.9%、「名前は聞いたことがある」が17.2%、「聞いたことはない」が76.5%となっています。

『協力雇用主』では、「よく知っている」が8.3%、「名前は聞いたことがある」が45.1%、「聞いたことはない」が43.1%となっています。

『協力雇用主に対する刑務所出所者等就労奨励金』では、「よく知っている」が5.4%、「名前は聞いたことがある」が21.6%、「聞いたことはない」が69.6%となっています。



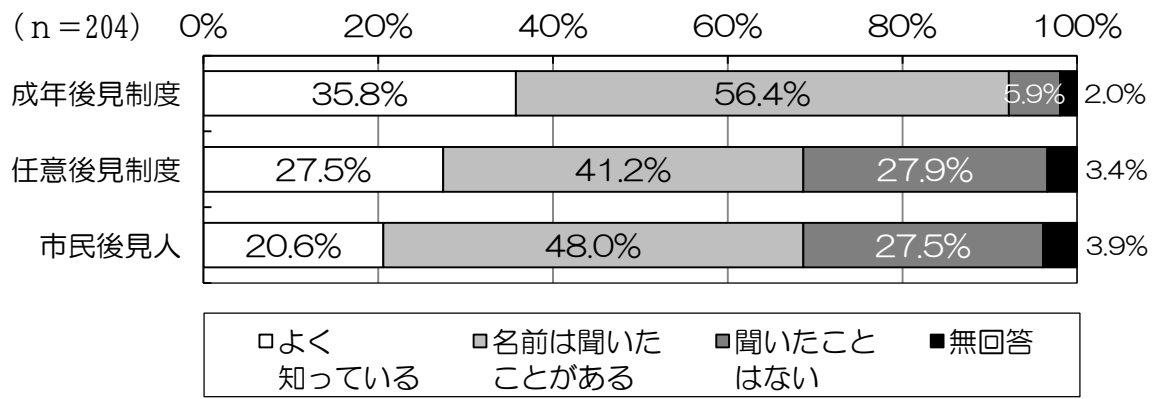
(2) 成年後見制度・任意後見制度・市民後見人の認知状況

Q24 成年後見制度※についてどれくらいご存じですか。(○は1つ)
Q25 任意後見制度※についてどれくらいご存じですか。(○は1つ)
Q26 市民後見人※についてどれくらいご存じですか。(○は1つ)

『成年後見制度』では、「よく知っている」が35.8%、「名前は聞いたことがある」が56.4%、「聞いたことはない」が5.9%となっています。

『任意後見制度』では、「よく知っている」が27.5%、「名前は聞いたことがある」が41.2%、「聞いたことはない」が27.9%となっています。

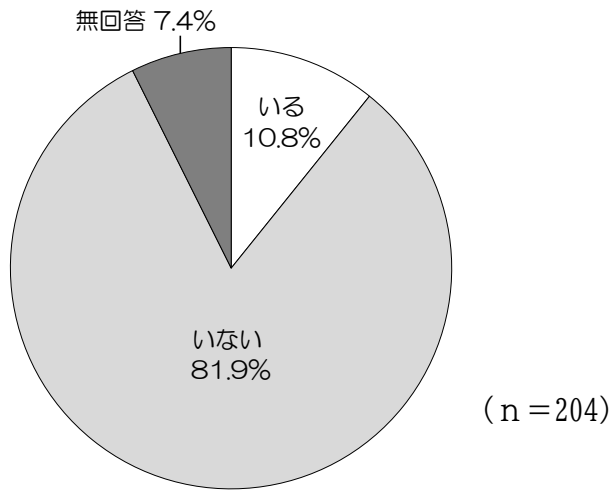
『市民後見人』では、「よく知っている」が20.6%、「名前は聞いたことがある」が48.0%、「聞いたことはない」が27.5%となっています。



(3) 支援している人で後見制度を利用中の方または利用が必要と思われる方の有無

Q27 支援している人で、後見制度を利用中の方または利用が必要と思われる方はいますか。(○は1つ)

「いる」が10.8%、「いない」が81.9%となっています。

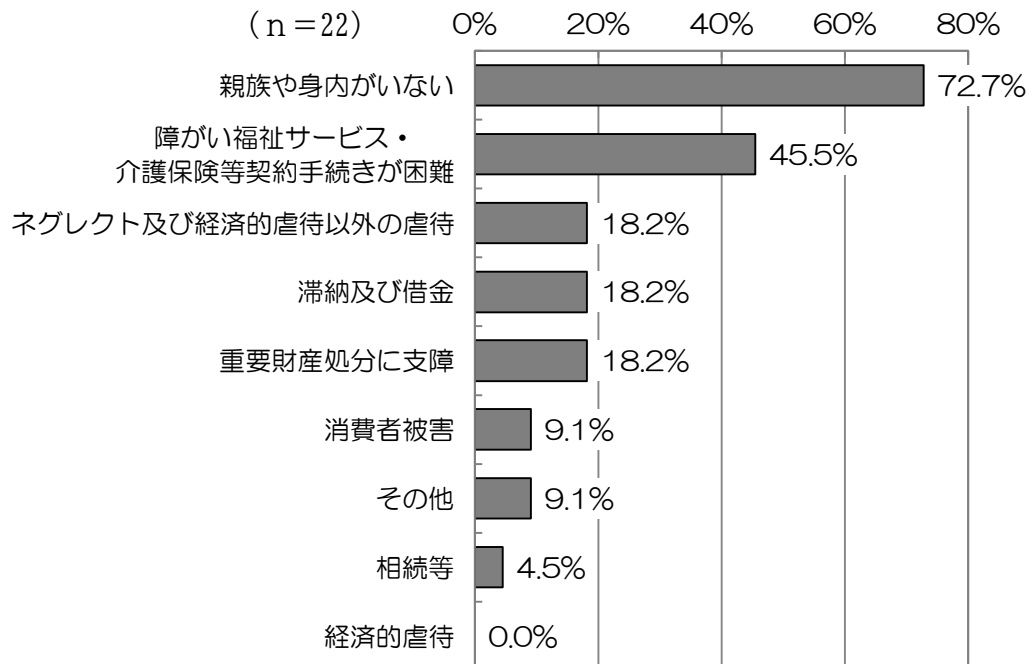


(4) 後見制度の利用が必要と思った理由

Q27で「1. いる」と回答した方にうかがいます。

Q28 後見制度の利用が必要と思った理由は何ですか。(複数回答可)

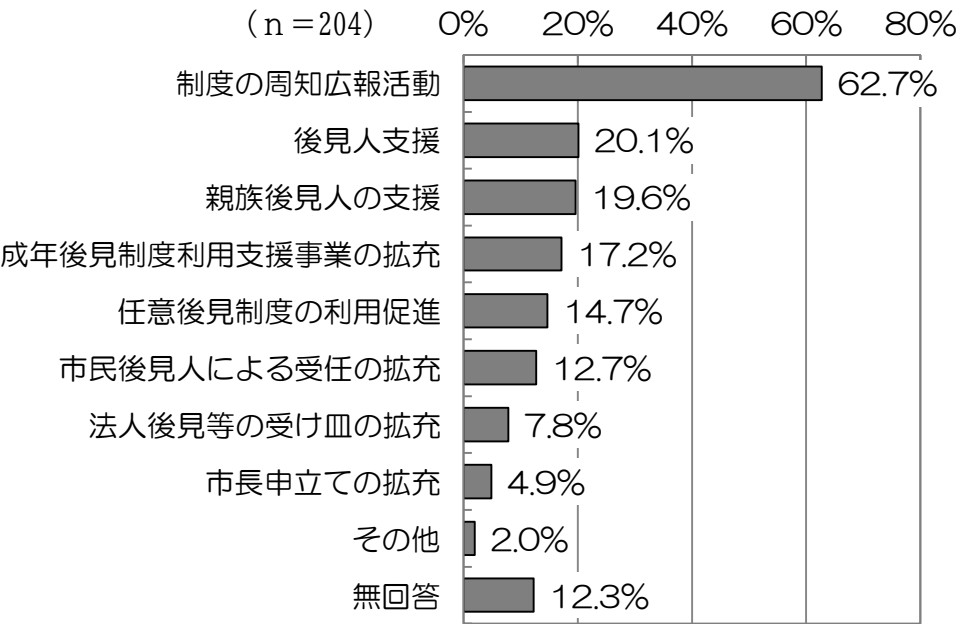
「親族や身内がいらない」が72.7%と最も多く、次いで「障がい福祉サービス・介護保険等契約手続きが困難」が45.5%、「ネグレクト及び経済的虐待以外の虐待」と「滞納及び借金」、「重要財産処分に支障」が18.2%となっています。



(5) 今後志木市の後見制度利用促進に望むもの

Q29 今後志木市の後見制度利用促進に望むものは何ですか。(複数回答可)

「制度の周知広報活動」が62.7%と最も多く、次いで「後見人支援」が20.1%、「親族後見人の支援」が19.6%となっています。



今後志木市の後見制度利用促進に望むもの（分野別）

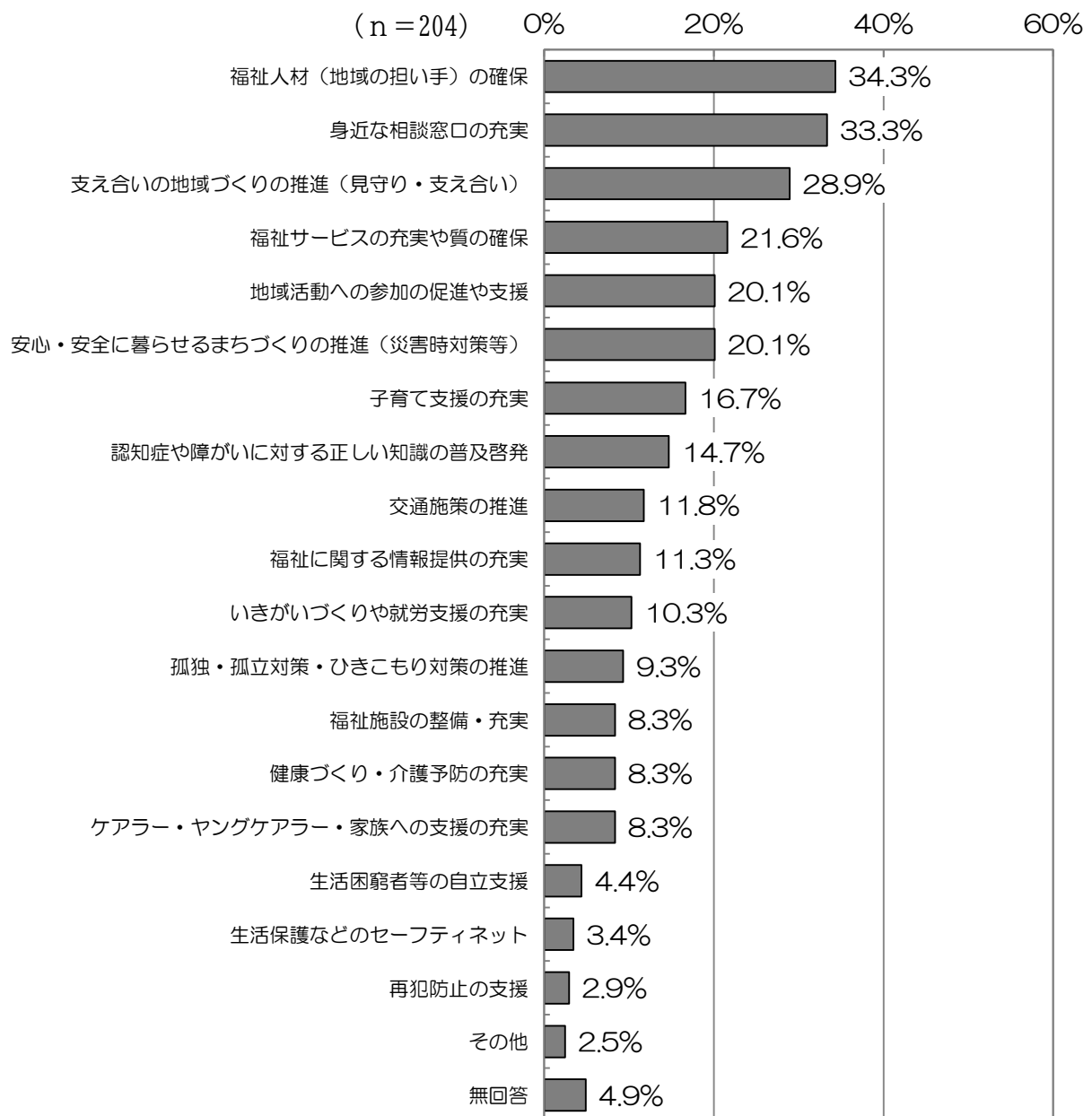
	制度の周知広報活動	後見人支援	親族後見人の支援	成年後見制度利用支援事業の拡充	任意後見制度の利用促進	市民後見人による受任の拡充	法人後見等の受け皿の拡充	市長申立ての拡充	その他	無回答
全体 (n=204)	62.7%	20.1%	19.6%	17.2%	14.7%	12.7%	7.8%	4.9%	2.0%	12.3%
高齢者分野 (n=26)	46.2%	38.5%	26.9%	34.6%	26.9%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%	3.8%
障がい者分野 (n=12)	41.7%	41.7%	33.3%	25.0%	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
保育・教育分野 (n=15)	46.7%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%
その他 (n=140)	70.0%	15.7%	17.1%	15.7%	12.9%	11.4%	8.6%	1.4%	2.1%	11.4%

6. 今後の福祉施策について

(1) 今後市が注力すべき保健・福祉分野

Q30 今後市の保健・福祉分野について、どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。
(○は3つまで)

「福祉人材（地域の担い手）の確保」が34.3%と最も多く、次いで「身近な相談窓口の充実」が33.3%、「支え合いの地域づくりの推進（見守り・支え合い）」が28.9%となっています。



第3章 専門職及び関係者調査の結果詳細

今後市が注力すべき保健・福祉分野（分野別）

	い福祉 手）人 の材 確（地 保域 の担	実身 近な 相談 窓口 の充	支えの 含推 進い の地 域 守り ・く	や福祉 のサー ビス の充 実	促進 地域 活動 への 参加 の	（る安 心・安 全に 暮ら せ （災 害時 対策 等）	子育 て支 援の 充 実	及す認 啓る知 症し い障 がいの に普 対	交通 施策 の推 進	供福祉 の充実 に關 する 情 報 提
全体（n=204）	34.3%	33.3%	28.9%	21.6%	20.1%	20.1%	16.7%	14.7%	11.8%	11.3%
高齢者分野（n=26）	42.3%	30.8%	42.3%	26.9%	15.4%	15.4%	7.7%	26.9%	7.7%	7.7%
障がい者分野（n=12）	50.0%	50.0%	16.7%	41.7%	33.3%	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%	33.3%
保育・教育分野（n=15）	20.0%	46.7%	40.0%	33.3%	20.0%	13.3%	60.0%	0.0%	6.7%	13.3%
その他（n=140）	33.6%	29.3%	27.1%	19.3%	19.3%	22.1%	14.3%	12.1%	13.6%	10.0%

	労い き支 援が の充 つ 実 の 充 つ り や 就	き孤 独 も ・ 孤 対 立 策 対 の 策 推 ・ 進 ひ	実福祉 施設 の整 備・ 充	防健 の充 実 づ くり ・ 介 護 予	援ア ケ のラ ー ・ 家 ・ 族 や ハ ン グ 支 ケ	支生 活困 窮者 等 の自 立	フ生 活保 護な どの セ ー	再犯 防止 の支 援	そ の 他	無 回 答
全体（n=204）	10.3%	9.3%	8.3%	8.3%	8.3%	4.4%	3.4%	2.9%	2.5%	4.9%
高齢者分野（n=26）	11.5%	0.0%	11.5%	7.7%	3.8%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
障がい者分野（n=12）	8.3%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保育・教育分野（n=15）	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
その他（n=140）	10.0%	9.3%	8.6%	8.6%	8.6%	5.0%	2.1%	3.6%	2.9%	5.0%

(2) 自由回答

Q31 その他、市に望むことや日頃思うことがありましたら、ご記入ください。

回答者204人のうち、62人から記載がありました。さまざまな記載について、同様の意見をグルーピング（集団としてまとめる）して、記載テーマとして整理しました。

記載テーマ	件数
市政への意見	14
公的移動手段の整備	8
福祉全般	8
支えあえる環境づくり	7
生活支援の充実	5
子どもや教育	5
情報発信・情報提供	5
誰もがが必要なサービスを受けられる仕組みづくり	3
災害時対策	3
道路環境の整備	2
その他	10

その他以外の記載テーマごとの意見例を一部抜粋して掲載します。

■市政への意見

- ・市の事業に関しては、住民の意見を広く聞き、政策に生かし、事業を進めて欲しい。
- ・問題が顕在化してから対処するのではなく、起きる前に予見して対処を目指す方がいい。

■公的移動手段の整備

- ・ライドシェアも考えて頂きたい。
- ・足の不自由な方も多く、巡回バス復活等、何か対策をお願いする。

■福祉全般

- ・福祉に携わる人材を広げるためにも、労働対価として賃金報酬がしっかりと提供できると良いと思う。
- ・地域住民の福祉に関することの理解の充実

■支えあえる環境づくり

- ・担い手の育成、担い手の掘り起こし。福祉教育の充実。助け合いの精神、マインドの普及啓発。以上のことを実現するためのフォーラムやタウンミーティング、イベントの企画も行ってもらいたい。
- ・若い世帯や新しく越して来た世帯等と地域の古くからいる世帯で交流を持ち、新しい方々の担い手を増やして欲しい。

■生活支援の充実

- ・母子家庭への経済的支援。子ども食堂への支援。小・中学校給食費、教材費等の無償化。
- ・問題がないと思える大人や子どもたちが苦しくなる前に楽しく人と関われる場所や、ありのままの存在を認めてもらえる居場所をつくるために、市民団体と協働したり、そのための活動をするところに助成をするなどしてほしい。

■子どもや教育

- ・少子化にどのように取り組んでいくのか。今後、保育園はどのようになって行くのか不安に感じる。
- ・子どもそのものがのびのびと育つことのできる環境をつくるための支援が少ないと思うので、そこをもっと広げてほしい。

■情報発信・情報提供

- ・これからますます高齢者が多くなるので、広報等の配布物の字を大きく、読みやすくして頂けたらと思う。
- ・情報提供。情報を集めるのは熱心を感じるが、こちら側への情報提供は意外と少なく感じる。

■誰もが必要なサービスを受けられる仕組みづくり

- ・支援の窓口が様々でき、間口が広がっているとは思いますが、それが支援を必要としている人に届いているのかというと、疑問があると感じている。
- ・最近では自分の周りで認知症ではないか？と思える人がとても増えているように思う。そういう人達が安心して、楽しく過ごせるようになるといいと思う。

■災害時対策

- ・防災面においても重要な空間と思うので、適切な都市計画をお願いしたい。
- ・個人情報保護はとても大切だが、地域の方が安全に生活するために必要なことは共有すべき。

■道路環境の整備

- ・木の整備をして欲しい。
- ・園児を散歩に連れて行く時に道路の段差がバギーで登れない。

**「第5期志木市地域福祉計画・第6次志木市地域福祉活動
計画」策定のためのアンケート調査報告書**

発行：令和7年3月

編集：志木市 福祉部 共生社会推進課・生活援護課

〒353-8501 埼玉県志木市中宗岡1丁目1番1号

電話 048-473-1111（代表）